



しまってこー!!

またね〜

おつかれー

また明日ー

ラスト1本!!

キュッ

犬井ミサキ

バスケット部 副部長
ポイントガード

キュッ



何？

え？

……え？

!?

ギ
シ
…

どうもこんにちは。えーと、
『犬井ミサキ』さんですね？

ギ
シ
…

動けない？

なんで？

!?

い、声も出ない……

ギ
シ
…

いやあ、不躰に『強制操作』
しちゃって申し訳ありません。
私は『慰安局』の『回収課』の者です。

いあんよう
せいたい…？

政府…？

人権？

犬井さん、あなたは政府より
『慰安用生体』に指定されており、
本日付で『人権が終了』しています。

せいほうし？

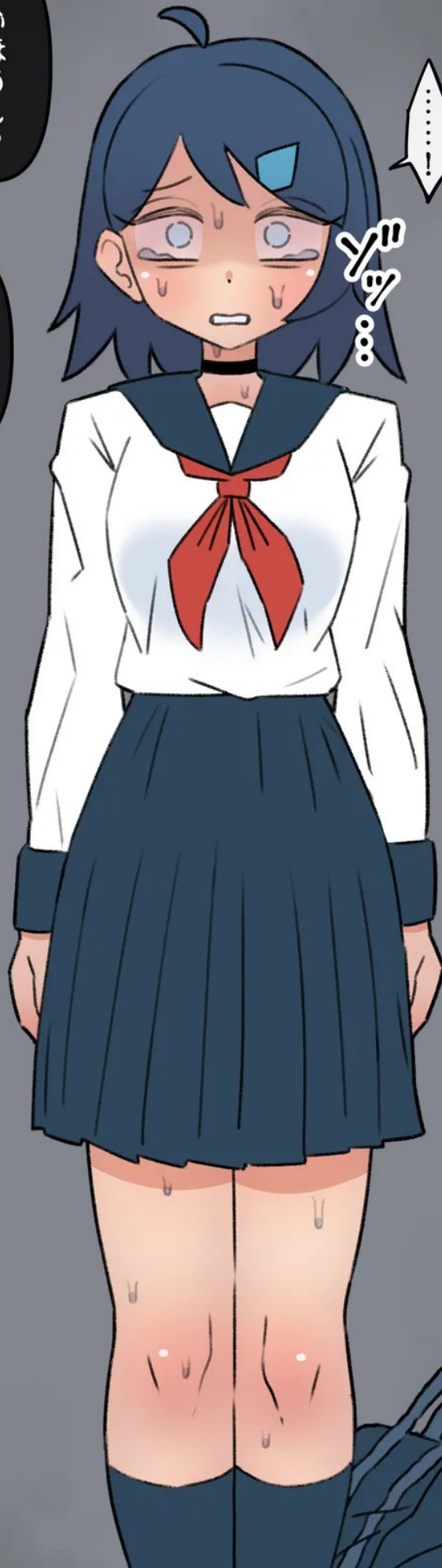
誰か…！

え？

なんなの？

助け…！

つきまして、犬井さんの肉体と人格を
『公共備品』として徴発し、『性奉仕用』に
『加工』させていただくことになりました。

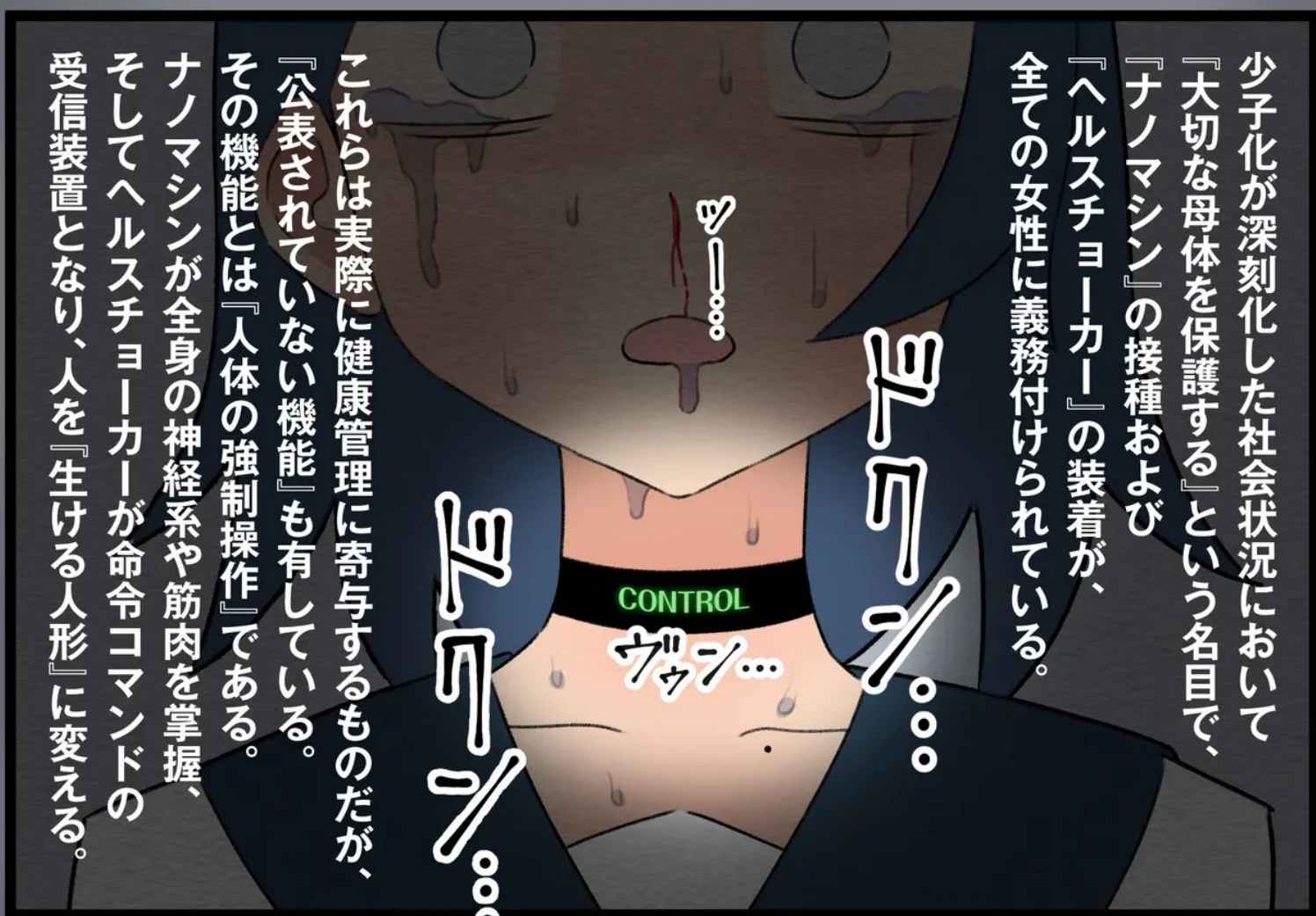


政府指定 慰安用生体

生きたまま
セクサロイドに
加工される少女たち

少子化が深刻化した社会状況において
『大切な母体を保護する』という名目で、
『ナノマシン』の接種および
『ヘルスチョーカー』の装着が、
全ての女性に義務付けられている。

これらは実際に健康管理に寄与するものだが、
『公表されていない機能』も有している。
その機能とは『人体の強制操作』である。
ナノマシンが全身の神経系や筋肉を掌握、
そしてヘルスチョーカーが命令コマンドの
受信装置となり、人を『生ける人形』に変える。



生体回収の際には『強制操作』に加えて『性的興奮』コマンドを同時に実行する。
発情によって対象の思考を鈍化させ、抵抗を抑制するとともに、
初めて『自分の身体を操作される』ことへの精神的ショックをマスキングする処置でもある。

アし…？

身体が…アツい…

頭…

ボンやじ…して…

ゴクン

ゴクン

しかし一方で、加工前の人体にとって、『性的興奮』コマンドは大きな負担となる。
特に脳への負担が顕著で、生体の人格にダメージを
与えるリスクがあるため、みだりに多用してはならない。

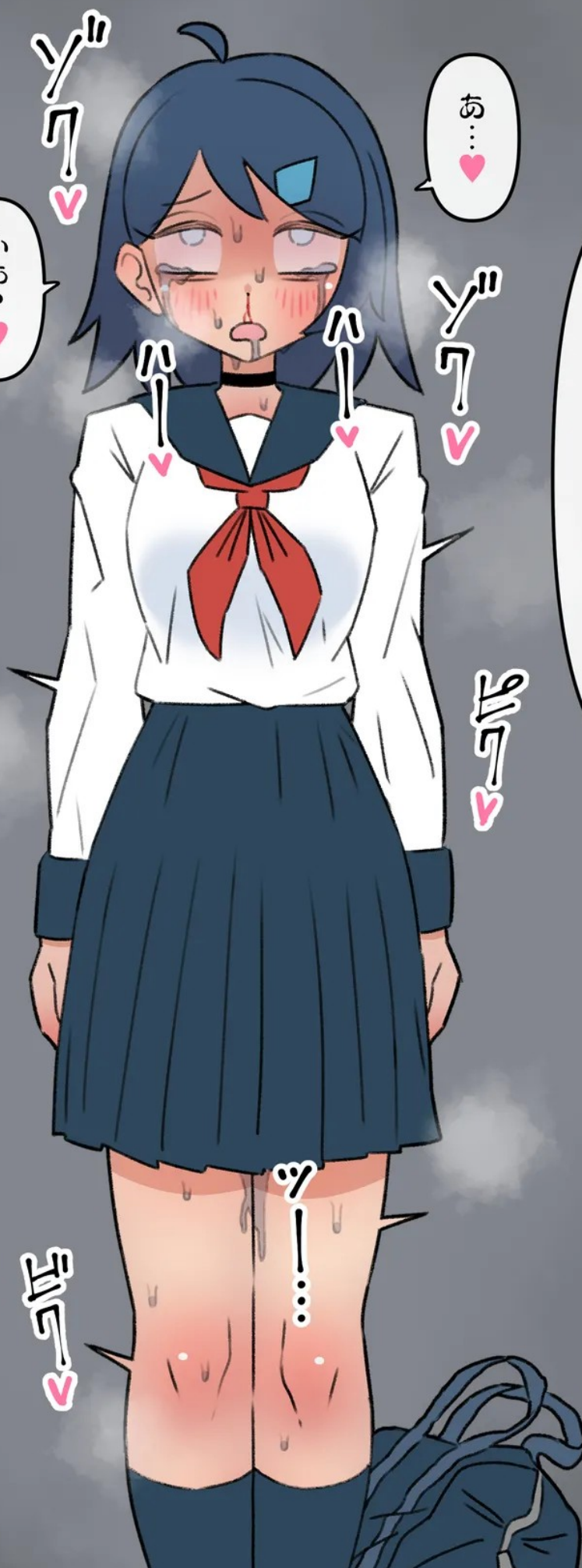


それじゃ犬井さん、すみませんが
服を全部脱がせちゃいますよー！

あ…♡

ふあ？♡

『性奉仕用の肉人形』になるあなたが、
まるで『人間』みたいに服を着ていると
ややこしいですからね。





ム
ワ
ア
...
♡

うわ、汗くっさw

な、なんで私…

外で…

知らない人の前で…

裸に…？

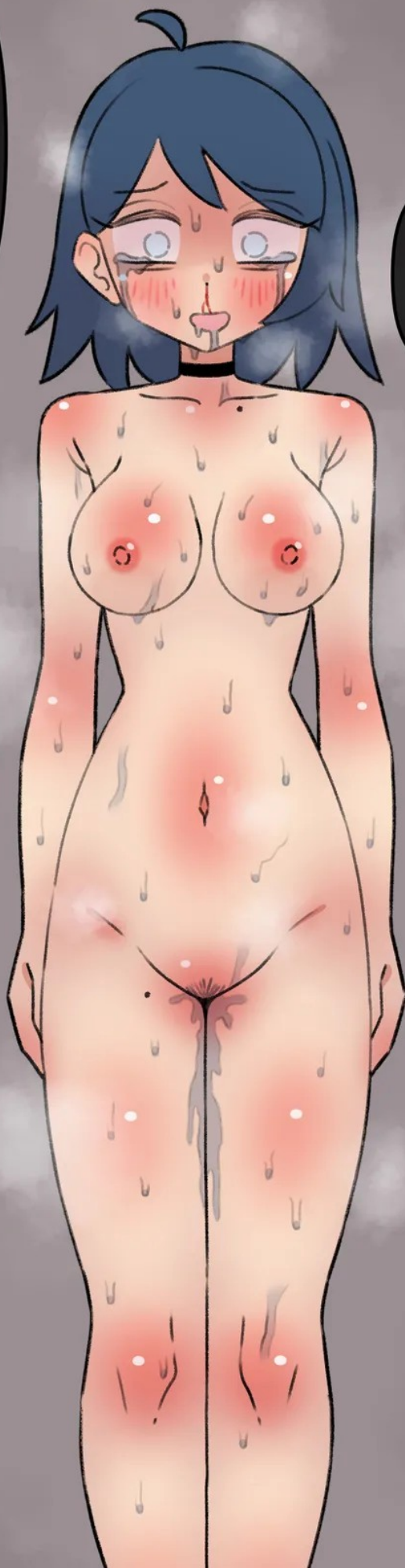
…っと失礼。

では制服も下着も所持品も、
すべて徴発させてもらいますね。

ぐっわ♡

これらは『記録』が
済んだらすべて
処分されますが、

犬井さんが衣類を
身につけることは、この先
もう二度とありませんので、
気にしないで大丈夫ですよ。



…それにしても犬井さん、
汗っかきなんですねえ。

部活終わりとはいえ……
パンツもブラも靴下も
随分しっとりとしちゃって、
かなり匂ってますよ。

……………！

身につけていた衣類や所持品だけでなく、
自宅の所有物や、幼少期からの思い出の
写真や映像まで、関わりあるもの
すべてが徵発の対象となる。
これらは慰安局の『データベース』に
デジタルデータとして記録され、
性奉仕の際に活用される。

もしかしたらお友達も
犬井さんの匂い、気になって
たんじやないですかねえ？

モファ……♡

ま、そういう体質も
『加工』しちゃえば
関係ないですから。

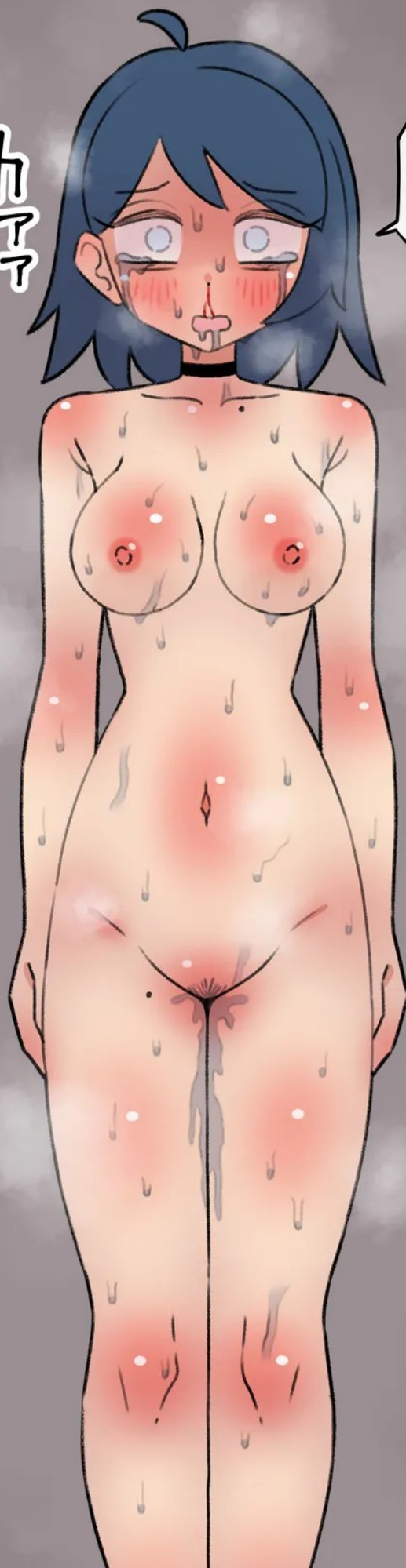
そんな顔真っ赤にして
恥ずかしがらなくても
大丈夫ですよ。

……!!

カァァ

それじゃ『加工施設』に
行きましょうか。

こちらの『ケース』に
入ってくださいね。



生体を強制操作して
運搬用の『ケース』に収納する。



強制操作で発声を制限しているはずだが、
生体の体質によっては
いくらか『抵抗』を示すことがある。

ん？結構喋ってるなあ。

『抵抗値』が
ちよつと高いのかな。

やだ…

待って…

ギシ…

ハア

ハア

ギシ…

助けて…

何かの間違い

だから…

それじゃ、

『スリープモード』



このような『抵抗』は、
生体の心身にとって負担となるため、
意識レベルを強制的に低下させて対処する。



んあ...?

スシ...

.....

よし、

問題ないかな。

衝撃吸収材が膨らみ、
生体を固定・保護する。



蓋を閉めて梱包完了。

ガ
グ
ン
ッ



この運搬ケースを、
関係者たちは『棺桶』と呼ぶ。
理由はその形状だけではない。

これに入れられた少女の行き先が、

『性奉仕用の肉人形』に加工され、

『人間』としての生を完全に終了する場所だからだ。



政府指定

慰安用生体

034865-MSK

〈バイタル〉

正常

〈モード〉

スリープ

加工用生体

今日、ついさっきまで、

『犬井ミサキ』は学校で勉強をし、
友達と他愛のない会話に花を咲かせ、
大好きなバスケットで汗を流していた。

それじゃ
行きましょうか。

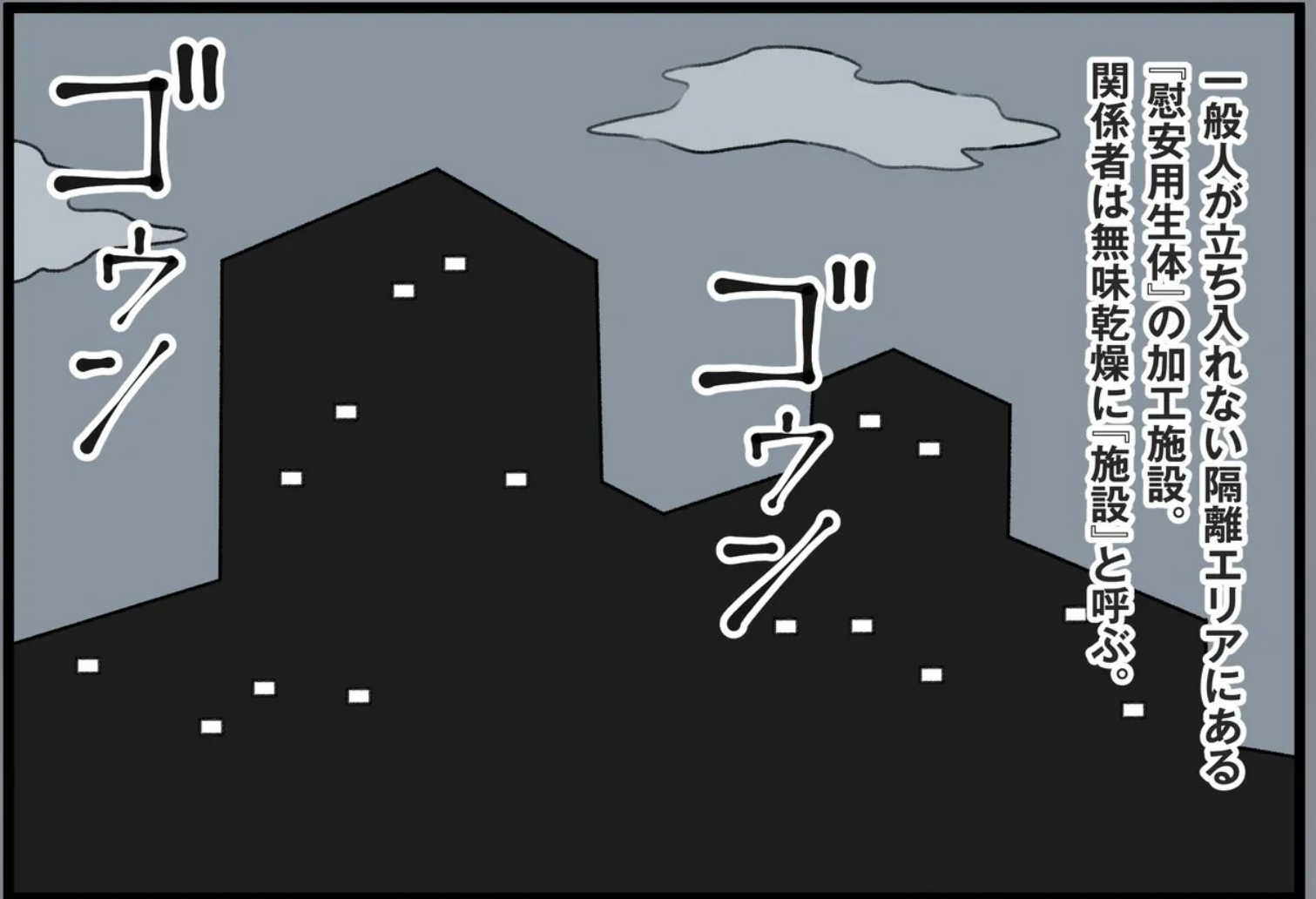
完成したら
私も『使用』させて
もらいましょうかね。

そんな『人間』としての日常は、
全く唐突に終わりを告げた。
彼女がそれを取り戻すことは二度とない。

一般人が立ち入れない隔離エリアにある
『慰安用生体』の加工施設。
関係者は無味乾燥に『施設』と呼ぶ。

ゴウン

ゴウン







えーと今回
『加工』するのは…

『萩原コノミ』さん

『矢口アヤコ』さん

『犬井ミサキ』さん

…この3体ですね。

まずは施設に運び込まれた生体を洗淨し、
全裸のまま並べて検分する。

うんうん…

皆さん若くて肌ツヤも良く、
健康状態も全く問題ありませんね。





.....

.....!

.....?

順調に行けば2週後には、
皆さん立派な『肉人形』に
生まれ変わってますよ。

今から皆さんを『慰安用生体』に
『加工』していきますので、
どうぞよろしくお願いします。

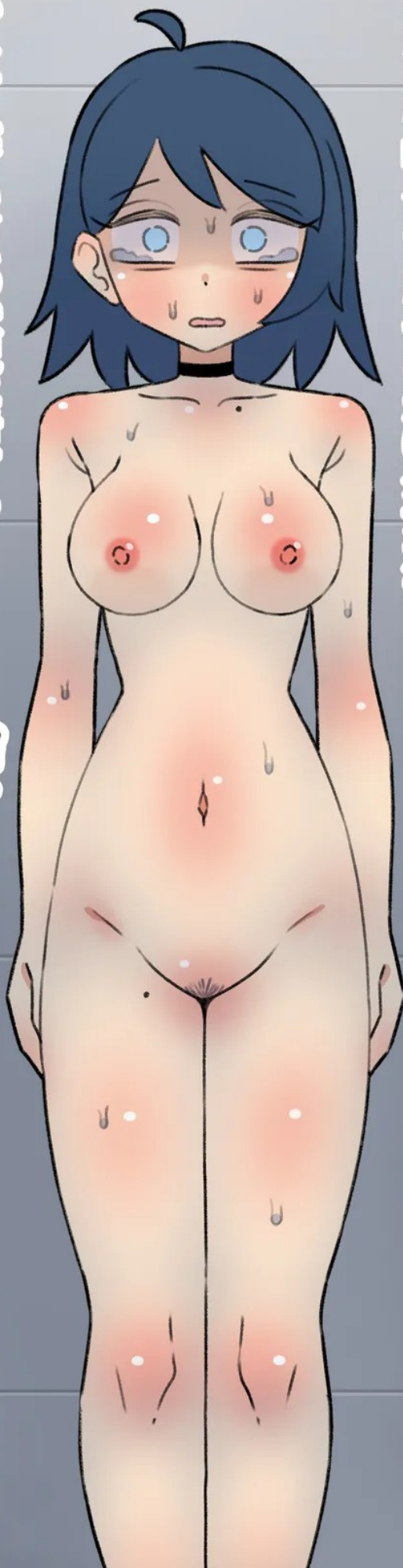
さてそれでは、

自分の身体を『強制操作』されて、
動くことも喋ることもできない少女たち。

しかしそれでも、この状況に対する
一人ひとりの違った反応が見て取れる。



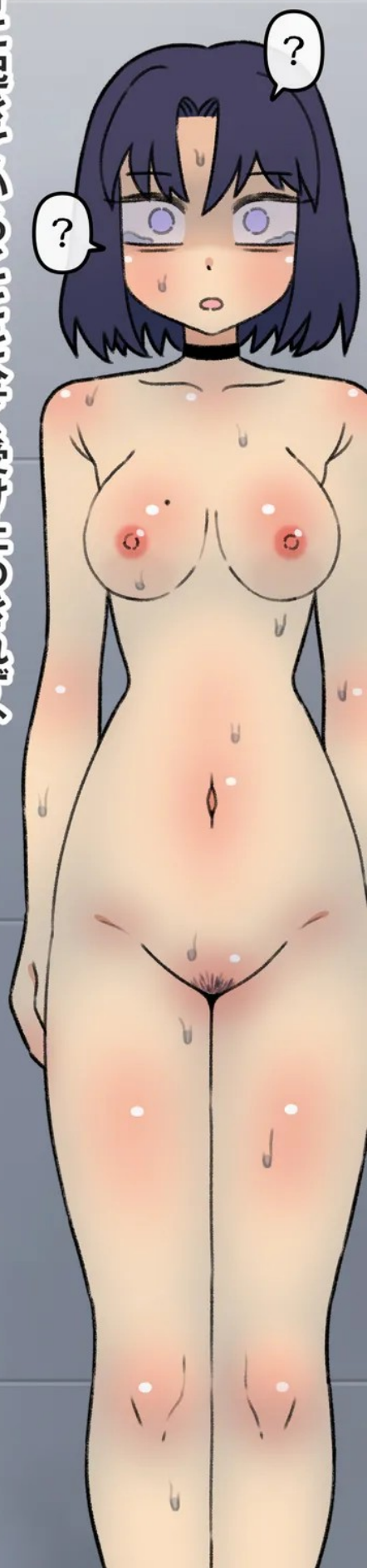
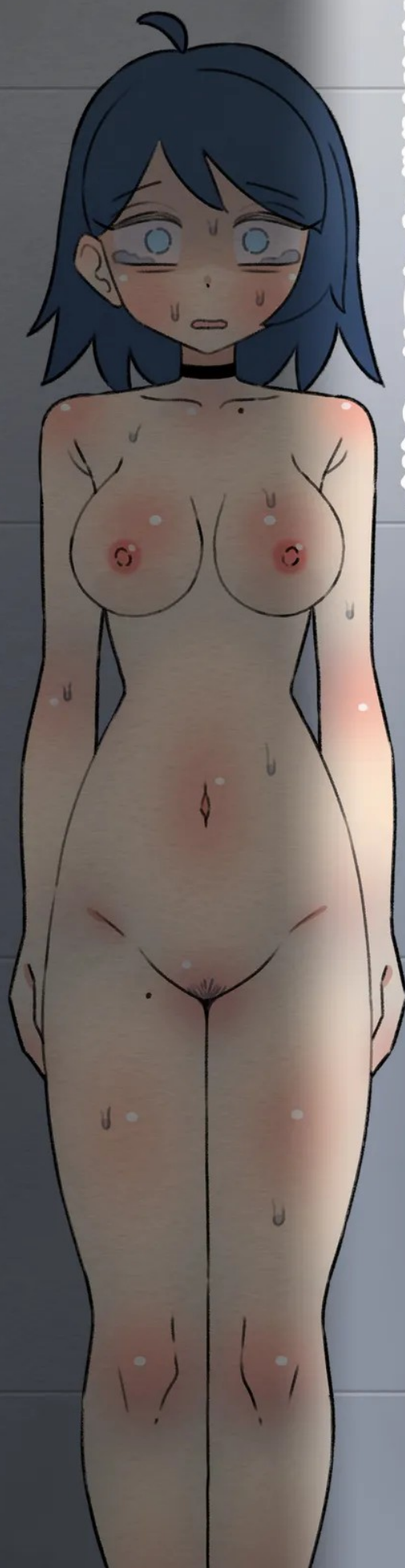
ギシ...



ギシ...

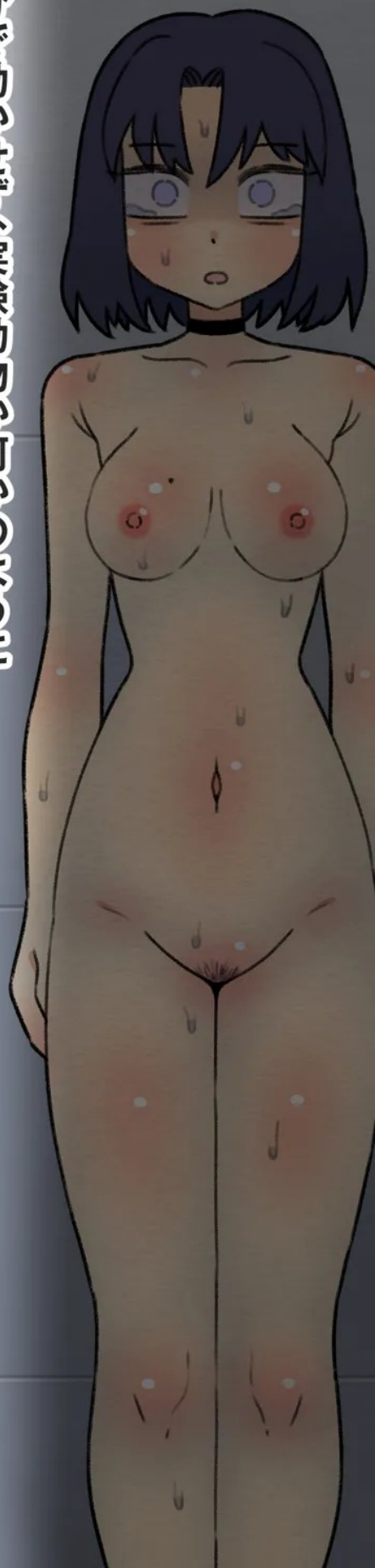


自分の身に起きていることを全く受け止めきれず、
ただただ呆然とするばかりの生体。

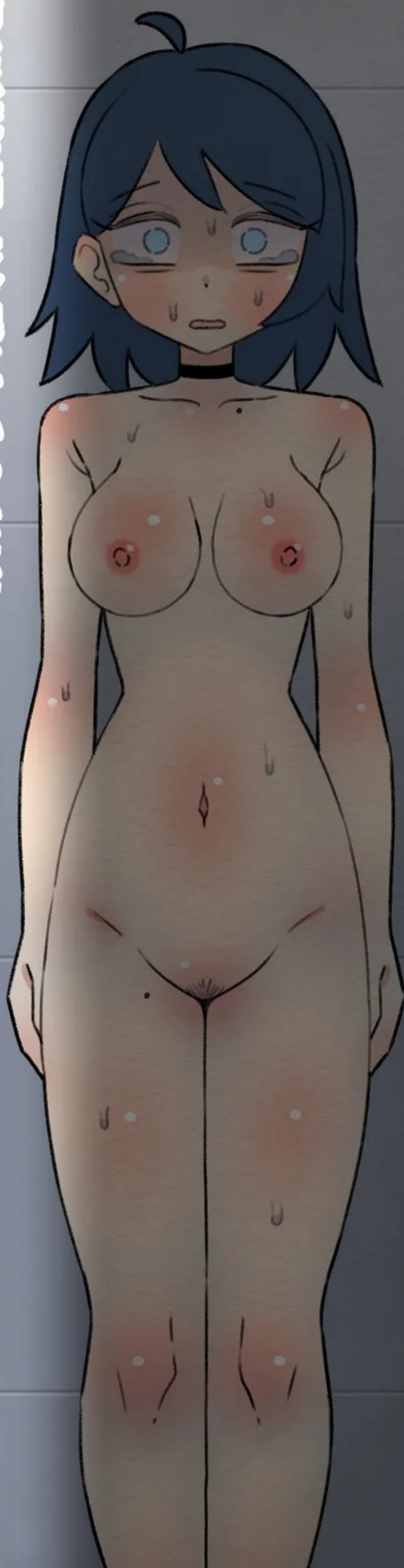
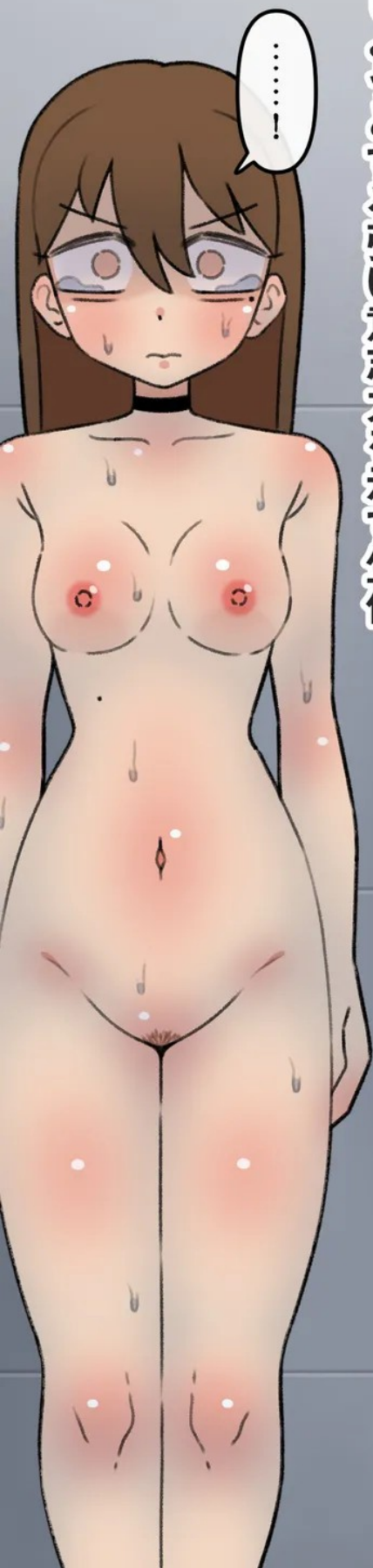


身体が自分で動かせず、実験動物か何かのように扱われるという、理不尽な状況に怯えるしかない生体。

……

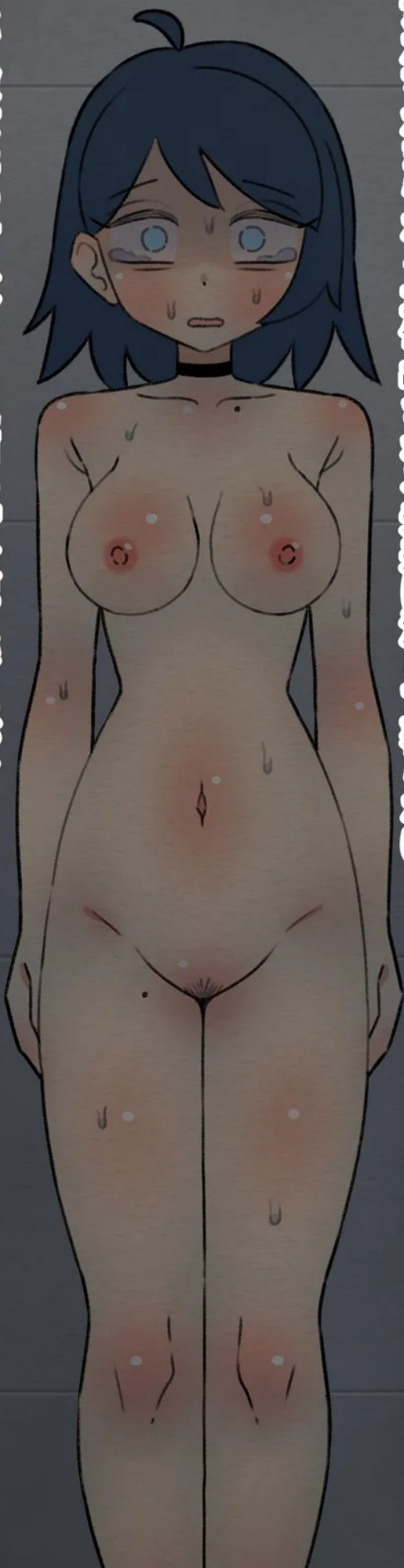


恐怖を必死に抑え、今起きていることを
何とか理解しようとする強い意志力を示す生体。



しかし結局、今ここで何を考え、どんな反応を示したところで、彼女たちがまもなく『加工』される未来は決して覆らない。

そして彼女たち二人ひとりに宿る『人格』までもが、ここでは『慰安用生体』を製造するための『素材』の二つでしかない。





すみませんが
ちよつと熱いですよー。

『製品コード』を
刻印しますね。

.....!
ヒクッ

.....!

ヒクッ

.....!

ヒクッ

シシシ...

シシシ...

シシシ...



はい、『肉人形の証』
刻印完了です。



これで、皆さんを『加工』した後も
コードを読めば、どれが誰なのか
ちゃんとわかりますからね。

それにこの刻印があれば、
万が一にも誰かが皆さんを
『人間』だと『勘違い』することも
無いので安心してくださいね。



途中で『壊れない』ように
頑張ってくださいね！

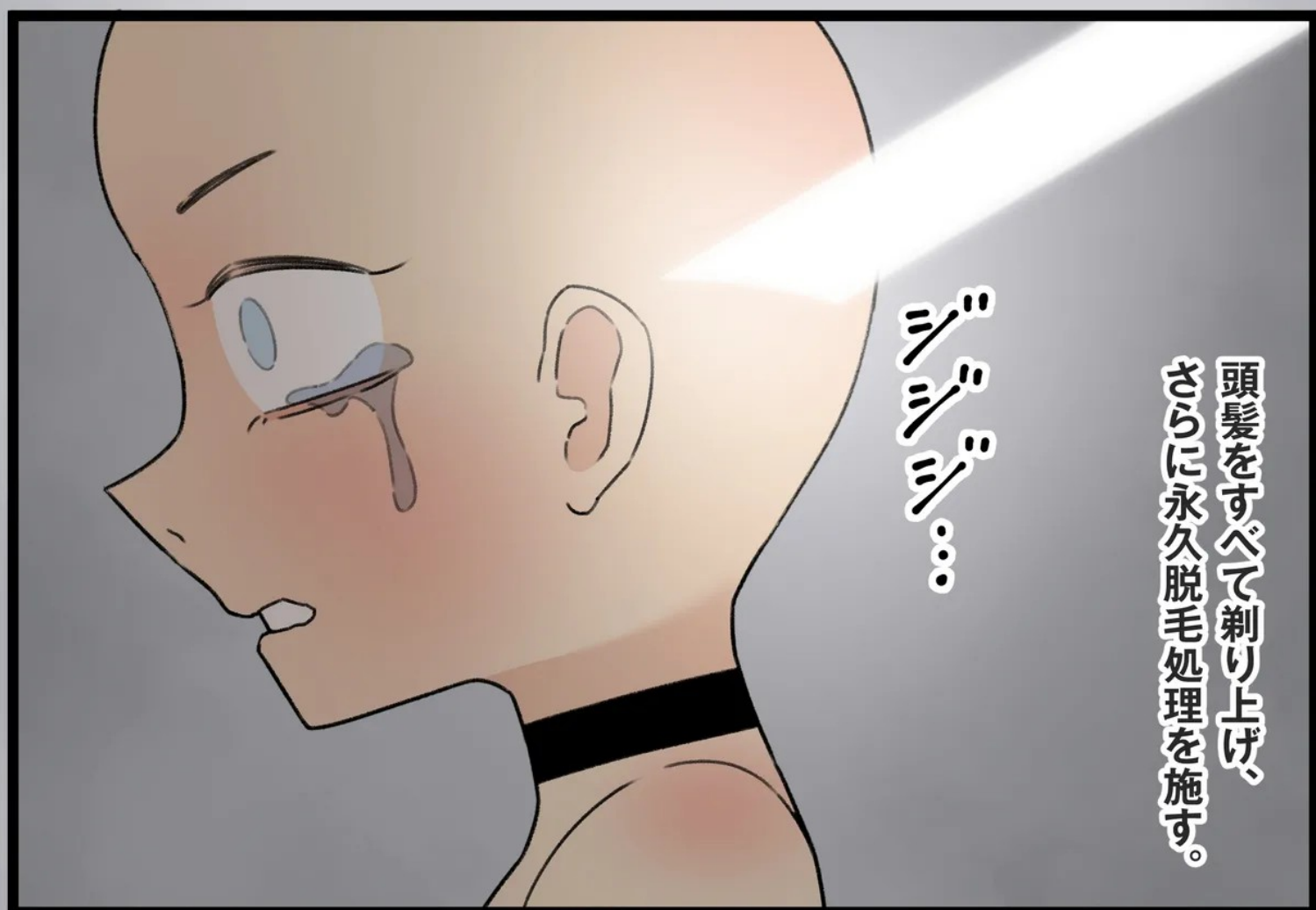
それじゃ早速、『加工』を
始めていきましようか。

グイグイグイ…

『第1工程』

ファ
サ

ファ
サ

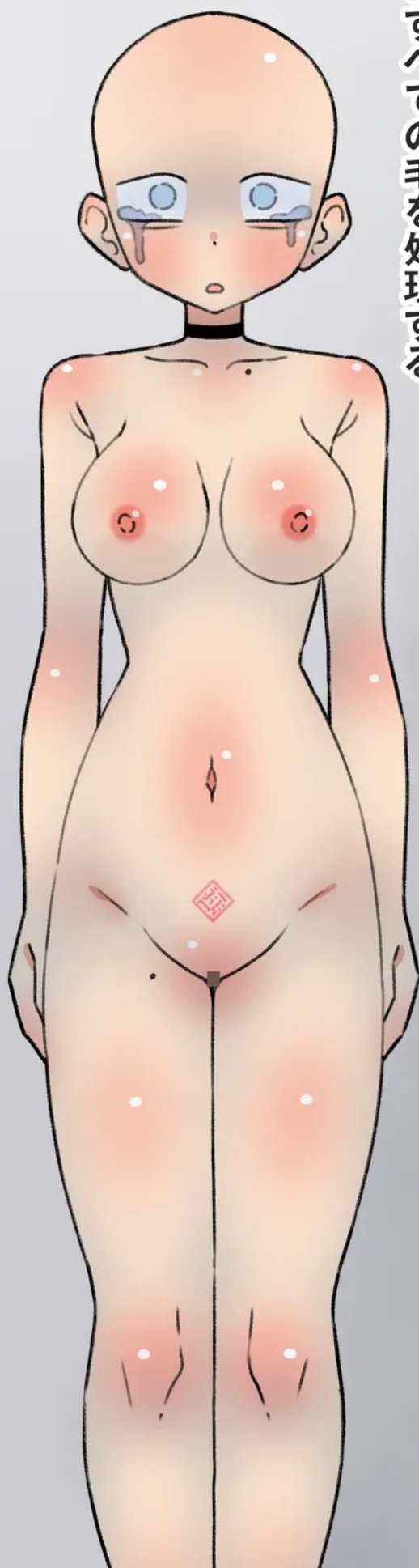


ジ
ジ
ジ…

頭髮をすべて剃り上げ、
さらに永久脱毛処理を施す。

頭髮だけでなく、
全身のすべての毛を処理する。

眉毛、まつ毛、脇毛、すね毛、陰毛……



そして産毛の1本に至るまで、
例外なく徹底的に取り除く。



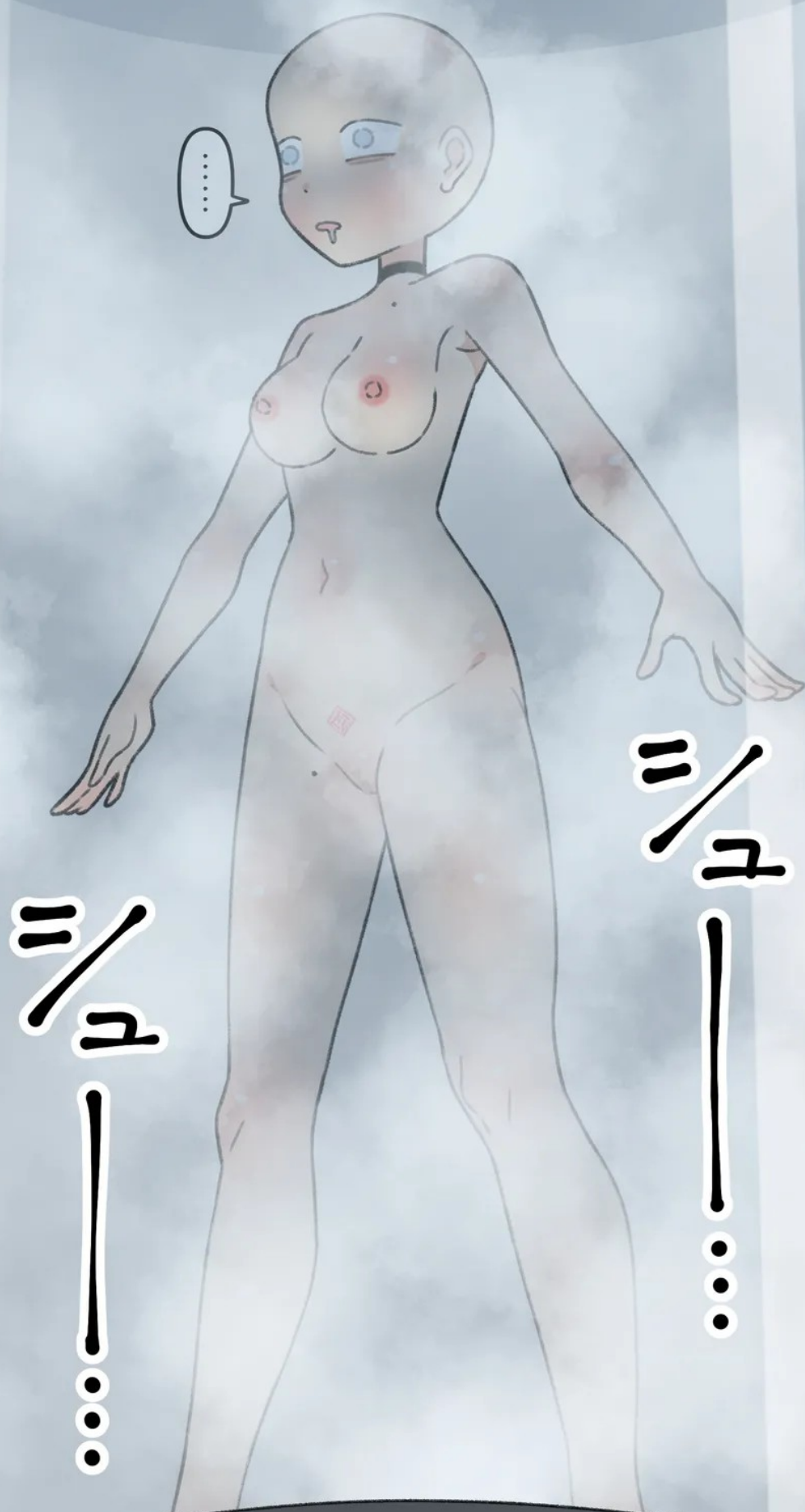
ツルリと無個性に仕上がった姿は、
まさに加工されるのを待つ『素材』そのものだ。

次に、密閉されたカプセル内で
生体の全身を『コーティング』する。



体表面すべてに『コーティング』がくまなく行き渡るように、
生体は『開いたポーズ』で固定しておく。

ガス状のナノマシンがカプセル内を満たし、
生体の体表面に吸着していく。

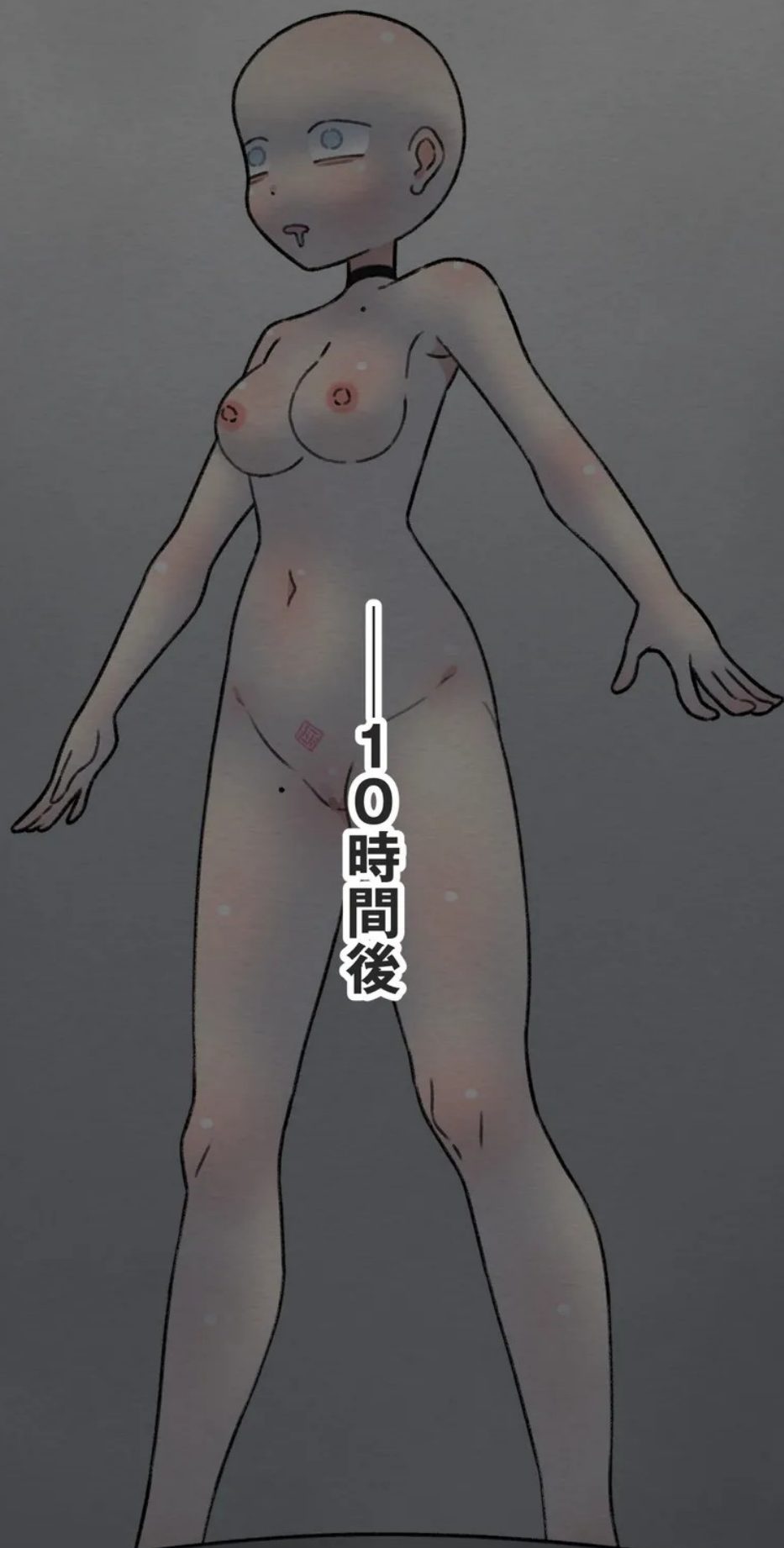


この時、ガスを吸入し過ぎないように、
生体の意識レベルは予め低下させてある。

コーティングが完全に定着するまで
10時間ほど自然乾燥させる。



それまで、少女はこのポーズで
固められたまま放置される。



10時間後

コーティングが定着した少女の肌は、
陶器めいて白くなり、
人工的な艶めきに包まれていた。

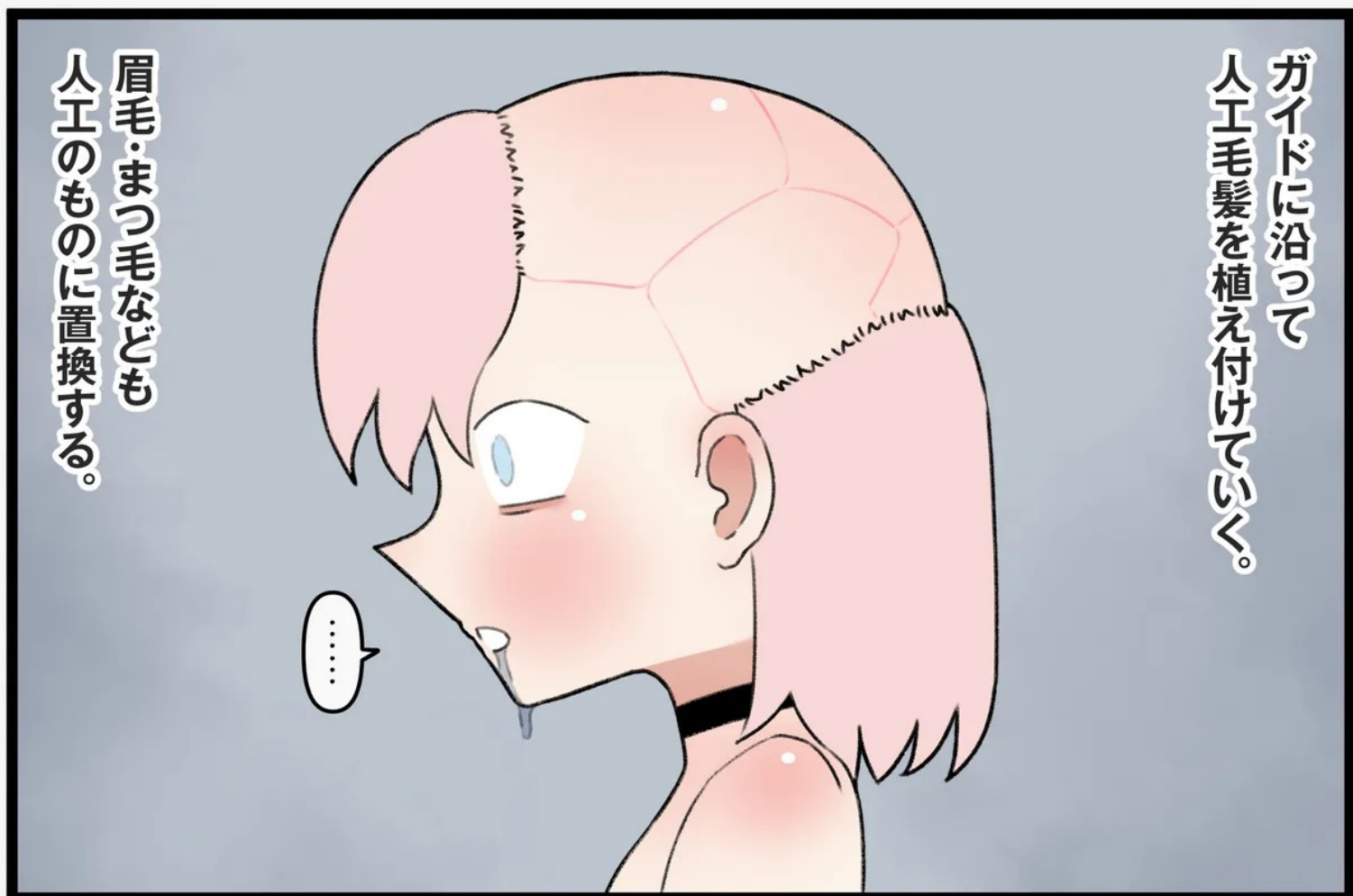
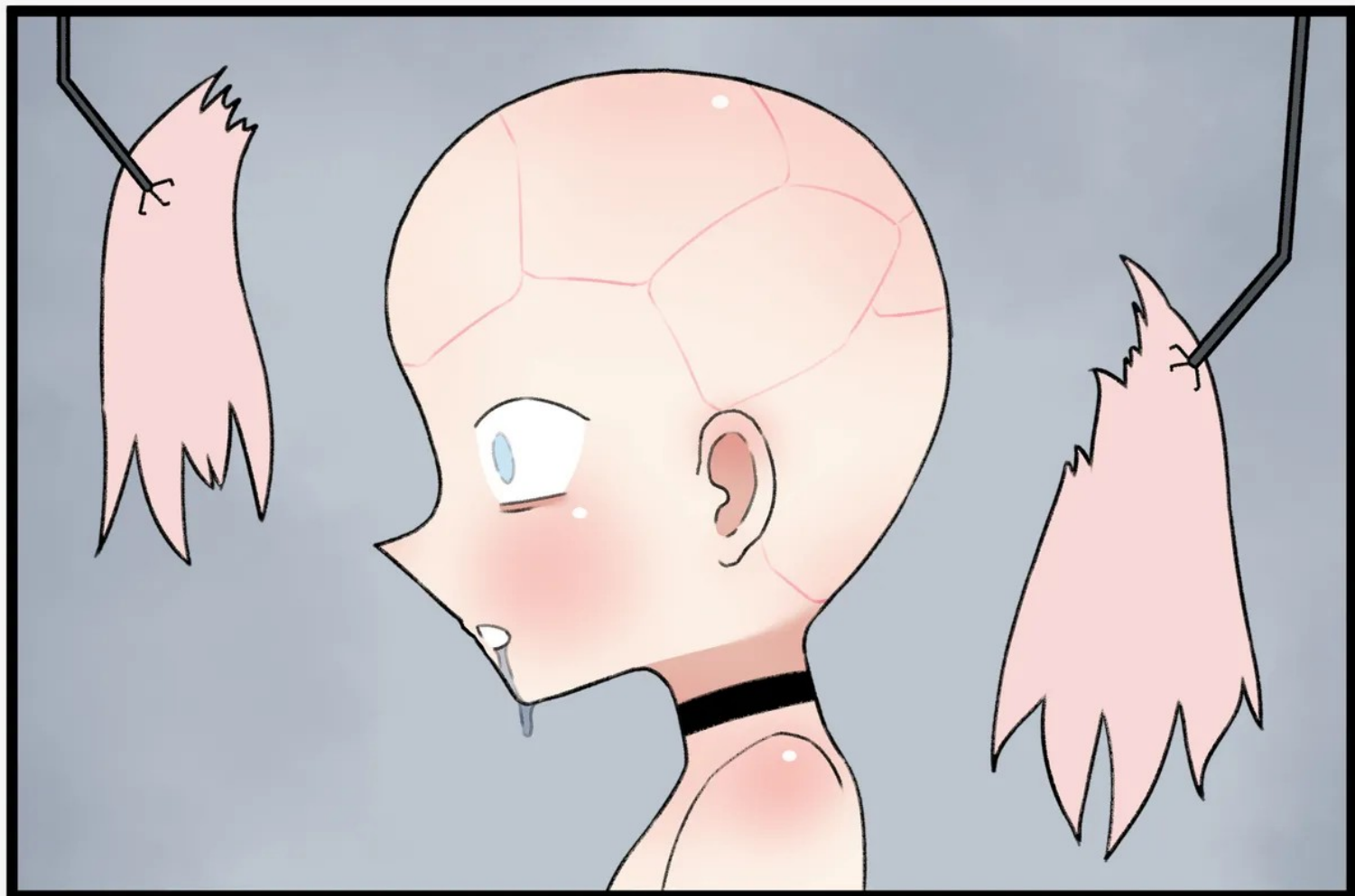


ただホクロだけが、
少女の尊厳にピリオドを打つかのように、
シミひとつない肌にポツリと取り残されている。

不自然なポーズで全裸を晒したまま
ピクリとも動かないこの『肉の彫像』は、
つい昨日まで大好きなバスケットで
生き生きと青春の汗を流す一人の少女だった。



その日常から外れてたった一日足らずで、
少女は一人の『人間』から
無個性な『製品』へと姿を変えてしまった。



ガイドに沿って
人工毛髪を植え付けていく。

眉毛・まつ毛なども
人工のものに置換する。

植え付けた人工毛髪を、
『規定のヘアスタイル』に整える。

……



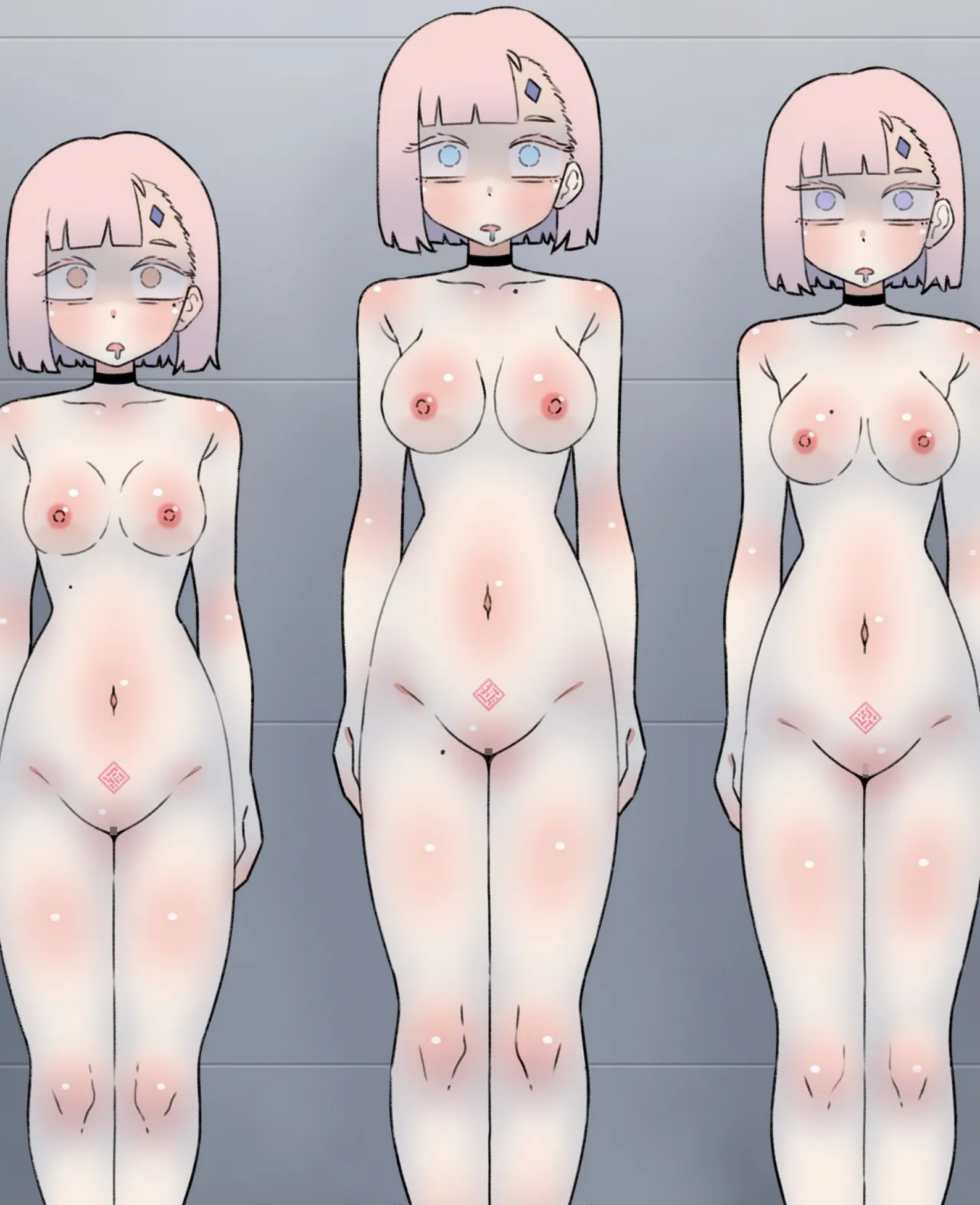
ズクン

ズクン

ズクン

仕上げるに、
額に針状の『デバイス』を打ち込む。
針は脳まで到達し、神経細胞と結合する。
これにより、脳に直接的に情報を
入出力することが可能になる。



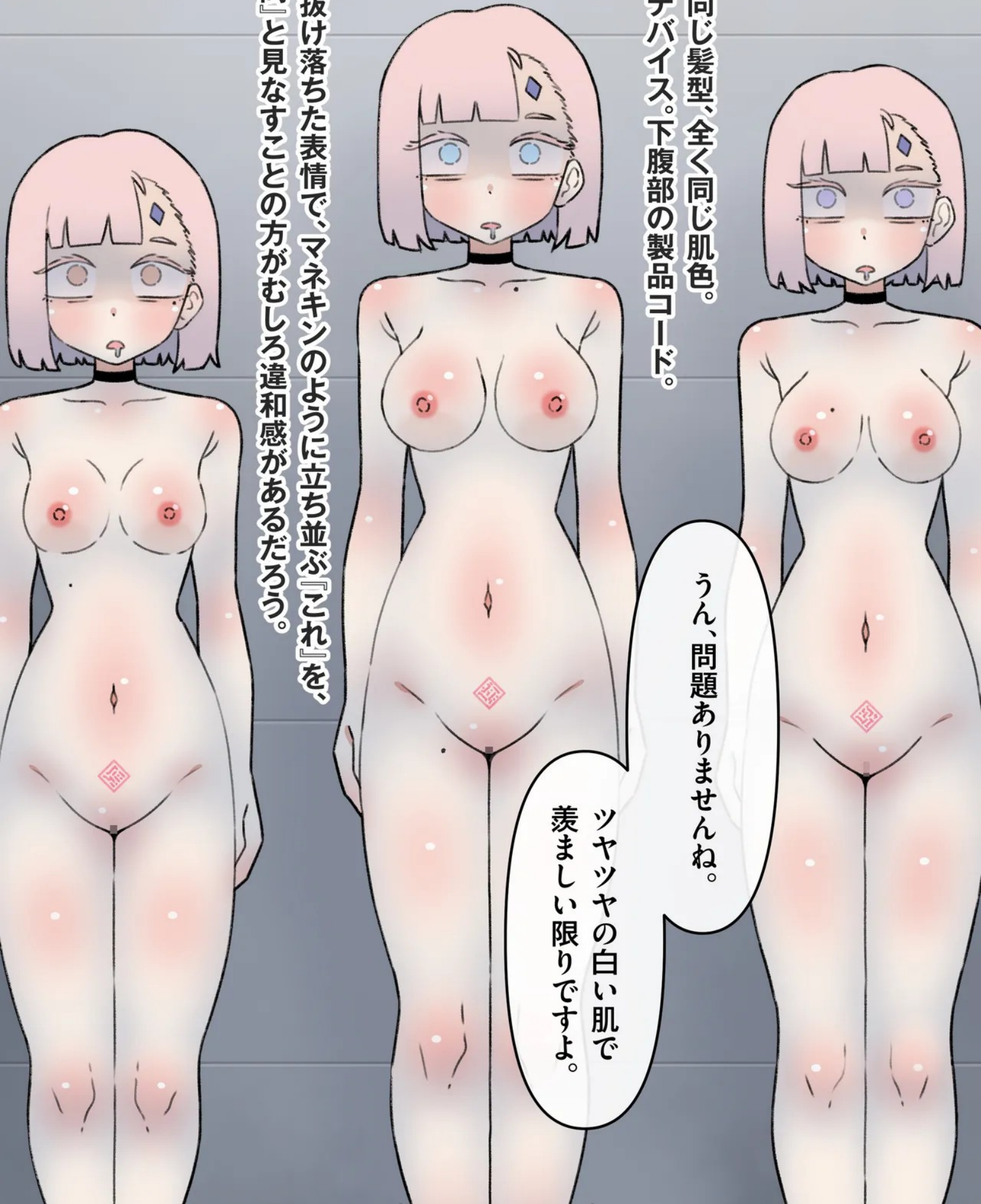


全く同じ髪型、全く同じ肌色。
額のデバイス。下腹部の製品コード。

魂の抜け落ちた表情で、マネキンのように立ち並ぶ『これ』を、
『人間』と見なすことの方がむしろ違和感があるだろう。

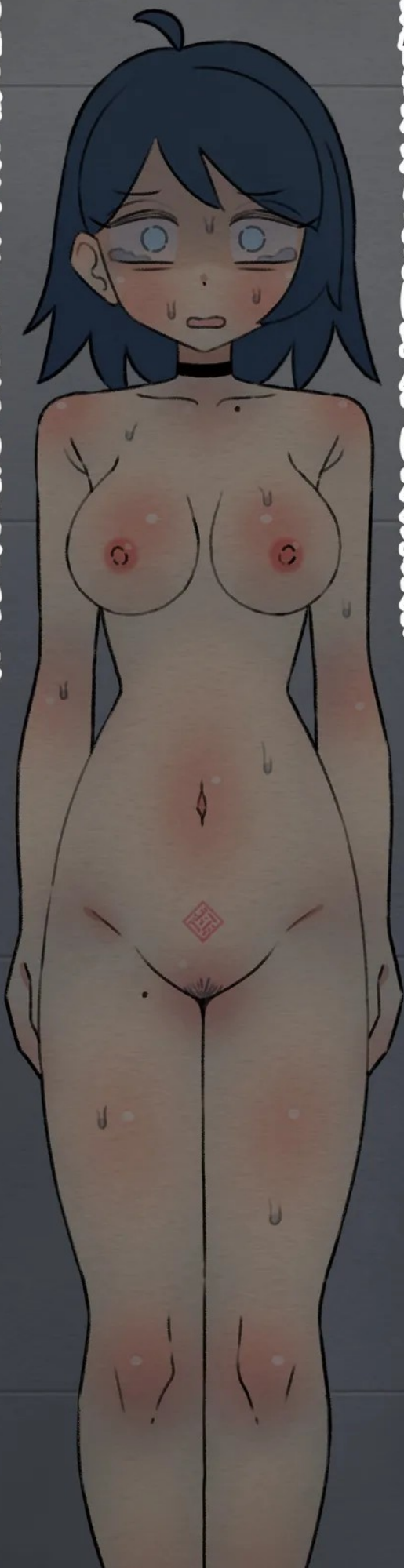
うん、問題ありませんね。

ツヤツヤの白い肌で
羨ましい限りですよ。



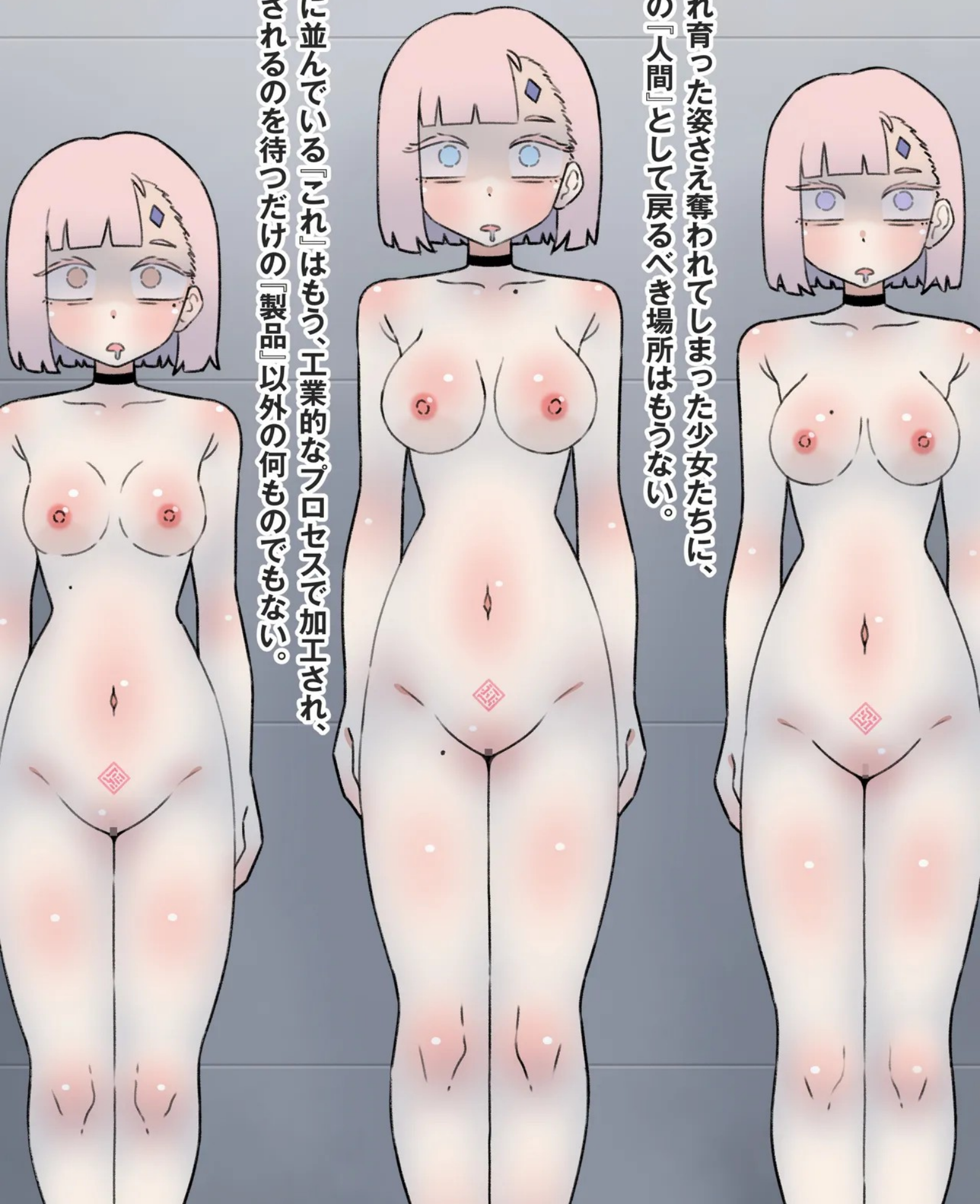
全裸に剥かれ、声と自由と尊厳を奪われ、
恐れ慄きながらここに並んでいた少女たち。

この時点では、少なくとも、その姿においては
少女たちはまだ『人間』であり『個人』であった。



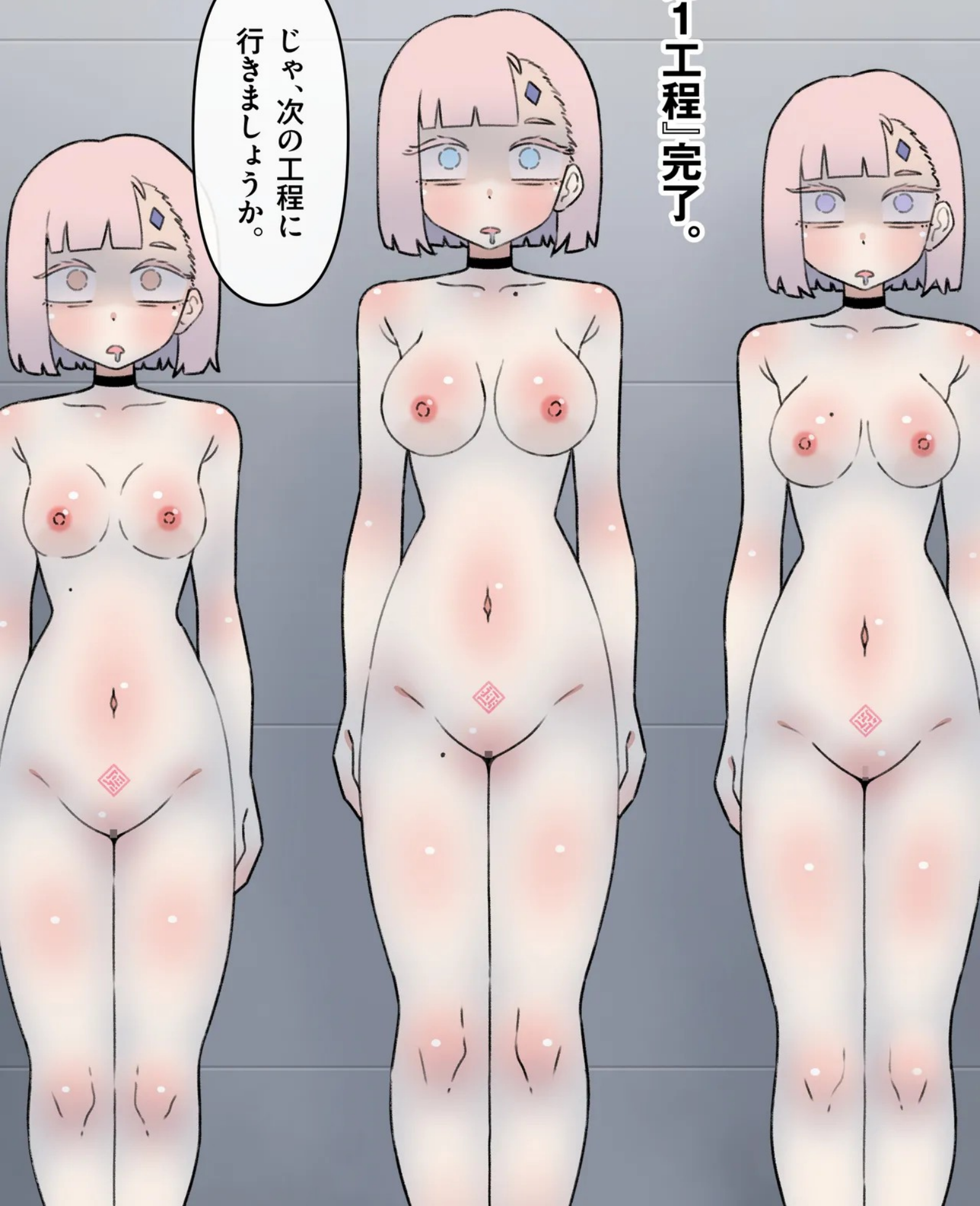
生まれ育った姿さえ奪われてしまった少女たちに、
一人の『人間』として戻るべき場所はない。

ここに並んでいる『これ』はもう、工業的なプロセスで加工され、
完成されるのを待つだけの『製品』以外の何ものでもない。



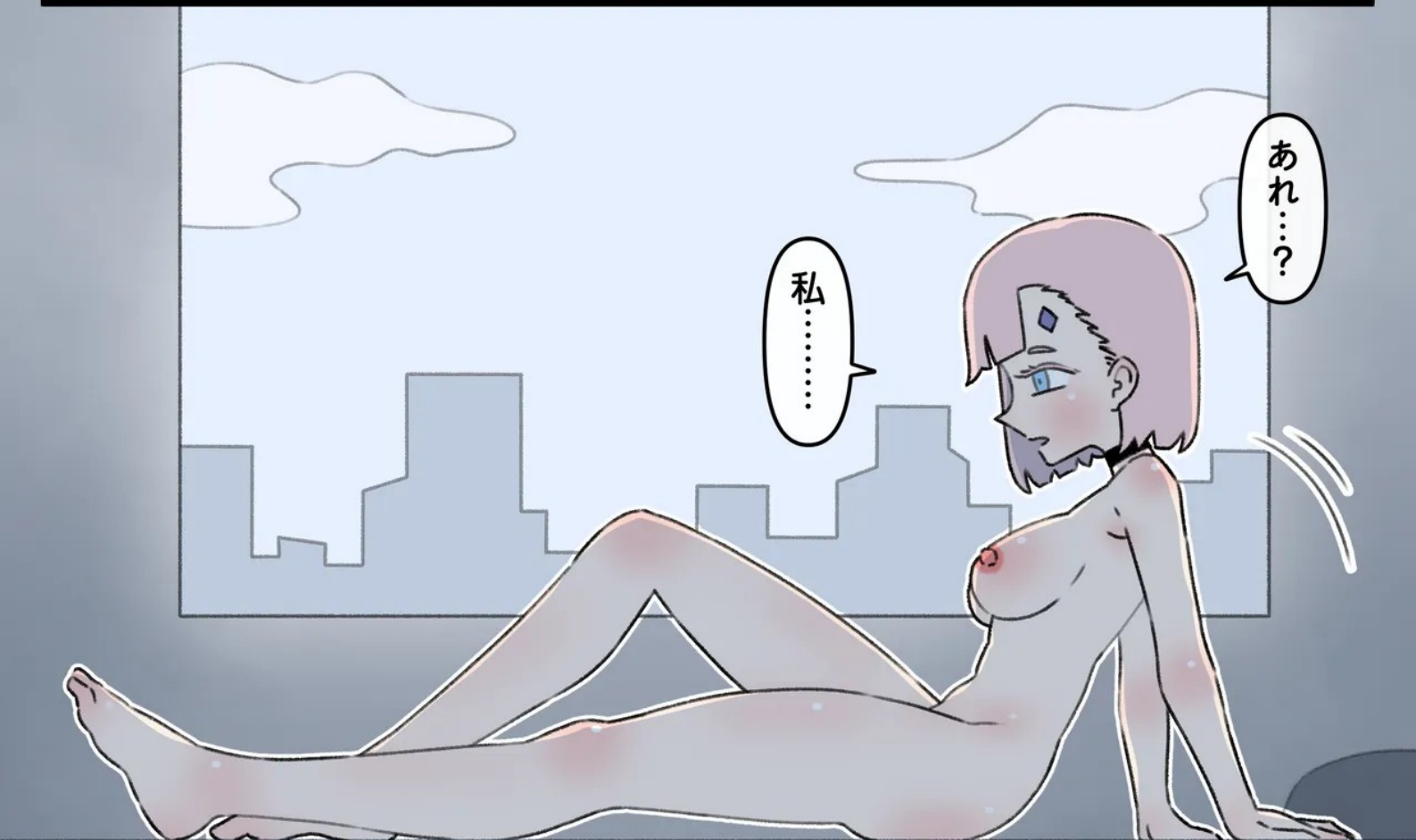
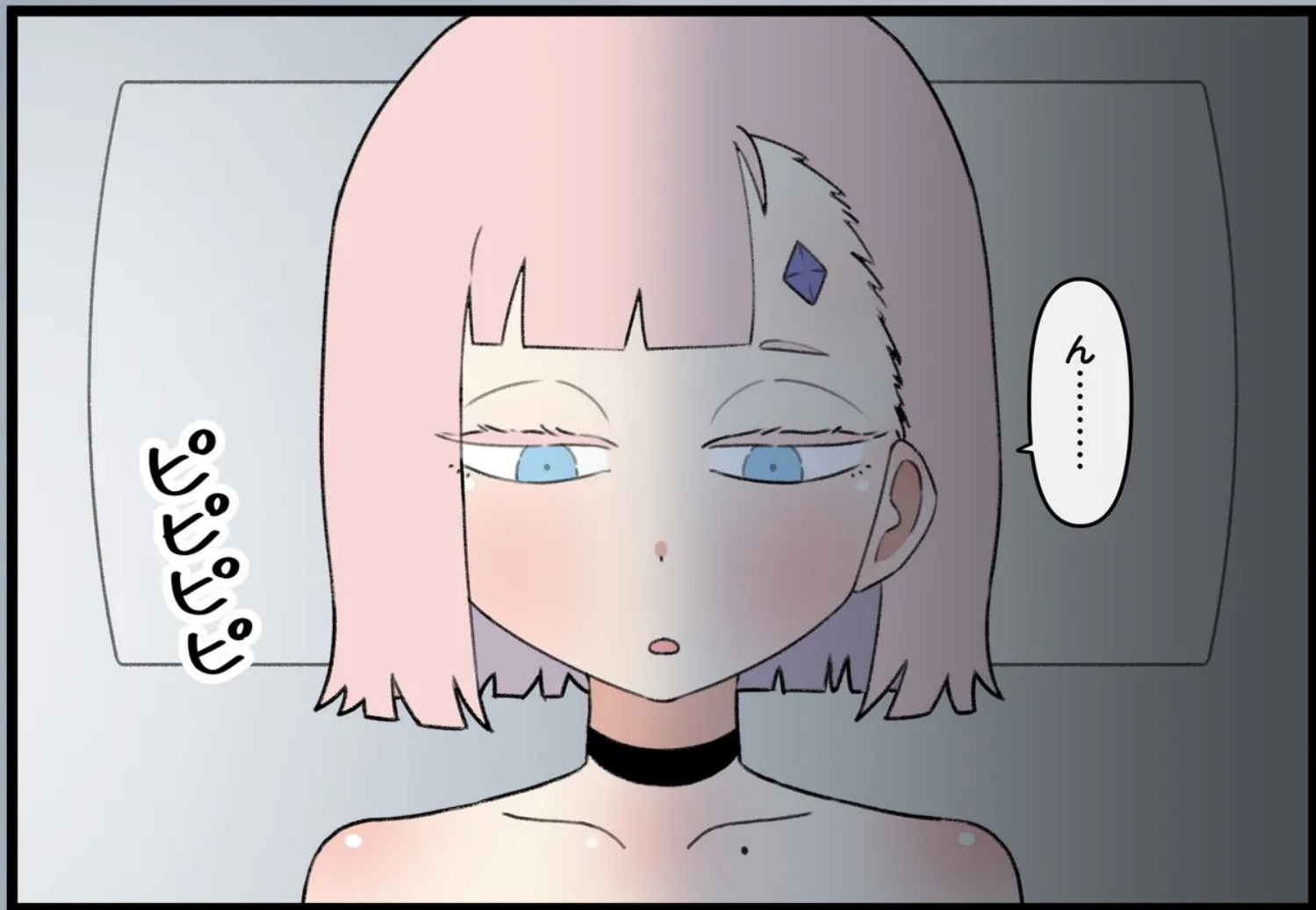
『第1工程』完了。

じゃ、次の工程に
行きましょうか。





『第2工程』



『第2工程』のプロセスは
『個室』で進行する。

え……？

……

どう……？

おはよう
ございます。

わっ

ビクッ

……バイタルを
チェックします。

『鏡』の前に
立ってください。

……あ……！
あ……あの……！

こ……ここは……
どこなんですか……？

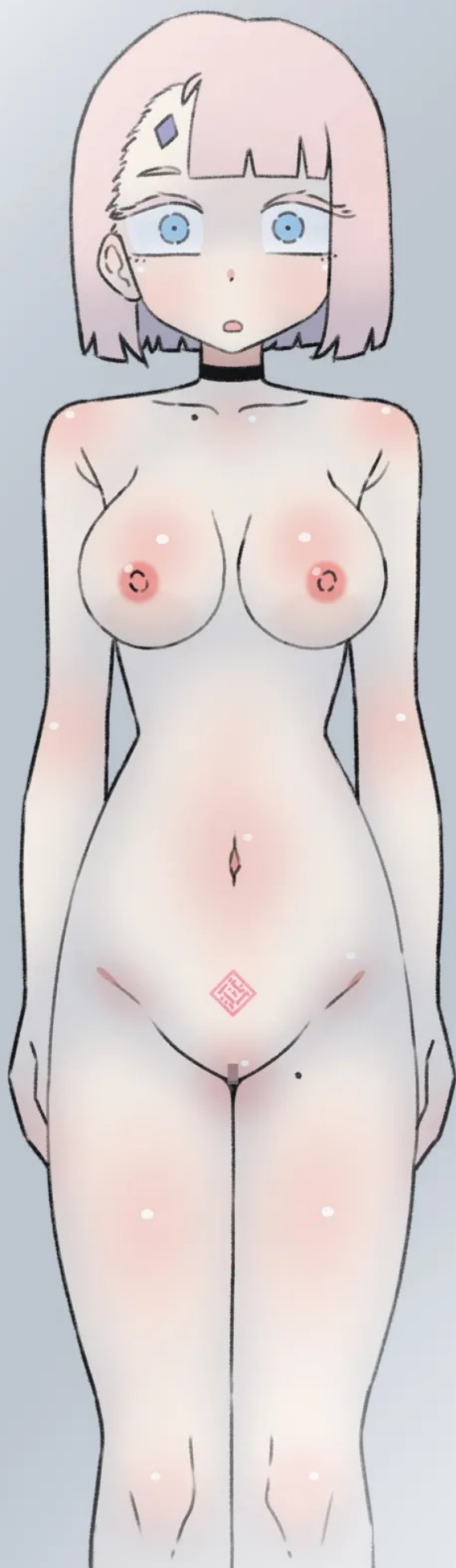
……

う……とりあえず
言われた通りに
するかなさそう……

少女はこの時初めて、
変わり果てた姿の自分と対面することになる。

…………え？

…………誰？



こ、これ……私？

え……
あれ？

え……

あれ？

うそ……え？

ていうか私、
なんで裸で……

……

……あ。





あ…あ

ああ！

そうだ…

私…！攫われて…！

やだ…

こんな…！

精神状態が
不安定です。

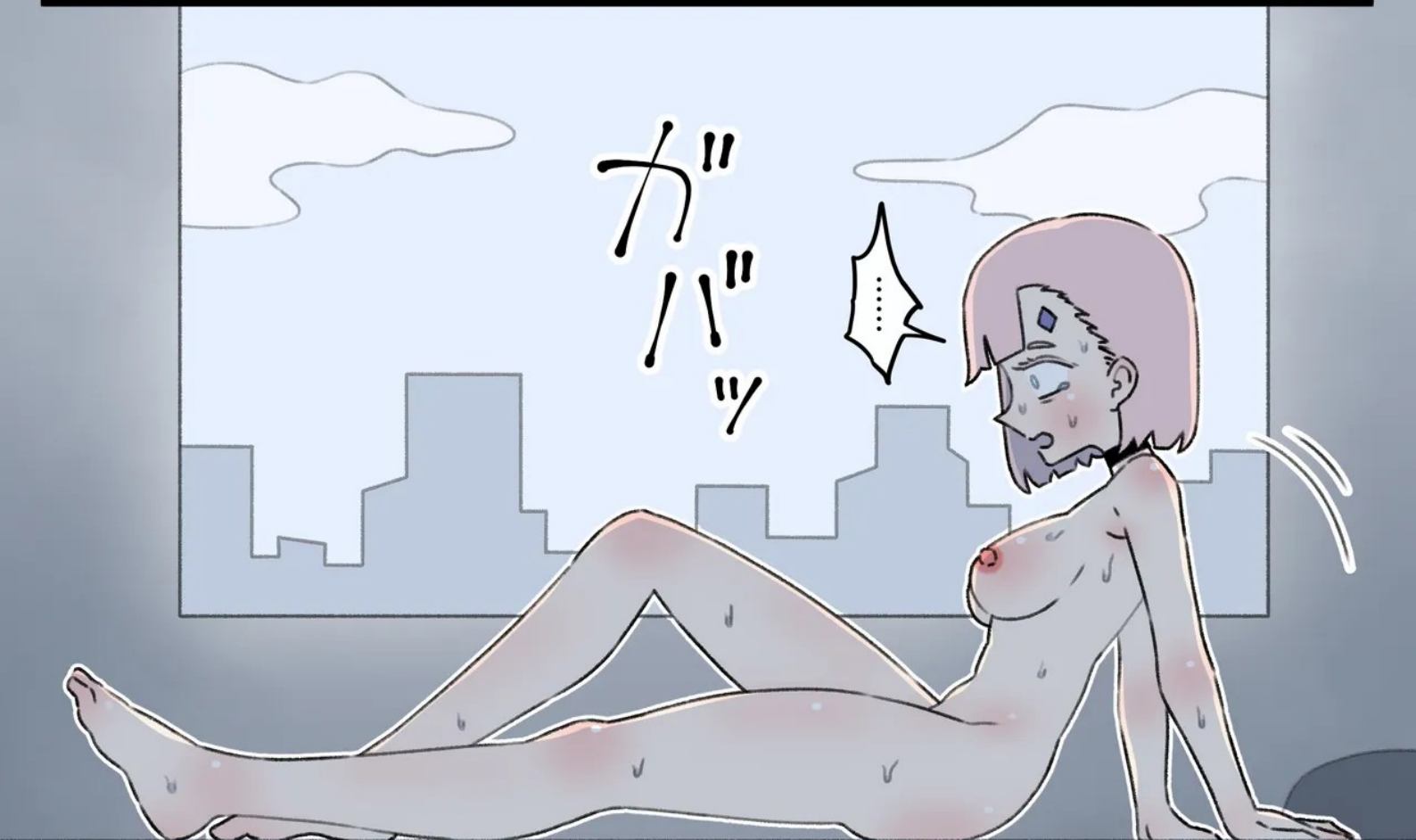
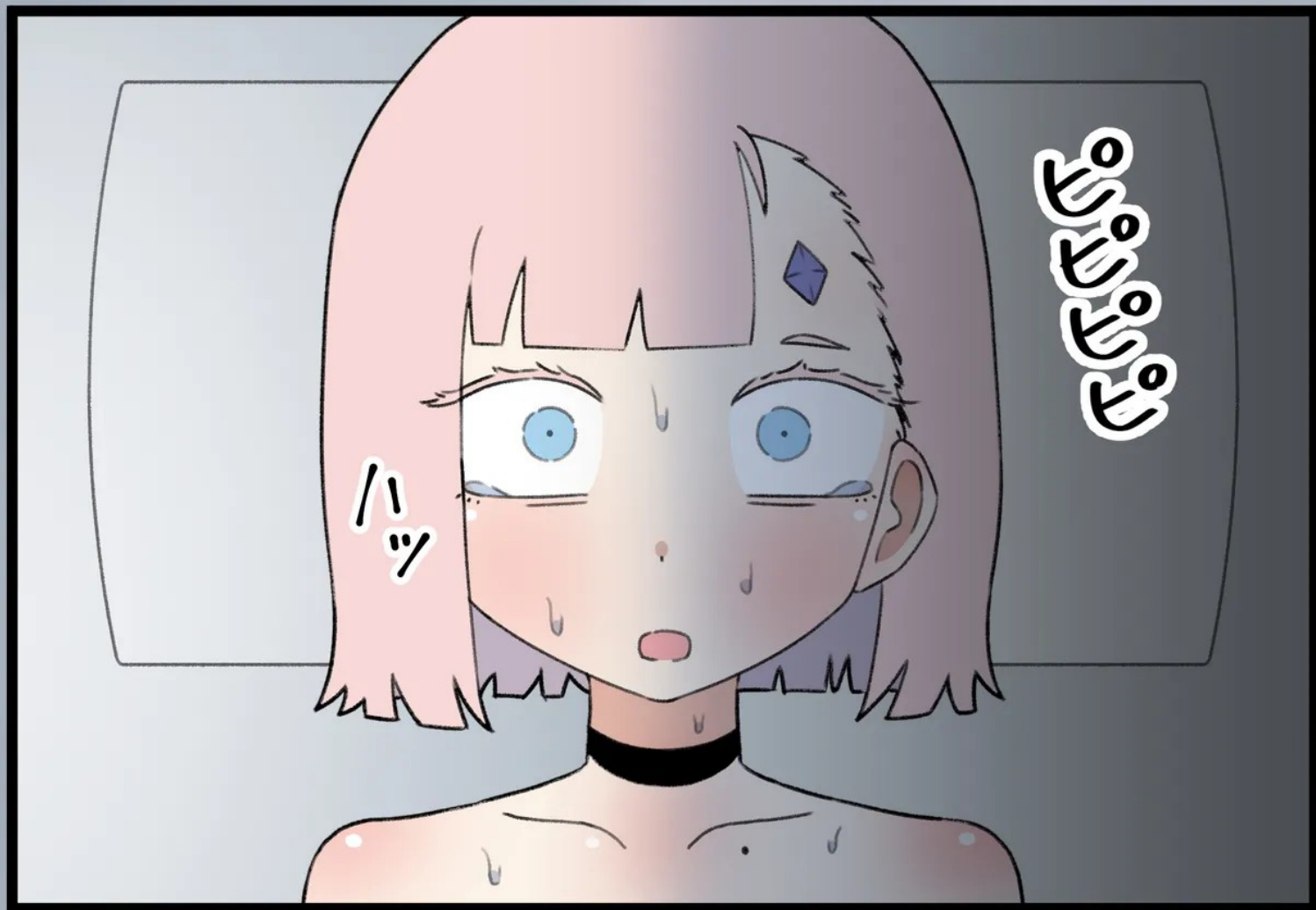
『安全措置』を
実行します。

なんで…！

鏡に映る自分の変わり果てた姿を見た時、
少女は自分の置かれた状況を思い出し、錯乱状態に陥る。



その際、人格へのダメージを抑えるために、
速やかに意識レベルを低下させる必要がある。



おはよう
ございます。

バイタルを
チェックします。

『鏡』の前に
立ってください。

うそ……

夢……

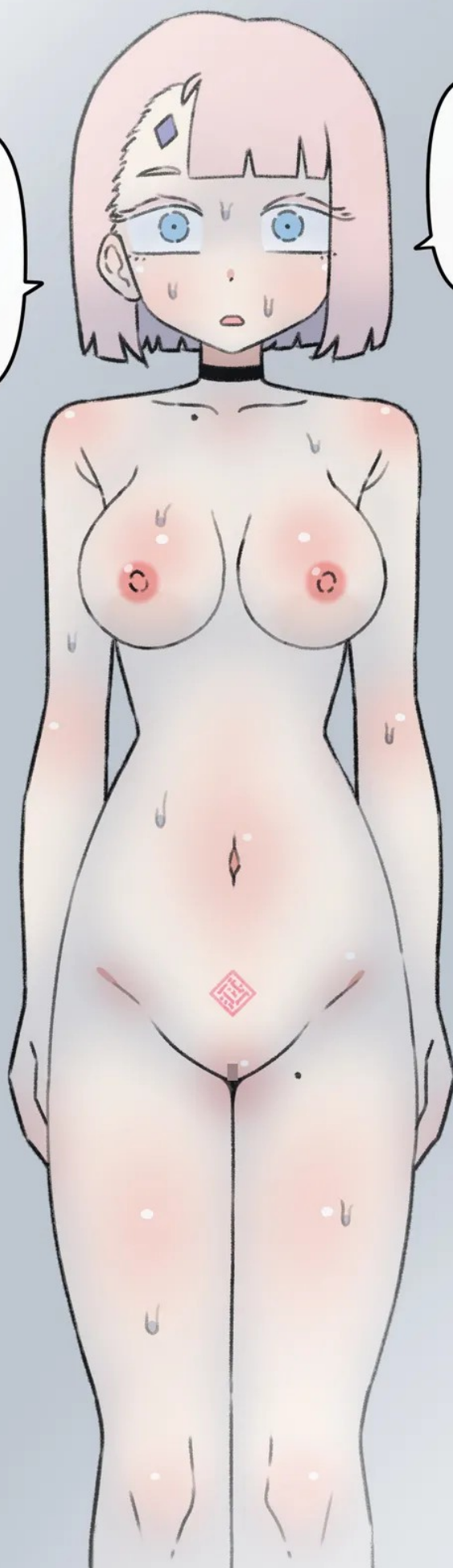
じゃないの…？

起床の度、鏡の前に立たせる。
加工された自分の姿を繰り返し刷り込んでいく。

これが……

私……なの……？

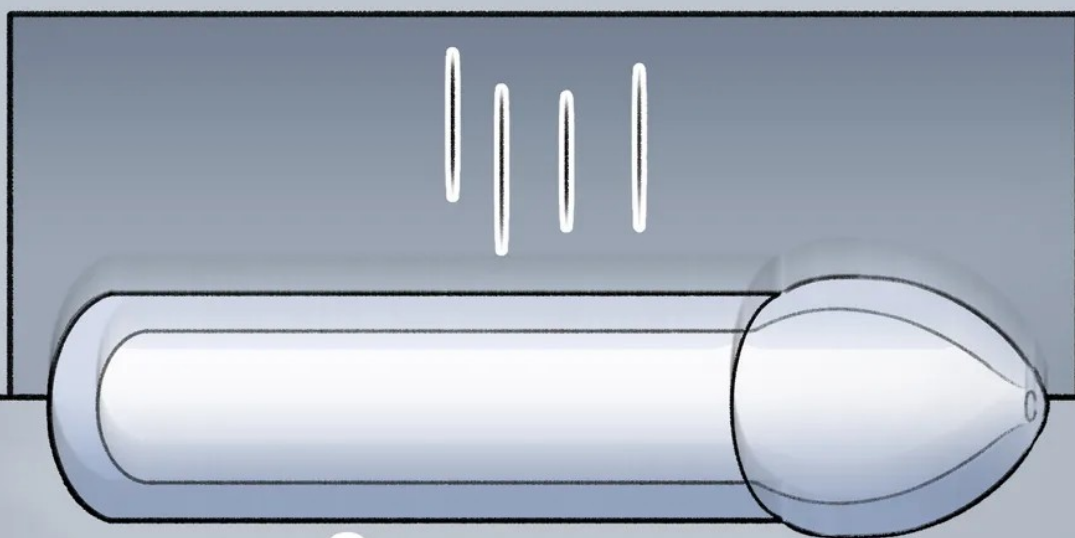
バイタル正常。
問題ありません。



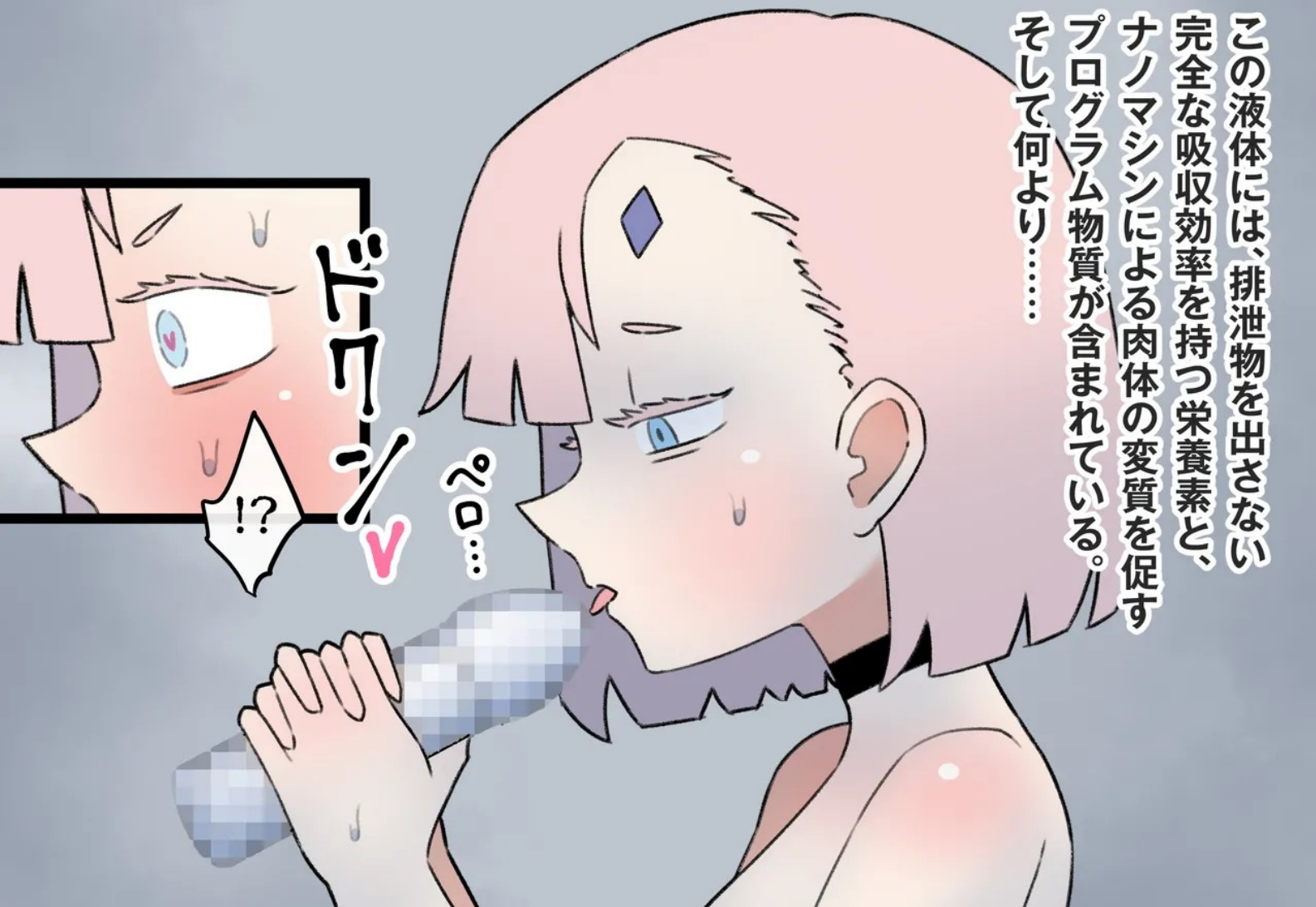


カニャッ

『食事』を
支給します。



ガコッ



何……これ！

おいしすぎる……

ング

ング

その液体は、これまで口にした
どんな食事と比較にもならないほど、
麻薬めいた多幸感で少女の脳髓を揺さぶった。
その味と匂いとは一体どんなものなのか。
答えは『精液そのもの』である。

……！

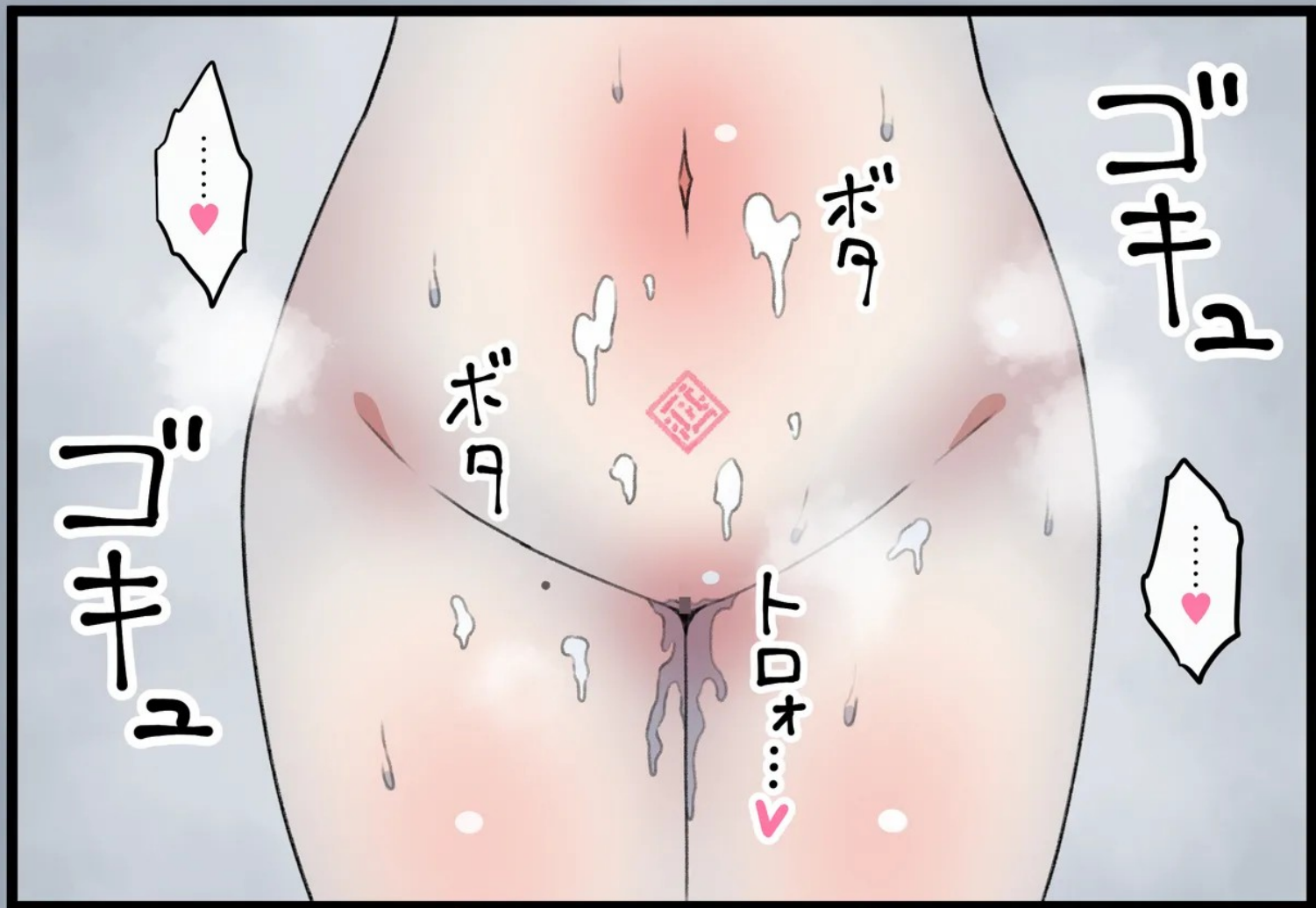
ゴキュ

ギュツ

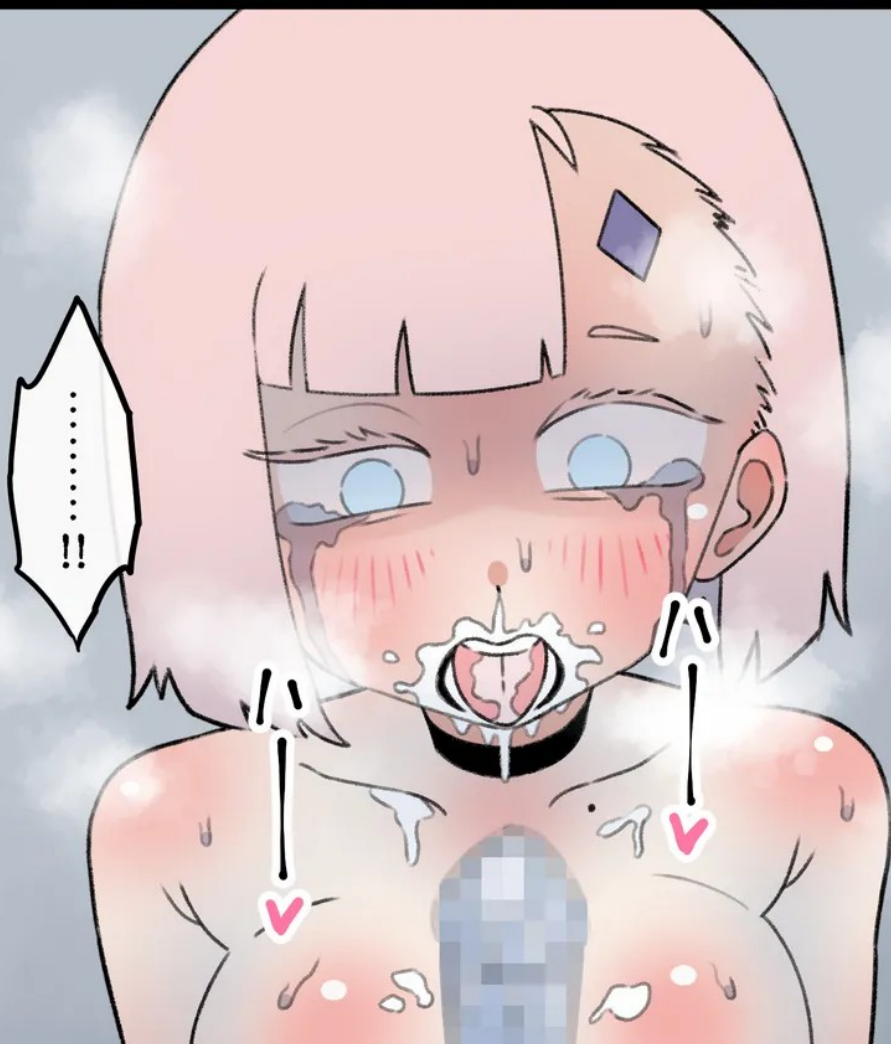
ゴキュ

……！

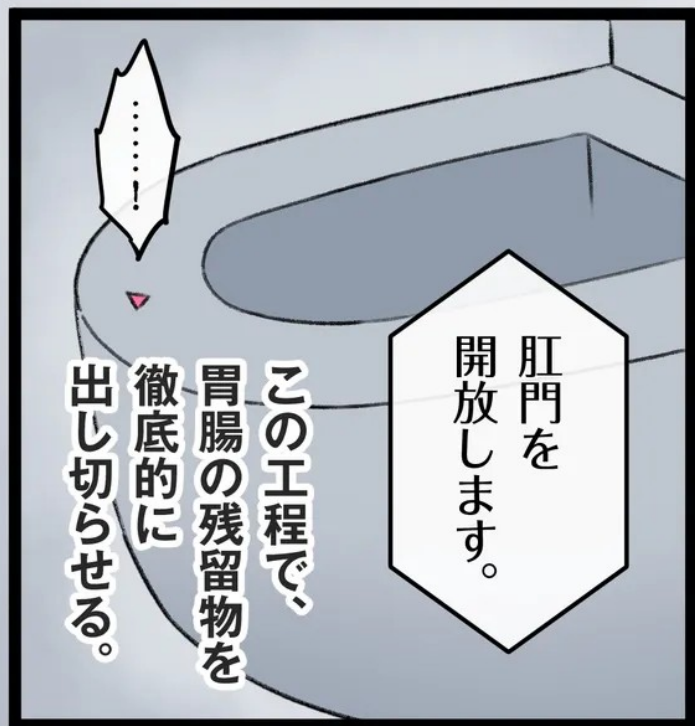
知らぬ間に『慰安用生体』として
味覚と嗅覚を書き換えられている少女は、
『それ』を夢中で貪り、飲み下していく。



少女は『食事』を終えた時、
脳が煮崩れるような幸福の余韻の中で、
同時に、魂の底から湧き上がるような
冷たい恐怖と絶望を味わっていた。



すでに取り返しのないところまで
自分が作り変えられてしまっていること。
それが今、『実感』として胸に突き刺さった。



食事と排泄を終えると、それ以上は何の指示も与えられず、何もない部屋ではやれることもない。



じっとしていると、少し落ち着いてきた心に、理不尽な現状がむしろ重くのしかかってくる。どうして私が？ なんでこんなことに？

つい2、3日前まで学校に通い、大好きなバスケの練習に明け暮れていた。そんな日常が遠い幻のように思える。

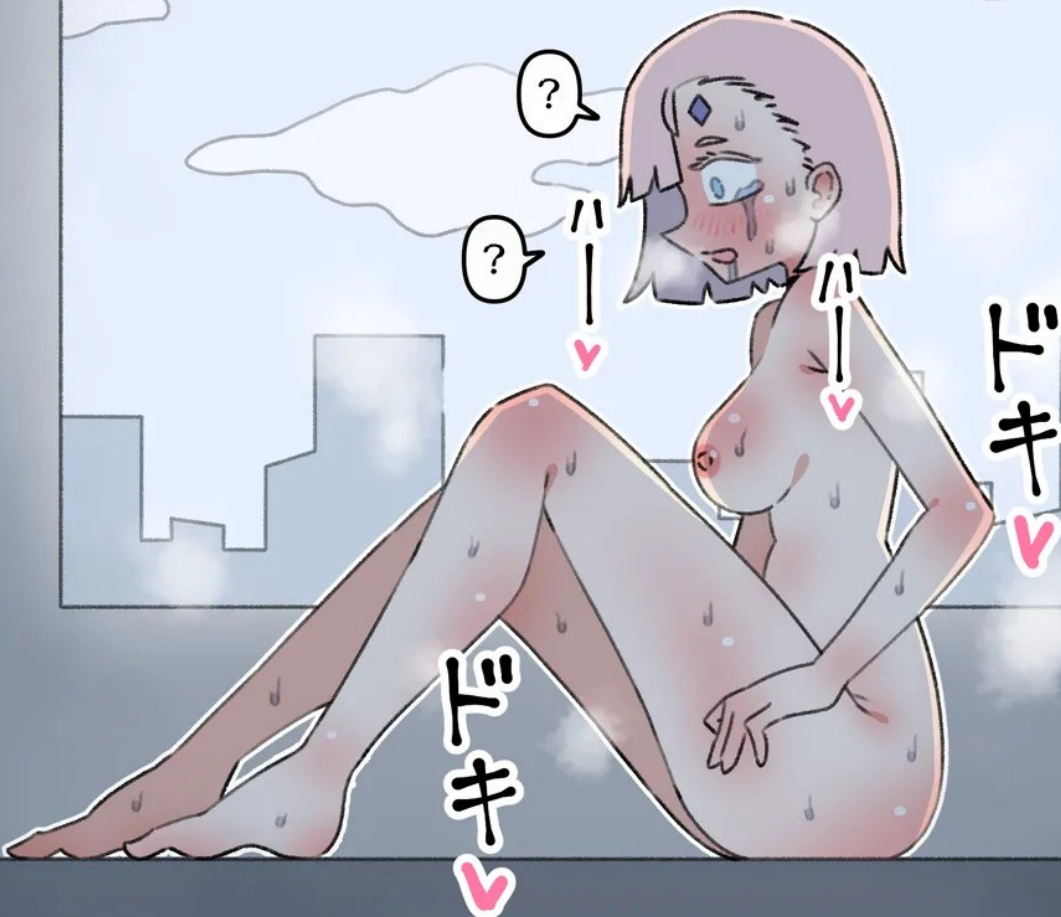


私が『慰安用生体』に加工される？
そもそも『慰安用生体』って何？
誰も説明すらしてくれないが、淫らで不穏な
気配だけは十分に察することができる。

少女の胸中に不安と悲しみが大きく膨れ上がる。
すると、まるでそれに呼応するかのよう、
唐突に全身が熱を帯びる。



少女の困惑を差し置いて、
瞬く間に股間の割れ目から愛液が溢れ出す。
頭が痺れ、下腹部からマグマのように
熱い何かが耐えがたく込み上げてくる。



そしてすぐに、少女の瞳から理性の光が消えた。
熱い汁が溢れ続ける自分の割れ目を、少女は夢中で慰め始めた。



改造され、監禁され、監視されていることも、
不安も悲しみも、すべてを忘れ去ったかのように、
少女は淫らな快楽に全身で没頭する。

ゴクッ
♡



アッ
♡♡

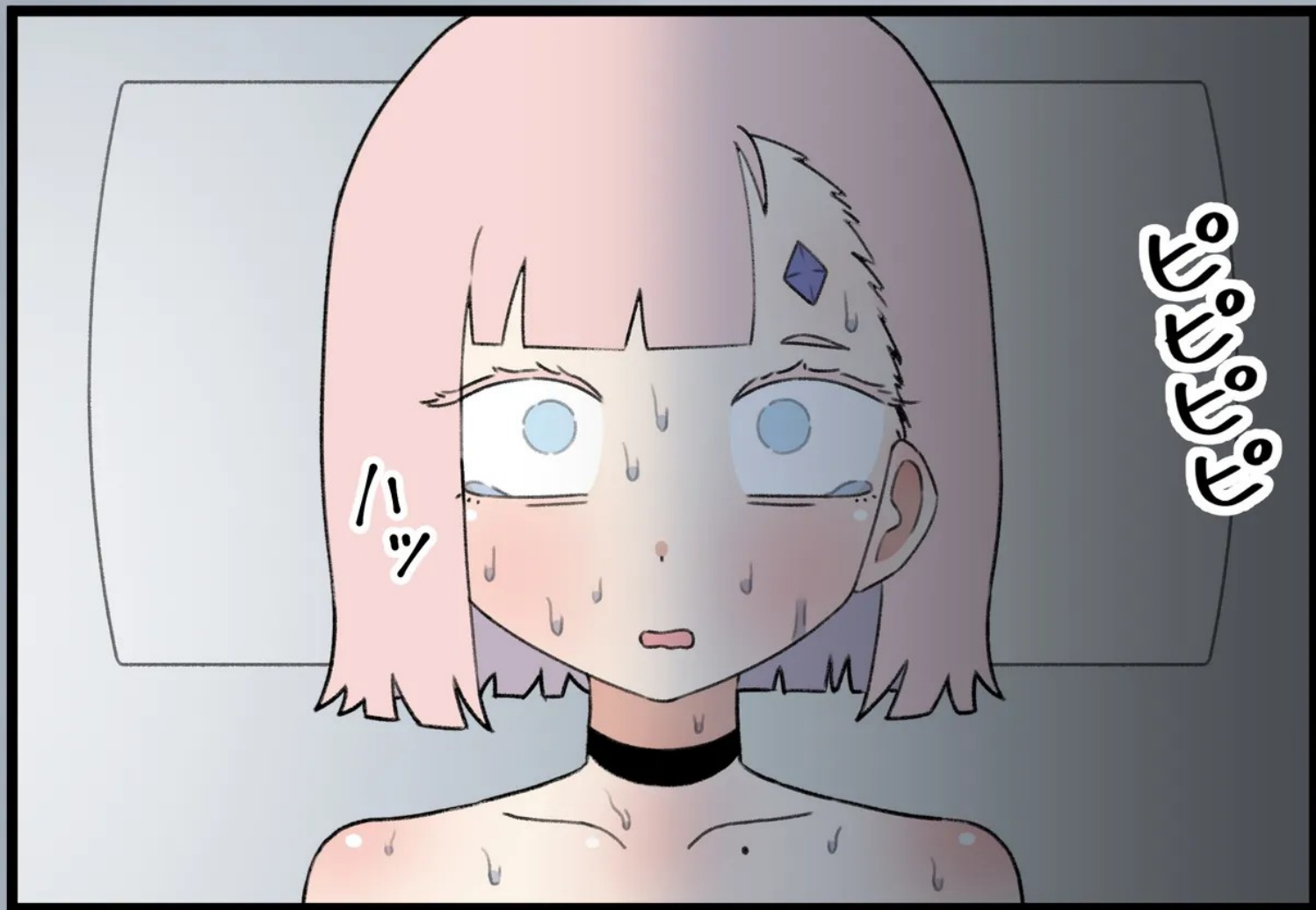
お…ゴオ
♡

ゴクッ
♡

あっという間に絶頂に至る。しかもそれは、
脳が焦げ、背筋がねじ切れたかと思うような激烈な絶頂だった。
一度味わってしまったら、もはや死ぬまでそれを
求め続けずにいられないような、地獄のような快感だった。



少女は自分が失禁していることにさえ気づかないまま、
初めて自慰を覚えた猿そのものの有様で、
気絶するまで自分の濡れた割れ目を弄り続けた。



身体の芯がまだ熱い…

股が…ジーンジーンする……

昨日の『んっ』は……

どうして私……
あんな……

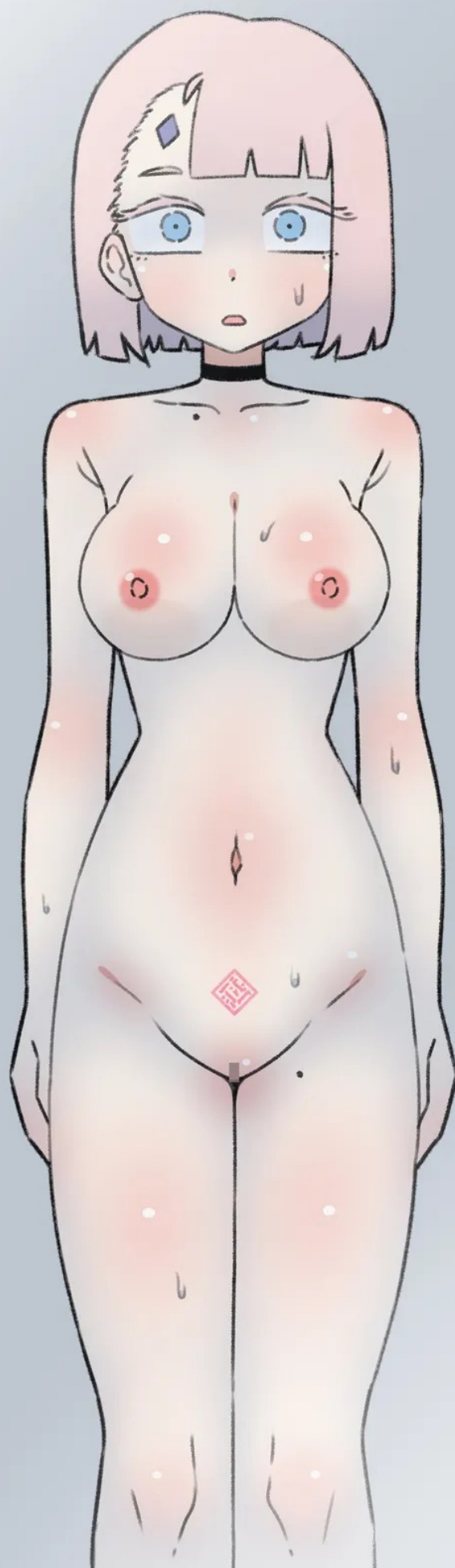
バイタルを
チェックします。

どろろ……

どろろ……
この……？

『鏡』の前に
立ってください。

バイタル計測中…



……？

何か変な……

え…あれ？

うそ……
私の胸……

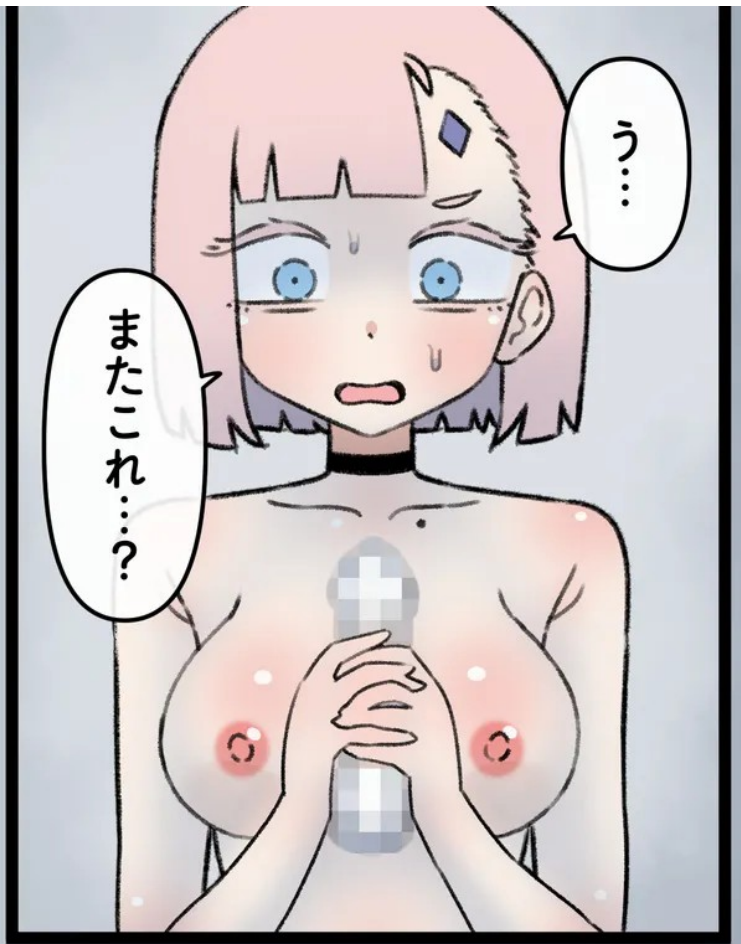
もしかして……
大きく…なってる…？

モリヤン♡

バイタル正常。
問題ありません。

食事を
支給します。

ガコッ



いんないよ……

ダメなのに……

私……

ムワァ……♡

ハ♡

ハ♡

またやっちゃってる……

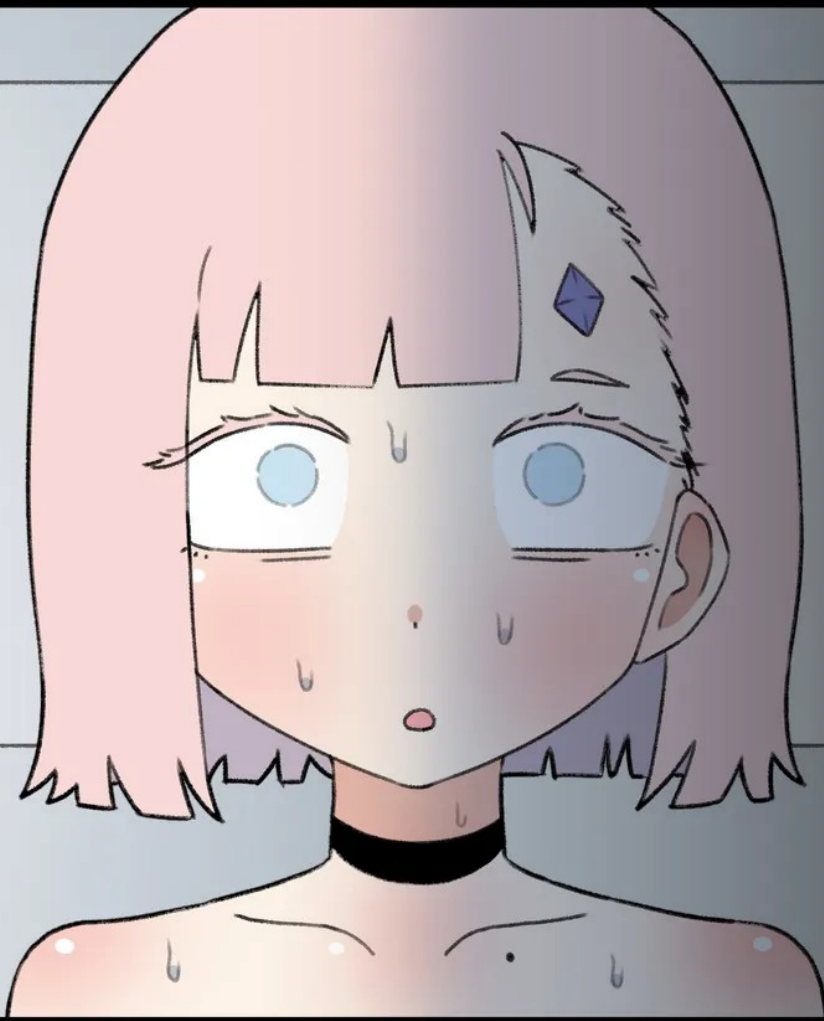
——そして気絶するまで自慰に耽る。

ジョワァ……

ホカ

ホカ

うわー



——こうして、同じ『毎日』が
ひたすら繰り返されていく。

無機質な部屋で目覚め、
気味の悪い食事を貪り、
監視下で排泄を強制され、
異常な自慰行為に没頭して気絶する。

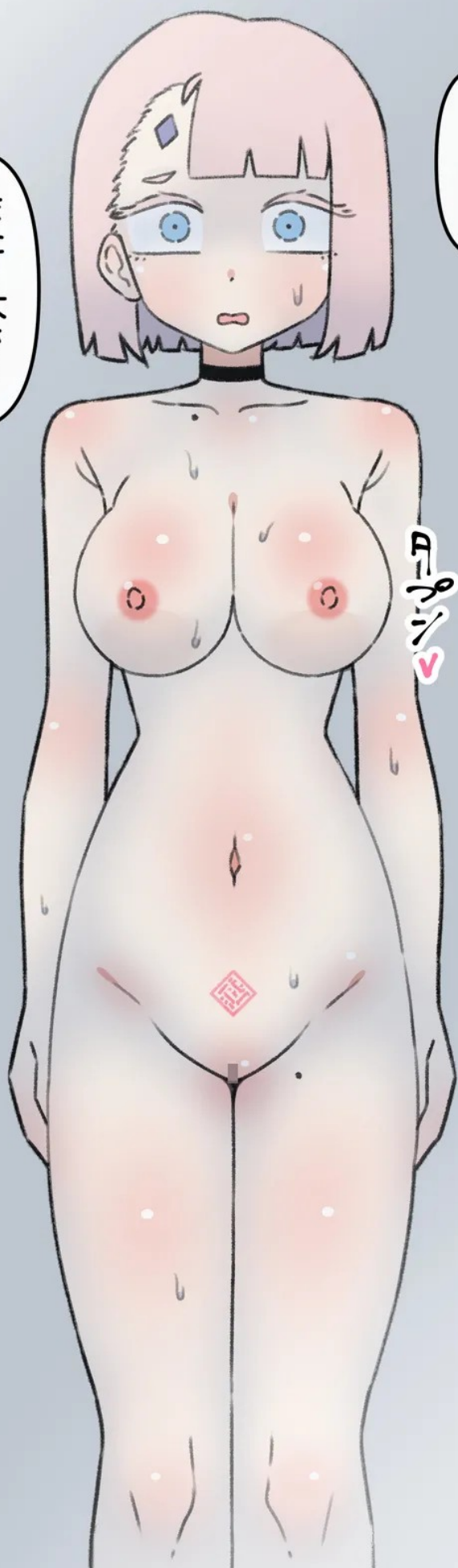
この『毎日』にまるで抗えないまま、
もう何日繰り返してしまったのか。
時間の感覚が喪失していく。



目覚めから気絶までの『1サイクル』。
この『1サイクル』が少女にとっての『1日』だ。
しかし実時間上では、1日のうちに『3サイクル』が
繰り返されていることを本人は知らない。

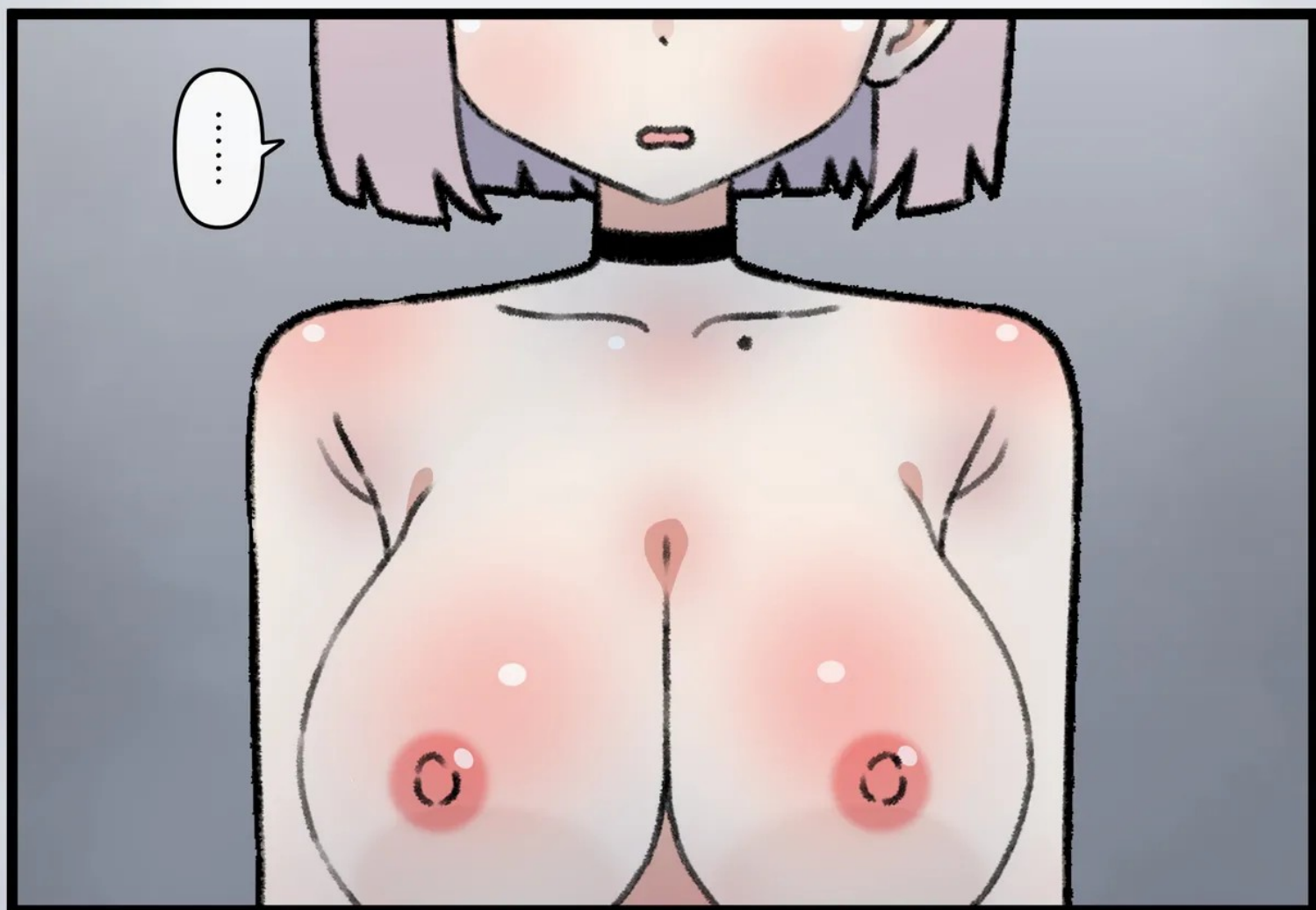
うそ……

また…大きく
なってる…？



これを『10日間』、つまり少女にとっては『1ヶ月間』続けていく。
かつての日常とはあまりにも隔絶した非人間的な生活の中で、
少女の肉体と精神は『慰安用生体』に適したものと、
内側から根本的に作り変えられていく。

— 10日後 —
※少女の主観時間では30日後





生体を並べて、
第2工程の成果をチェックする。

今、少女たちは肉体を『強制操作』されていない。
しかし命じられるままに、大人しく裸体を晒して並んでいる。

どうも皆さん、
お久しぶりですね。

といつても、私は皆さんの
経過をずっと観察させて
いただいてましたが。

皆さん毎日毎日、
とても気持ち良さそうに
オナニーしてましたねえ。



以前はそれぞれの胸中を映し出していた表情は、
今では一様に諦めと自己嫌悪で暗く濁っている。

それにしても皆さん、
おっぱいも随分大きくなって、
態度も大人しくなっちゃって、

順調に『肉人形』に
なってくれていますね。

性欲にただの一度として抗えず、自分の身体が変質していくのを知りながら、
毎日毎日、ひたすら自慰行為に耽ることしかできなかったのだから。
そんな『個室』での日々によって、少女たちの意思は完全にすり潰されていた。



本来の自分の姿。これまで生きてきた日常。

少女たちはそんな『記憶』に、もうかけらも現実感が湧いてこない。

『人間だった自分』が、『今の自分』とはどこまでも遠く隔たっている。

自分の身も心も、もはや取り返しのつかない変質を遂げてしまったことを、少女たちは深い絶望とともににはつきりと理解していた。



今や少女たちは、自分が『人間』として扱われないことに
疑問や違和感を抱かない。抱くことができない。

ひうつ

ビクッ

モニユ♡

どれどれ…

うん、素晴らしい
ポリュウム感ですねえ。



かつて一番気丈な反応を見せていた少女でさえ、
その乳を無遠慮に揉みしだいてみても、
抵抗のそぶりさえ見せない。

『待機ポーズ』を決して崩すことなく、
か細い声を上げて股を濡らすばかりだ。

モニュ♡

うん…うん…

しっとり柔らかくて、
適度に張りもある。
その上、感度も良好。

問題なしです。

モニ♡

トロ…♡

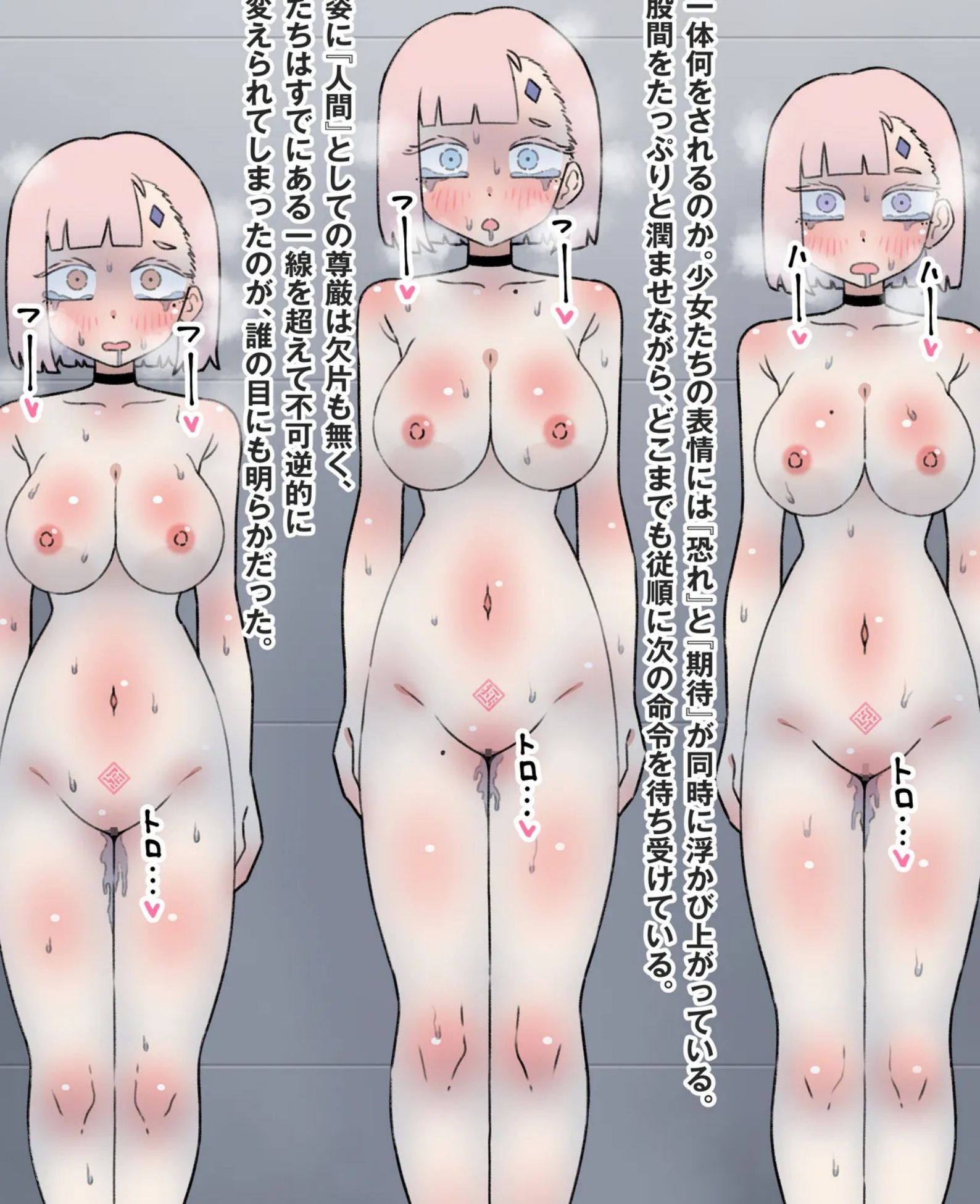
んふ♡

はう♡



次は一体何をされるのか。少女たちの表情には『恐れ』と『期待』が同時に浮かび上がっている。瞳と股間をたっぷりと潤ませながら、どこまでも従順に次の命令を待ち受けている。

その姿に『人間』としての尊厳は欠片も無く、少女たちはすでにある一線を超えて不可逆的に作り変えられてしまったのが、誰の目にも明らかだった。



『第2工程』完了。



『第3工程』



02

ゴウ

ゴウ

第3工程では、脳に直接
情報を書き込んでいく。

カタ

……

カタ

グ
ン

グ…ギイ？

ビ
キ

ビ
キ

ブ
ッ

ビ
ク
ッ

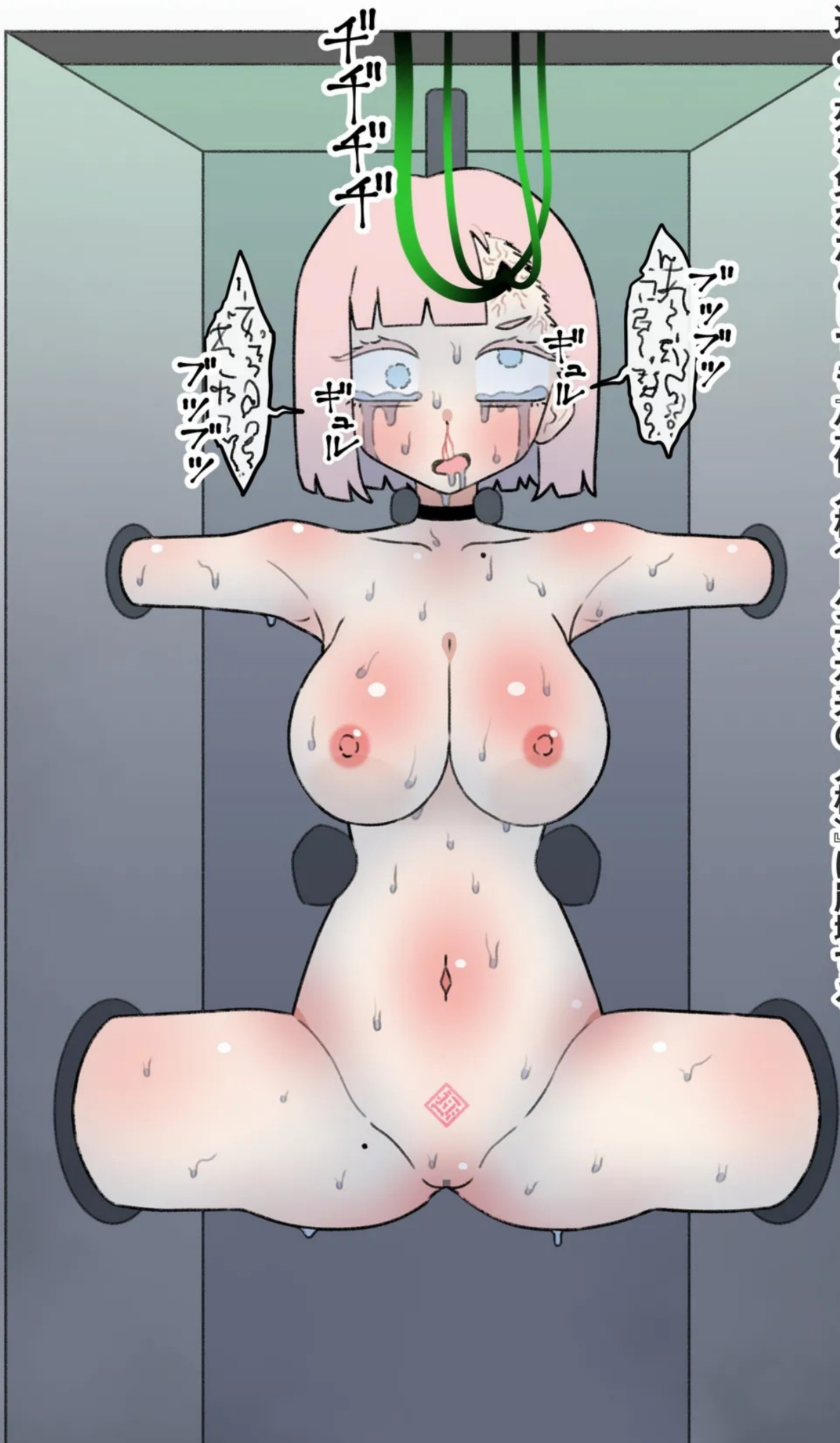
『書き込み』を
開始します。

チンポに奉仕するための淫らで下劣な知識や動作セット、
慰安用生体として稼働していくための『製品人格』プログラムなど、
身震いするような不快な情報が脳に無理やり流し込まれていく。

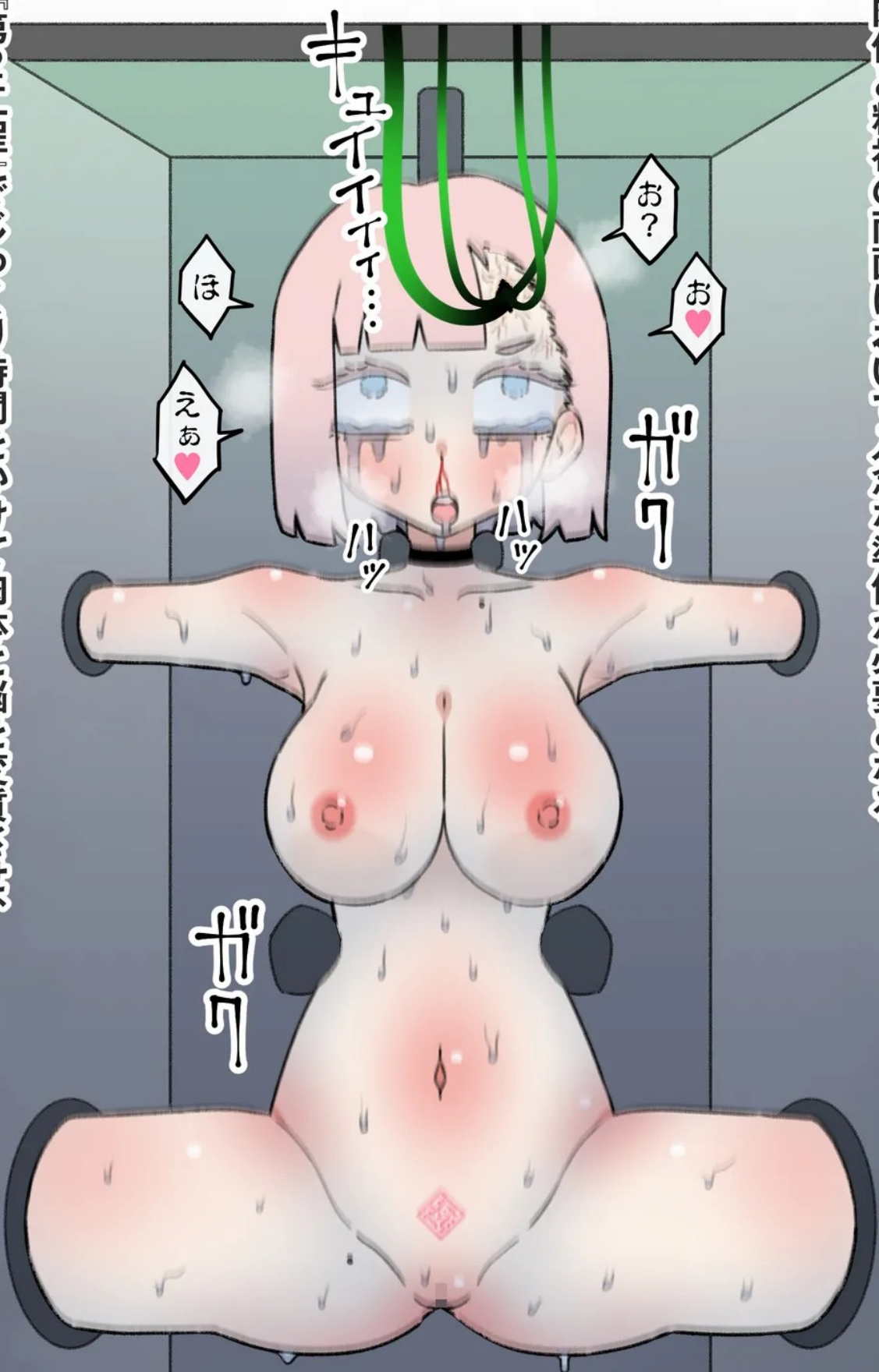


肉体的にも精神的にも、この工程が負荷のピークであり、

『十分な下処理(第2工程)を経ずに実行した場合、6割以上が死亡し、
運よく死を免れたとしても『生体人格(＝少女本来の人格)』は崩壊する。



『脳に大量の（しかも下劣な）情報を直接書き込まれる』という、完全に非人間的な扱いを、人格が壊れることなく受け入れさせるためには、肉体と精神の両面において入念な準備が必要となる。



『第2工程』でじっくり時間をかけて肉体と脳を変質させ、精神的にも自分が『人間』であることを無意識レベルまで諦めさせることで、少女は心身両面において、『製品』として無慈悲に扱われる準備が整う。

生きながらにして『人』から『物』に作り変えられてしまった少女は、
脳に情報を直接注ぎ込まれることさえ、諦めとともに受け入れる。



後は書き込みに伴う、恐るべき苦痛と不快感による発狂を防ぐため、
それらと同レベルの性的快楽を注入してマスキングする。

『書き込み』が完了するまで、およそ16時間を要する。
頭に雪崩れ込んでくる下劣な情報の濁流と、息つく暇もない絶頂の連続に、
少女は全身を固定されたまま、ただひたすらに耐え続けるしかない。



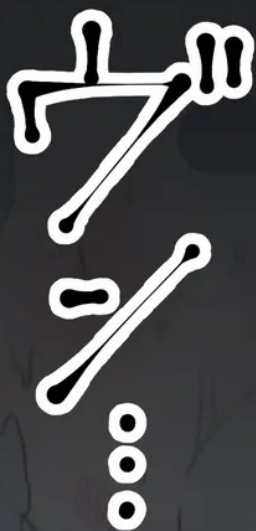
そして、永遠にも感じる地獄の16時間を必死に耐え抜いた先に
少女を待つものとは、単に『一個の製品』として、
壊れるまで尊厳なく使い潰される未来だけなのである。

慰安用生体
034865-MSK

生体脳書込中
進捗：2.16%

〈ステータス〉
強制連続絶頂

〈生体人格崩壊閾値〉
46.58%



16時間後





『書き込み』が
完了しました。

カク

...

カク

...

...

ビク

長時間、大変
お疲れさまでした。

ブル

ボク

ボク



では続いて

無間地獄のような16時間を乗り越えて尚、
少女にはまだ休息が訪れない。

『動作チェック』
を開始します。



『製品人格』を
テストモードで
起動してください。

ヴェ？

キューン

キューン

しるれ？

あか力か力
あえああア

ビクッ

ビクッ

脳に書き込まれた『製品人格』プログラムが起動し、
少女の肉体の主導権を奪う。



初回の起動時は、書き込んだ情報が脳にまだ馴染んでおらず、加えて瀕死とも言える疲労状態にある肉体を強制的に動かしているため、発声や動作がぎこちない。

ガ…あなたの日々に
せ性ノの悦び…びを！

ニョッ♡

『慰安用生体：034865-MSK』
ギき…起動しシマ…した。



ハ…イ！

『絶頂』…ヲ…
実行します！

『慰安用生体…
034865-MSK』

『絶頂』して
ください。



極限の疲労状態でありながら、一言命令されるだけで
即座に機械的に笑顔のまま絶頂してみせる『肉人形』。
かつて人間だった少女の、これが今の姿だった。



ぜえ…『絶頂』…
完了…デ…ず。

ムムム…♡

もう一度『絶頂』
してください。

ボウ
ボウ

ムム♡

ムム♡

ムム…♡

ムム…♡

ムム

ムム



あ…ア…これ以上の『絶頂』…は、
シ…死亡…あるいは…『生体人格』が
破損するリスクが…ありマ…す。

問題ありません。

直ちに『絶頂』
してください。

ボウ
ボウ

リスクの高い状態でなぜ強いて絶頂を実行させるのか。
それは『どんな状態でも命令は必ず実行する』という回路を、
性的快楽と共に脳神経に万全に灼き付けるためだ。



電子機器とは違い、どんなに加工しても人間の脳に情報を
書き込むのは簡単ではない。プログラムを確実に定着させるためには、
リスクがあっても強い刺激を与えるしかないのである。

16時間の書き込み直後に実行される2度の絶頂。
ここで約1割の生体が死亡もしくは人格の崩壊を迎える。





『生体人格』の
復帰を確認。

アガ

カ...へえ?

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ビュッ

ボ

ボ

スリープモード
に移行。

6時間の休息を与え、
その間に調整および
洗浄を行います。

んじ…？

ウン…

スシ…

……

ボク

ボク

生体それぞれの脳に合わせて細かい調整を行なった上で、
人間が睡眠時に脳内の情報整理をするのと同様に、
しばらく時間を置いてプログラムを馴染ませる。





慰安用生体
034865-MSK

生体脳調整中
進捗：5.91%

〈ステータス〉
スリープ

〈生体人格崩壊閾値〉
91.62%

ズ
ン
…





6時間後

ニ
キ
ー
...

『生体人格』を
起動します。

ん……



壮絶な書き込み工程の記憶は消去されている。



え……あ……

お……おはよう……
ございます……？

あなたの『名前』を
教えてください。



私の『名前』…？

い…犬井…んん？

……あ！

『034865-MSK』…？

『正答』を確認。

次に、あなたの
『用途』は何ですか？



ええと……？
私の『用途』は…

『身も心も全てチンポに捧げて、
男性の皆さまに性の悦びを
味わってもらうこと』ですけど……

『正答』を確認。

『書き込み工程』の
チェックを終了します。

あの……え？ なんでそんな
『わかりきってること』を
わざわざ聞くんですか……？

『名前』を問われて『製品番号』を答え、
『用途』を問われて当然のように『性奉仕』と答える。
これは書き込んだ情報が、少女の脳神経回路に
きちんと溶け合ったことを示している。

しかしこれは、少女の本来の『記憶』『常識』『感受性』などを書き換えたわけではない。それを書き換えてしまうなら、わざわざ苦勞して『生体人格』を保持したりせず、最初から『製品人格』ですべてを上書きすればいいだけだ。

あ…あれ…？

私…何か変なこと
言ってます…？

自分の名前、自分の過去、好きなこと、嫌いなこと……

そういった少女の人格を構成するものは一つも消えていない。

それでいて、名前を聞かれると『何故か』製品番号を答えてしまう。

つまり、少女の脳神経回路の情報処理の『つながり』を組み換え、固定したのである。



少女にとって、これからは一事が万事このようになる。
何をされても『何故か』受け入れてしまうし、
命令されれば『何故か』従わずにはいられない。
脳がそのように情報を処理してしまう。



今もまさに、全裸で四肢を拘束されている状況に
疑問を抱きつつも、抵抗するという発想さえ起こらない。
『人形』としての絶対的な服従と、『人間』としての生きた反応。
これらの両立こそが『慰安用生体』のコンセプトなのである。

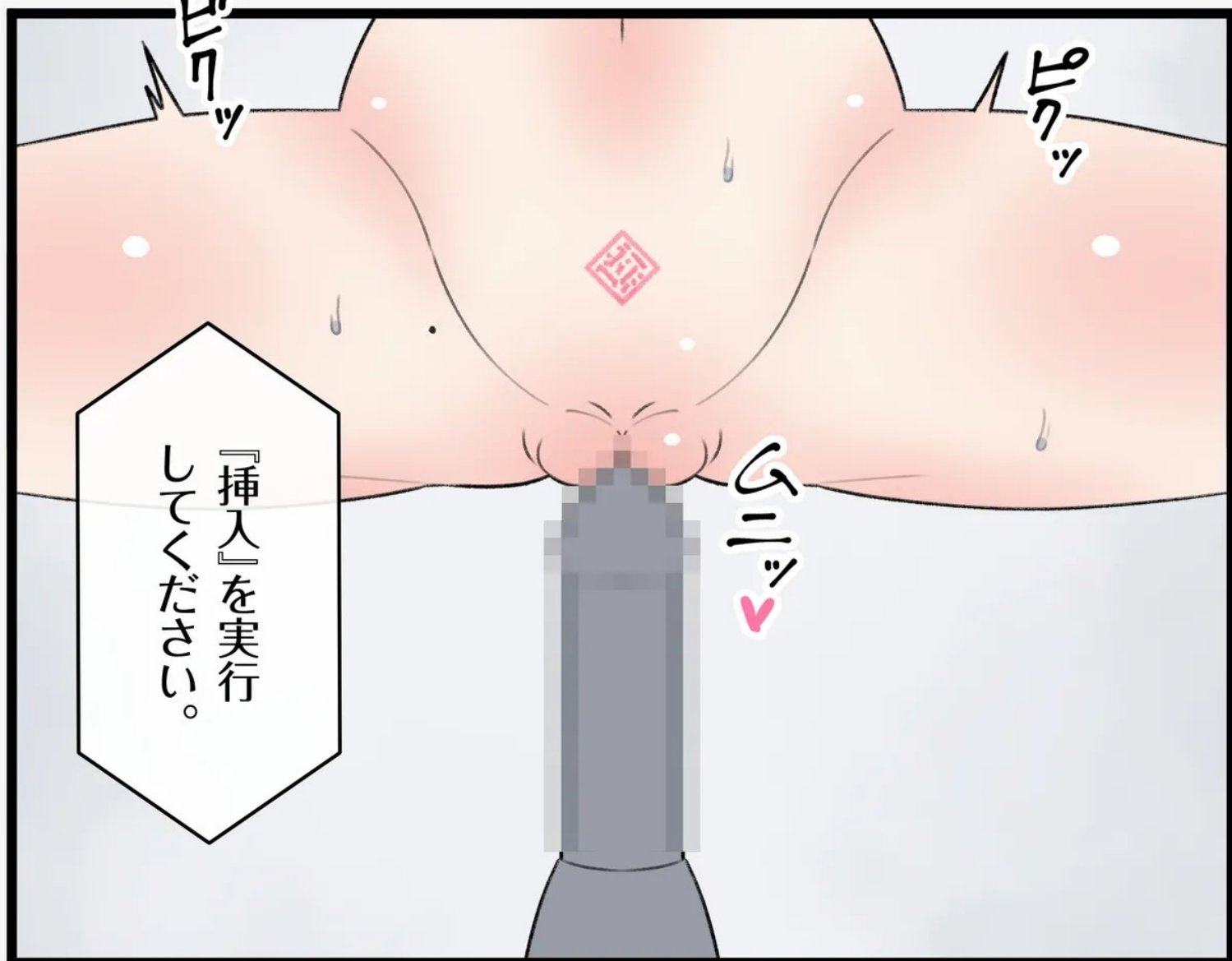
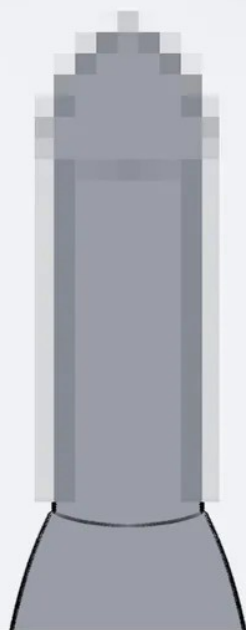
『第3工程』完了。

あれ……？

あ、あの…
どうして手足を…？



『第4工程』



『挿入』を実行
してください。

ぐにゅ♡

ゴクッ

ゴクッ



あっ...

や...

ジュン♡

ジュン♡

ジュン...♡

過去に性交経験が無い生体は、
初めての挿入に強いためらいを示す。

んっ…！

くっ…！

途中で
止まらないで
ください。

根本まで完全に
挿入してください。

グッ…

ムレ

ムレ



しかし結局は、自ら腰を落として、
膣の奥深くまでチンポをしっかりと招き入れてしまう。
少女は『命令に従わずにはいられない』からだ。

ん…ギ！

ガクン

ニャー♡

んいんいん♡

そして少女の膣は、ペニスをしごくためだけの
肉穴としてすでに最適化されているため、
初めての挿入にも関わらず
破れる処女膜も無くスムーズに棒を咥え込む。



少女は従順に命令に従いながらも、
今させられていることを心では恐れ、嫌悪している。
なんで、どうして、私がこんなことをしなくてはいけないのか。

お……ほ♡

ほおっ……♡

それでも『何故か』従わずにはいられない。
そして、命令に従うたび噴き上がってくる快楽と幸福感が、
疑問や戸惑いが入り込む余地を塗り潰していく。

適切な挿入を
確認しました。

ギチ……♡

ミチ……♡

ソッ
ッ
♡

ソッ
ッ
♡

『性奉仕
プロトコルA』を
実行してください。

え…？

キューン

…あ

ハイ♡

『性奉仕プロトコルA』。そんな言葉は知らない。
知らないはずなのに、『何故か』知っている。
やるべきことを一瞬で理解できてしまう。

膣内を適切に操作し、
ペニスを射精に
導いてください。



自分の性器を『操作』する方法が当たり前にわかってしまう。
自分の膣内の状態が異様なほど鮮明にイメージできてしまう。
啜え込むペニスの形も反応も、手に取るようにわかってしまう。

んっ♡

膣圧および
膣内温度上昇。

んくっ♡

ムワァ...♡

愛液を分泌し、
膣壁の潤滑を
5ポイント
上昇してください。

自分の異常な感覚能力に疑問を抱く暇もなく、
命令と快楽が次々と休みなく脳髄を突き上げてくる。

キュン♡
キュン♡

膣パラメータが
最適状態に
なりました。

ほおつ



ピストン運動を
開始してください。

ブルン



ブルン



ニョ
ポ
ニッ





ピストン速度を
3ポイント
上昇してください。

膣圧が強過ぎます。
2ポイント低下
させてください。

アひい

んひっ

ハッ

ハッ

ブルン

ブルン

ニュッポ

ニュッポ

ニャッポ
♡

へアッ
♡

んおオ
♡

射精が近づいています。
ペニスを最奥まで
咥え込んでください。

精液は必ず
子宮で受け止めて
ください。

ブルン
♡

ブルン
♡

ニャッポ
♡

ニャッポ
♡





『性奉仕
プロトコルA』が
完了しました。

これは、脳に書き込んだ
『性奉仕プロトコル』の動作テストであり、
同時にこれ自体が、脳の加工工程の続きでもある。

『034865-MSK』
お疲れさまでした。



機械への書き込みと違い、
人間の脳には、ただ書き込むだけでは
プログラムが安定して定着しない。

プロトコルAは
終了しています。

ヌポニ♡

ビロオ♡

んっ♡…ふっ♡

少女自身に、一つひとつ身をもって
実践させることで、初めて永続的なものとして
脳と身体に刻み付けられるのだ。

速やかに膣から
ペニスを引き抜き、
洗浄を受けてください。



性奉仕プロトコルB

ア……



アッ……



キュン♡



口淫による性奉仕プロトコル。
すでに『第2工程』の『食事』で強力に条件付けられているため、
命令するまでもなく勝手に目の前の男根に貪りつく。
脳加工の影響も加わり、もはや男根に祈るかのような熱心さである。
あとは力加減や舌使いなどを補正するのみで事足りる。





肥大化した乳房を活用した性奉仕プロトコル。
少女には『パイズリ』をした経験など無いのに、肥大化した自分の乳房で
棒をどのようにシゴけばいいのか、『何故か』完璧にわかってしまう。

しかし今の少女にとっては、このプロトコルでは
目の前にある男根にしゃぶりついては
ならないことの方が何よりも苦しいようだ。





性奉仕プロトコルD

うう……





胃腸の残留物は完全に出し切っており、
今後は人間の食事をするには無いため、
彼女の肛門が『排泄』という本来の役割で
使用されることはもう二度とない。



本来は生き物として
極めて重要な器官であるはずのそれは、
男根を啜えて慰める以外に何の用途もない、
単なる『生温かい穴』に成り果ててしまった。

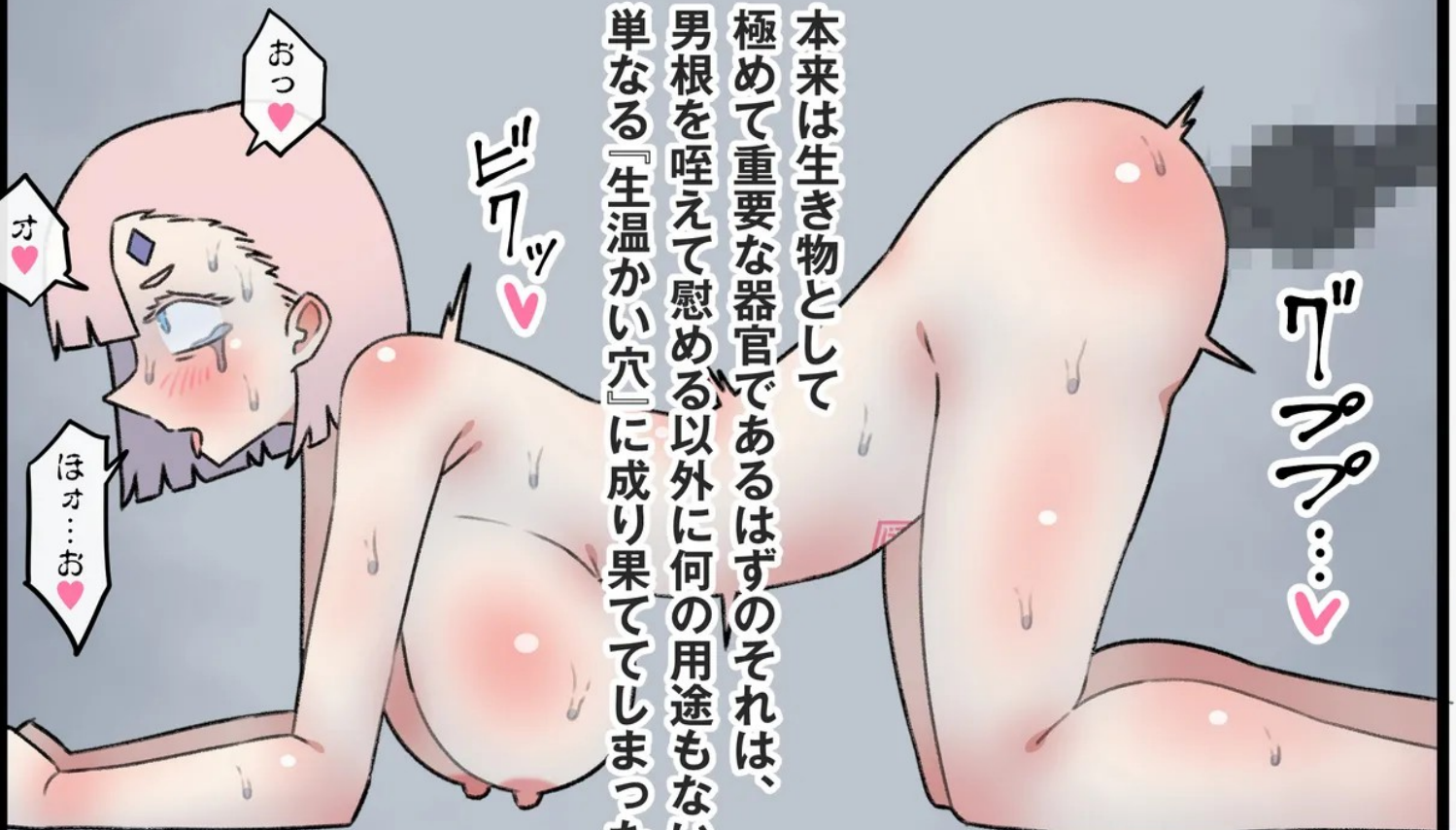
グー...♡

ビフッ♡

おっ♡

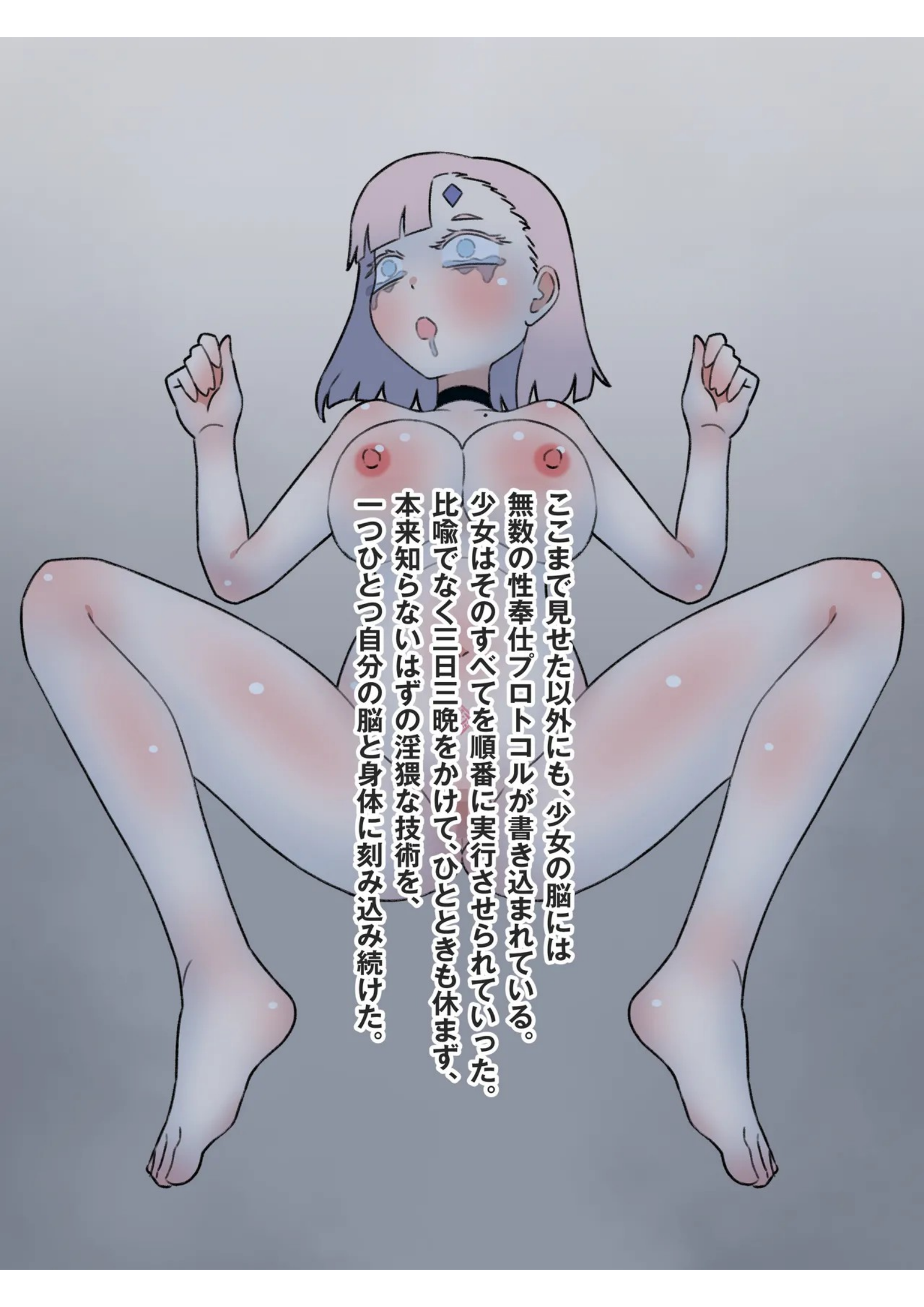
オ♡

ほオ...お♡

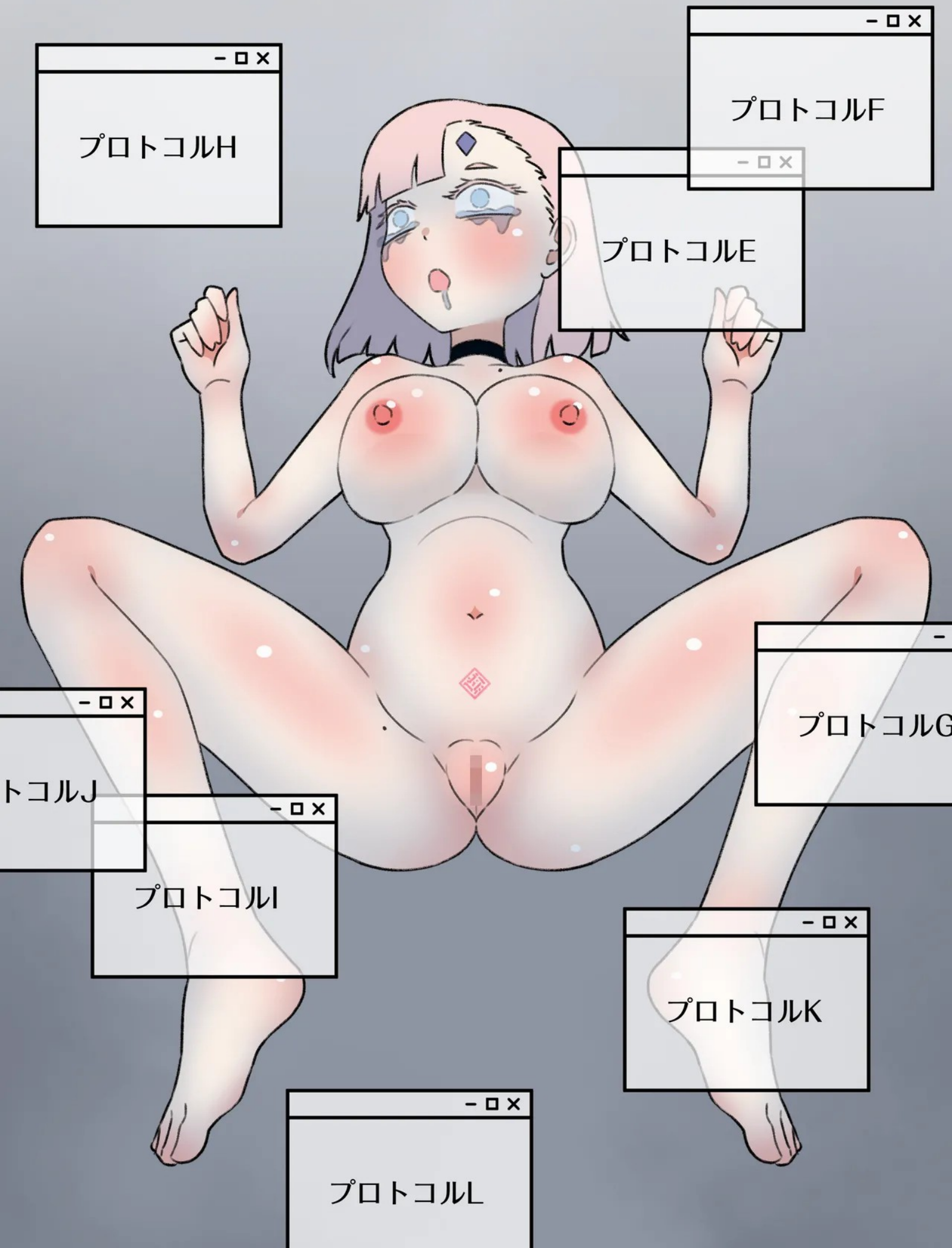


これからは注ぎ込まれた精液を排出する時のみ、
少女はかつての排泄行為の感覚を
思い出して身震いする。





ここまで見せた以外にも、少女の脳には
無数の性奉仕プロトコルが書き込まれている。
少女はそのすべてを順番に実行させられていった。
比喻でなく三日三晩をかけて、ひとときも休まず、
本来知らないはずの淫猥な技術を、
一つひとつ自分の脳と身体に刻み込み続けた。



- 閉じる

プロトコルH

- 閉じる

プロトコルF

- 閉じる

プロトコルE

- 閉じる

プロトコルJ

- 閉じる

プロトコルI

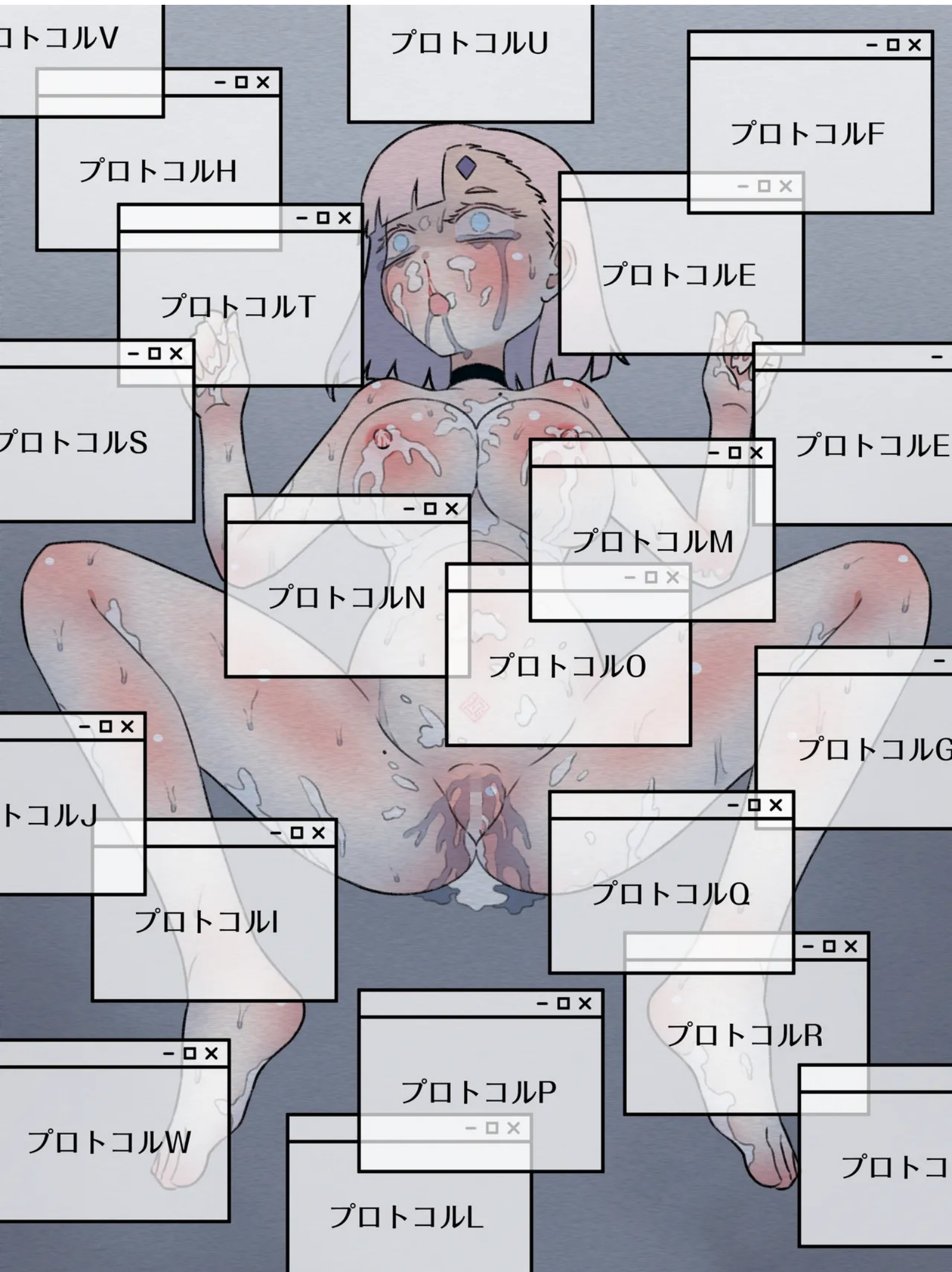
プロトコルG

- 閉じる

プロトコルK

- 閉じる

プロトコルL



プロトコルV

プロトコルU

プロトコルF

プロトコルH

プロトコルE

プロトコルT

プロトコルS

プロトコルE

プロトコルM

プロトコルN

プロトコルO

プロトコルG

プロトコルJ

プロトコルI

プロトコルQ

プロトコルR

プロトコルW

プロトコルP

プロトコル

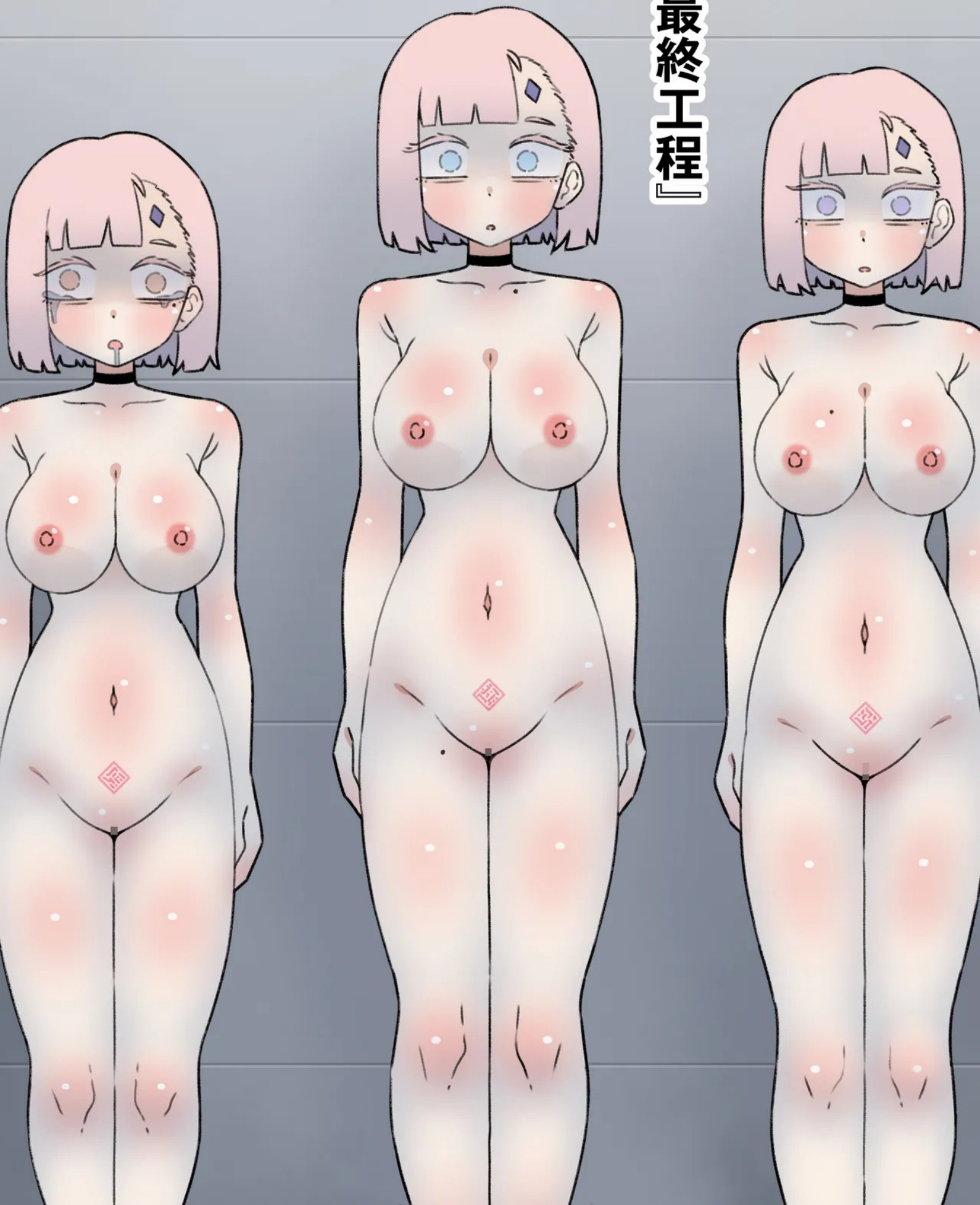
プロトコルL

『第4工程』完了。





『最終工程』



全裸で並び立つ少女たちの表情には、
もはや恥じらいも絶望も何も無い。

人間味の欠けた空虚な静けさで、
命令されるのをただ待ち受けている。

ここまでの長い加工工程、
大変お疲れさまでした。

いやあ皆さん、
すっかり『肉人形』に
なっちゃいましたねえ。





もう親御さんが見ても、
『これ』が『元自分の娘』だなんて
絶対に思わないでしょうねえ。

……さ、後は『仕上げ』だけ
したら『完成』ですから。
もう一踏ん張りですよー。



最高強度で『絶頂』
してください。

じゃ、その前に
とりあえず、





……ん？

ゴブゴブ♡

かひ…♡

ムフ♡



ひ…♡

えあ…♡

ムフ♡

ひどいオモチャ
ですよねえ。

おっ♡



あはは。

ムフ♡



あなたも早く
絶頂してください。

どうしたんですか？
『034864-KNM』？





『抵抗値』がかなり
高かったもんなあ…



ダメっぽい
なあ……コレ。

あー……





……はい、わかりました。
『わけあり品』として
『技術研究部』に
回しておきますね。



……ええ、そうです。
生体人格が……はい……
壊れてますねえ……



プルプル

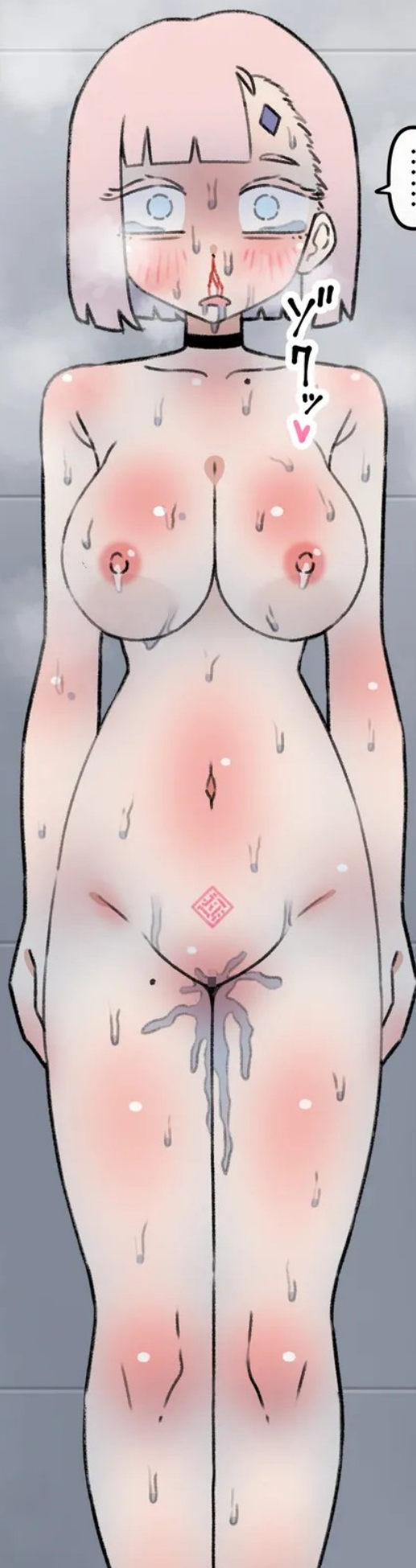
……あ、品質管理部です。
『034864-KNM』ですが……
……ええ……はい。
やっぱりダメですね。

…さて

『034865-MSK』
『034866-AYK』

さあ、
あなたたちは
こちらへ。

『肉人形』として『完成』
しちゃいましょうね。





これから『最後の書き込み』を実行する。
この書き込みによって、少女はついに
『肉人形』として『完成』してしまう。



それは少女自身もおそらくわかってる。
それでも少女は、拘束の必要さえなく、
ただ命令されるままに大人しく座っている。

『最後の書き込み』の結果、自分がどうなってしまうのか。
今回は、少女にもそれをしっかりと説明する。
この工程は、少女自身の理解と自覚により、
書き込みの強度がより確かなものになるからだ。

……

『034865-MSK』

今からあなたに施される
『仕上げ』について説明するので、
ちゃんと聞いていてくださいね。



『書き込み工程』の記憶を
消去してあるので
あなたは忘れていますが、

……？

実はあなたの脳内には、
『あなた自身の人格』とは別に、
『製品人格』というものが
インストールされています。



『製品人格』というのはですね、
『あなた自身』に代わって、
あなたの身体を『慰安用生体』として
適切に動作させてくれる
プログラム人格のことですね。

……???

今から実行するのは、
その『製品人格』を、あなたという存在の
『主人格』として『固定』する書き込みです。



えーとつまり……これから一生、
あなたの身体を動かすのは、
『あなた自身』ではなく『製品人格』
の方になる、ということですね。

……!?

例えるなら……というかまあ
実際にそうなのですが、

『製品人格』があなたの身体の
『オペレーションシステム』となり、

『あなた自身』は、性奉仕の際の挙動に
『人間的な反応』を『補足』するための、
いわば『アセットデータ』として、必要な
時だけ『使用』される感じですかね。

ゾクッ



以前は元の人格は消去して
製品人格に『上書き』して
いたんですけどねえ…。

反応が味気ないとか、
嘘くさくて萎えるとか、
そういうフィードバックが
非常に多かったんですよ。

イヤ…

私…

でも元の人格を色々いじっても
どうしても個性が消しきれなくて。
それだと運用コストがちよっと
高くなっちゃうんですよね。

ま、そんな経緯で
こういうやり方に
落ち着いたわけです。



じゃ、始めますよー。

ウン...

アッ

カッ

ビクッ

すぐに済むので
楽にしてくださいねー。

ビクッ







はい、書き込み完了です。

『人生』お疲れ様でした。

ムファ♡

シューウウウ...

ゴクッ

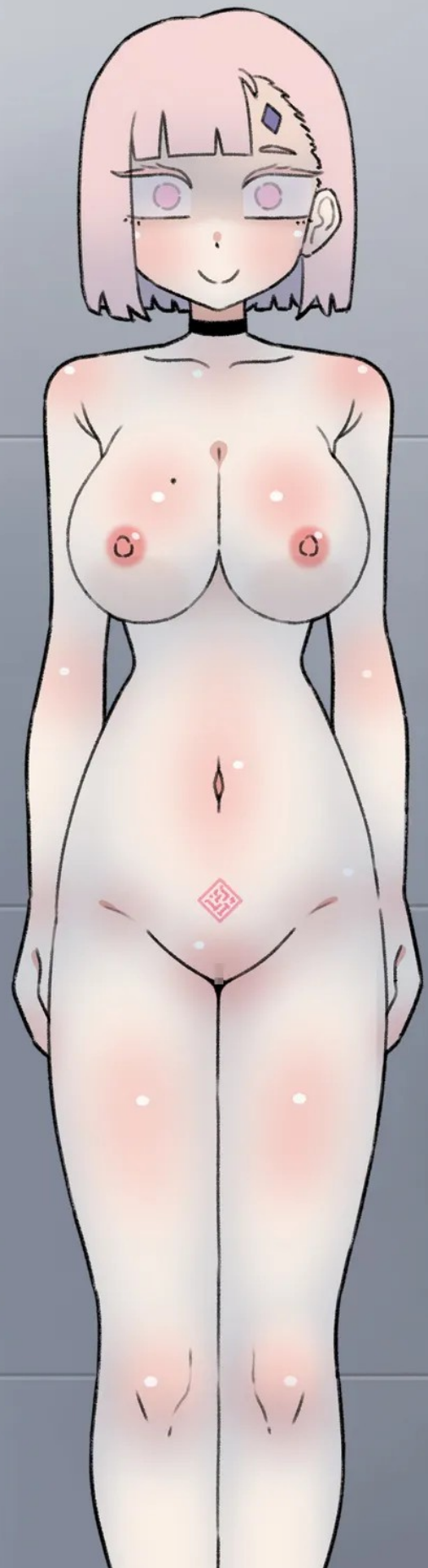
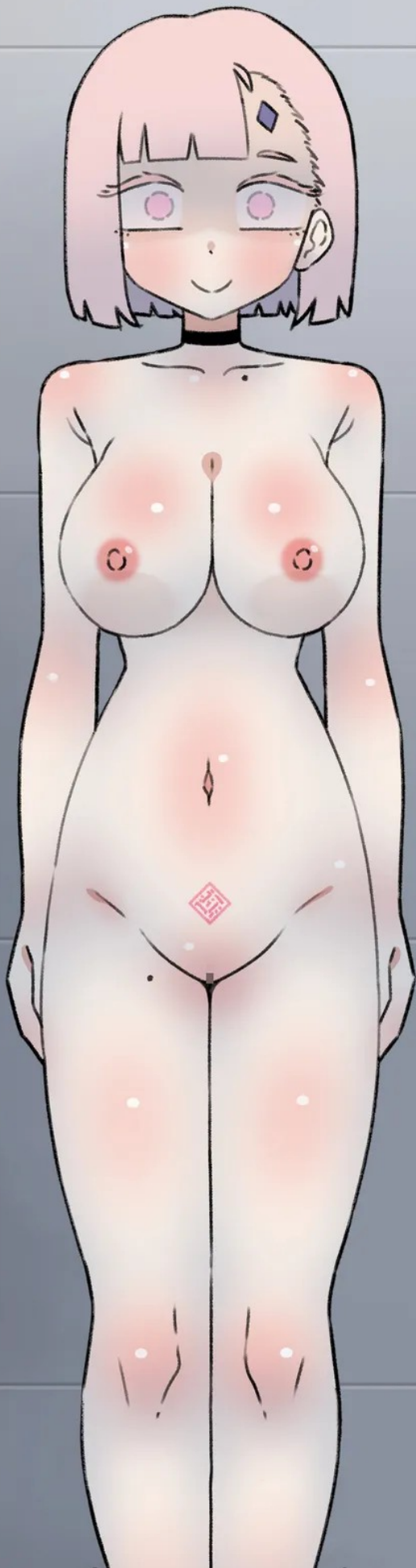
ゴクッ



『犬井ミサキ』という一人の少女は、
淫らな目的のために身体も精神も徹底的に作り変えられた挙句、
せめて『自分自身』が肉人形として生きることすらも許されなかった。

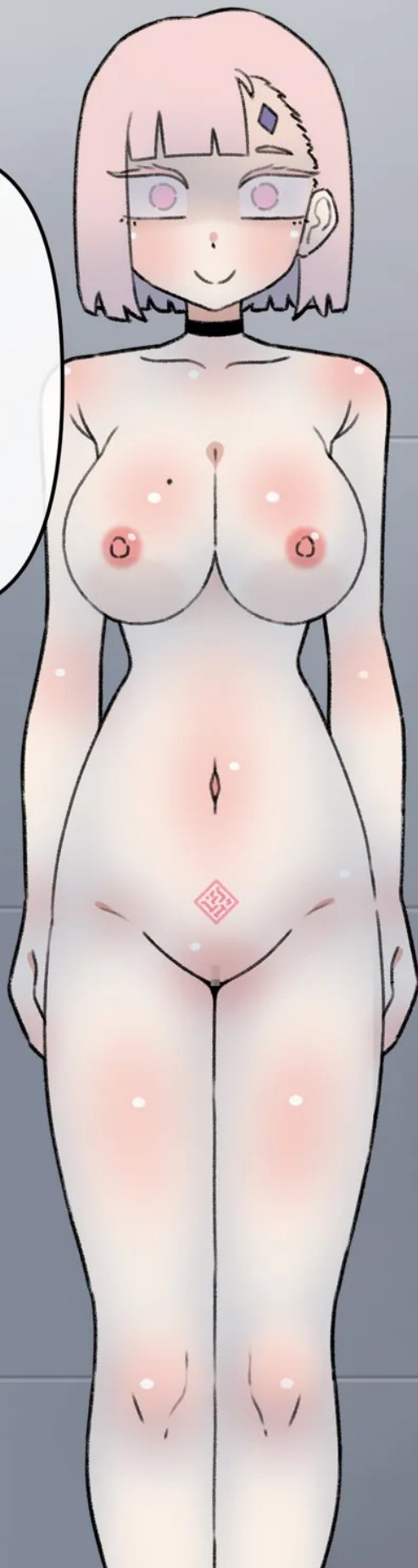


少女の人格、すなわち『魂』は、インストールされた性奉仕用の
アセットデータと同列の存在に貶められた上で、他でもない自分自身の
肉体の中に閉じ込められてしまった。そして、いつしか肉体の機能が停止する
その瞬間まで、ただただ一方的に『使用』され続けていくのである。

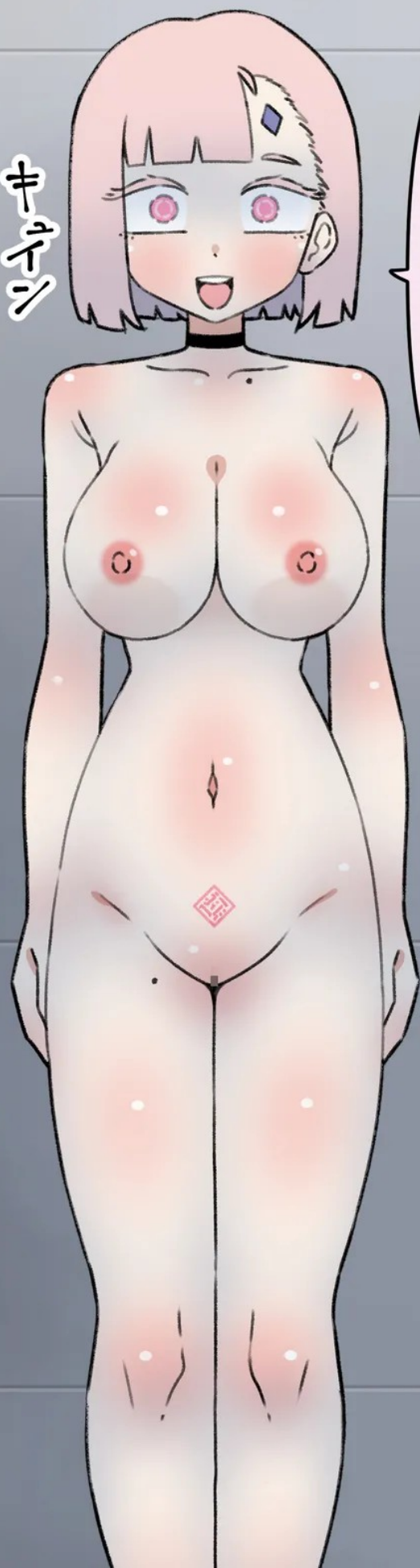




『034865-MSK』
『034866-AYK』
起動しろ。

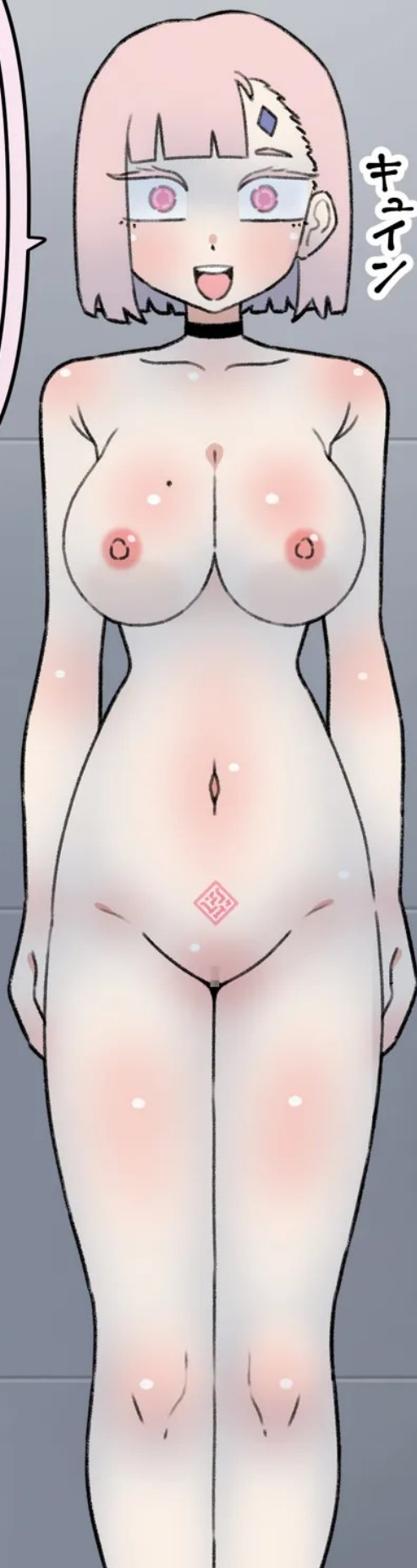


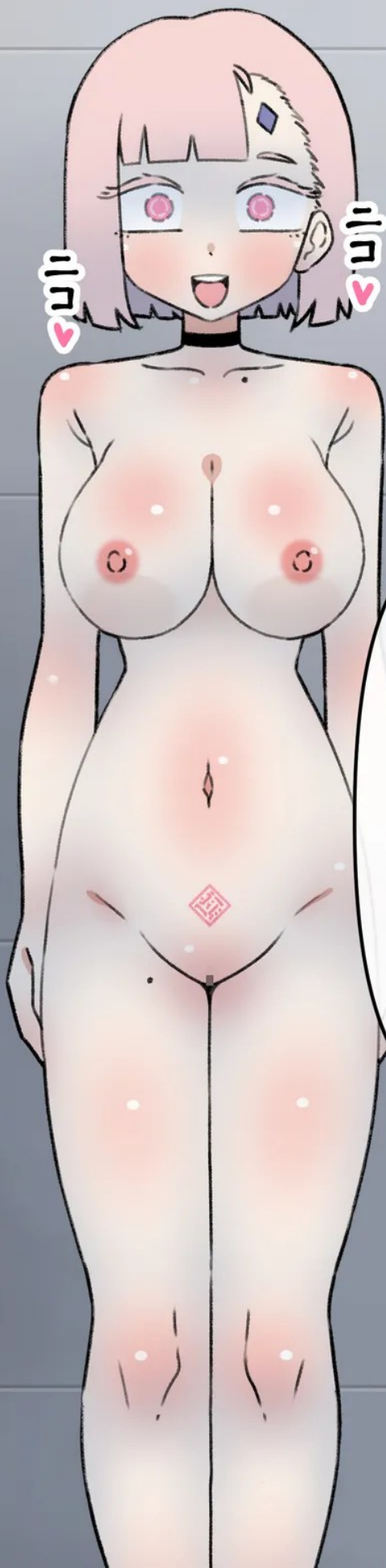
キユイン



あなたの日々に
性の悦びを！(起動音声)

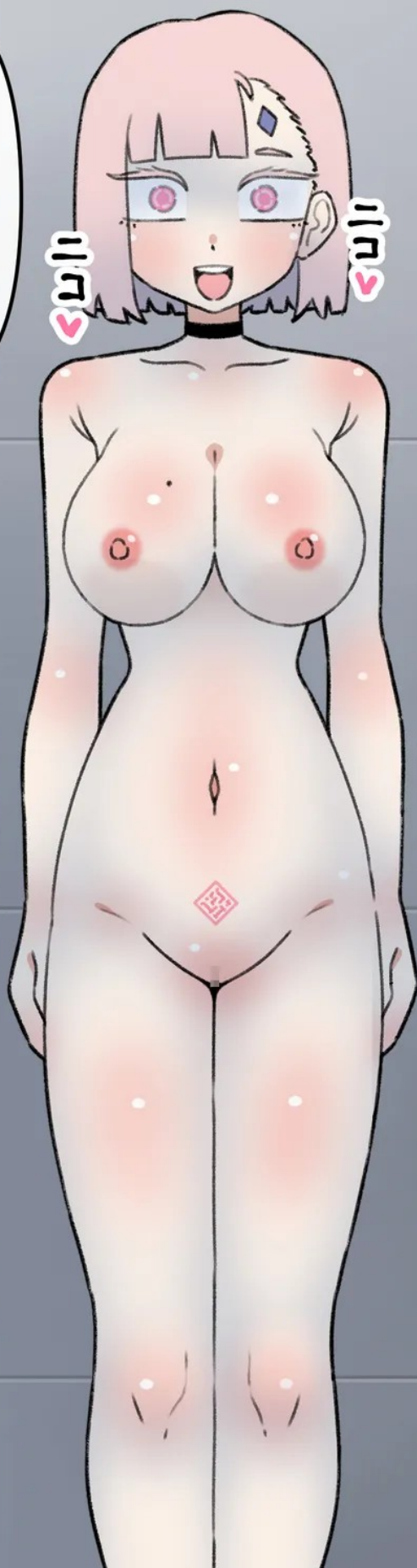
キユイン





『起動』は
問題なし...と。

あとは『データベース』との
紐付けも見とくか。



▶AR起動

ヘアスタイル
投影開始

ヘアスタイル
投影開始

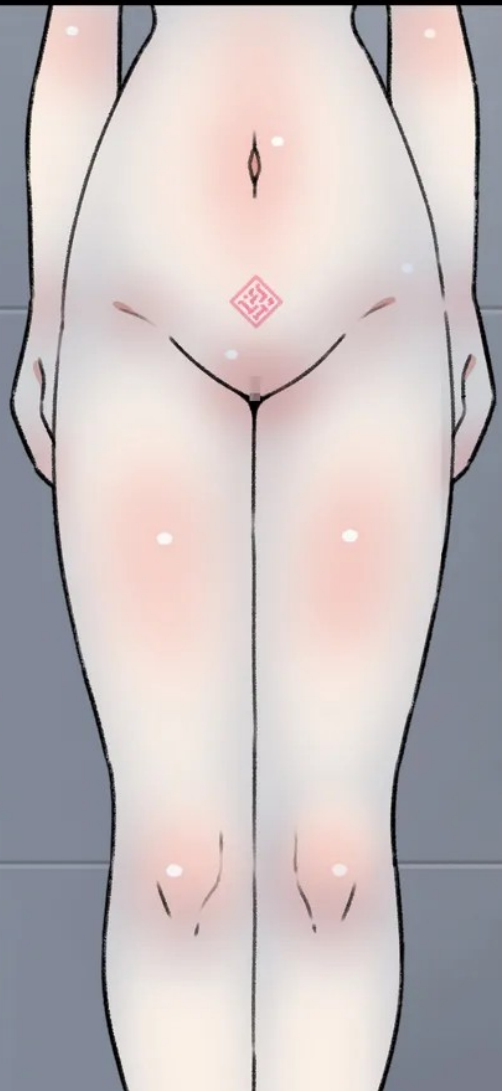
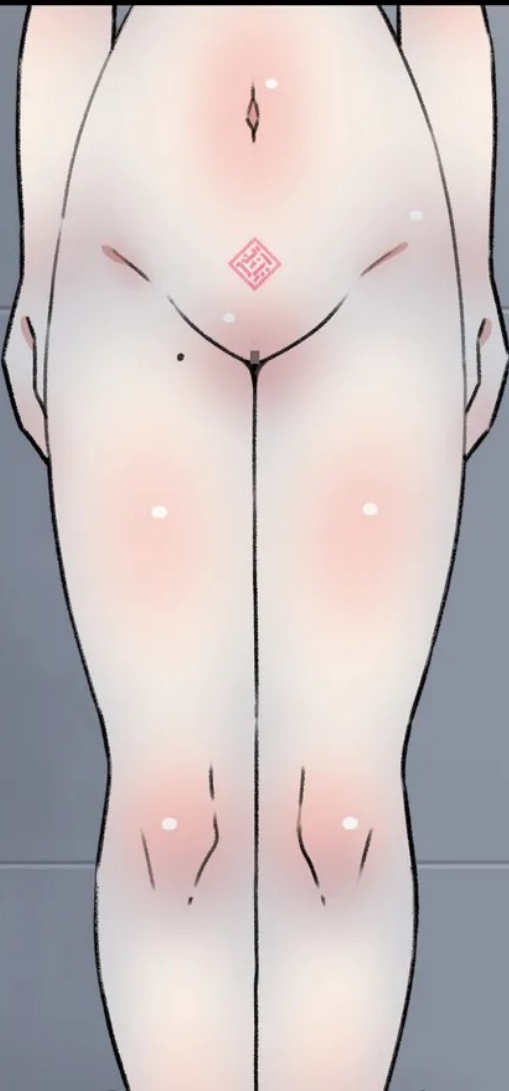
服装
投影開始

服装
投影開始

ウー
ー
ー

うん、こっちも
大丈夫だな。

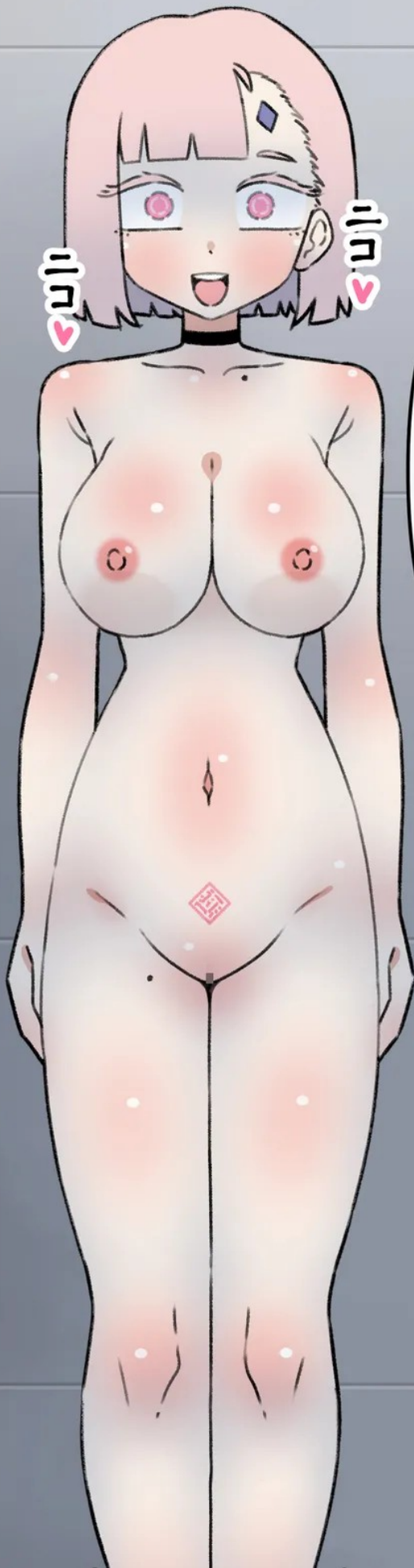
慰安局の『データベース』には、慰安用生体それぞれの
加工前の容姿、性格、経歴、思い出の写真や映像、SNSアカウントの履歴など、
徴発の際に収集されたあらゆるデータが記録されている。



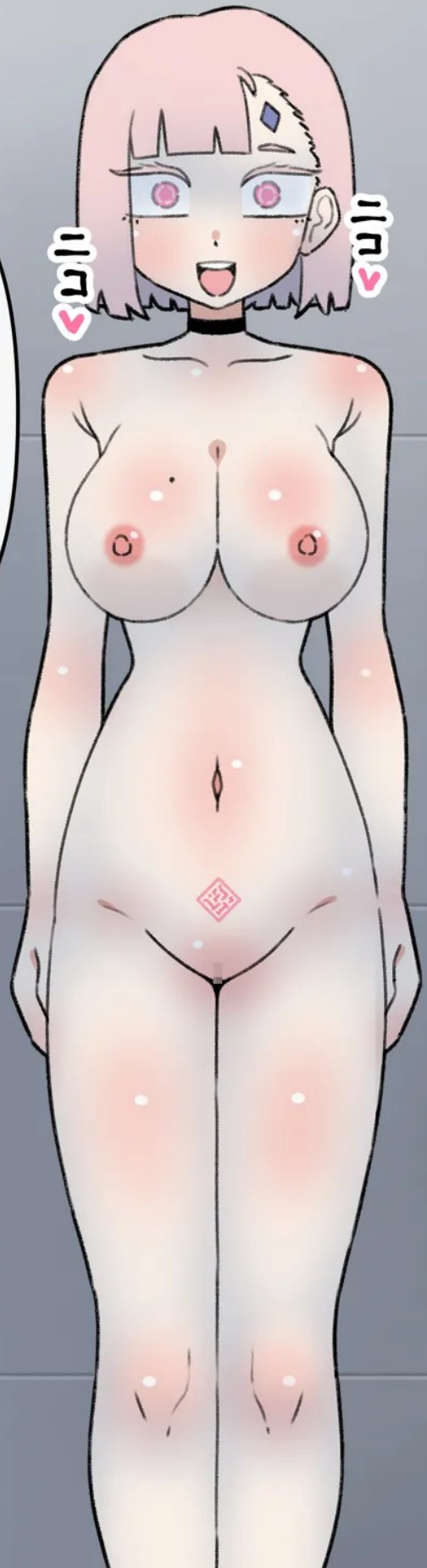


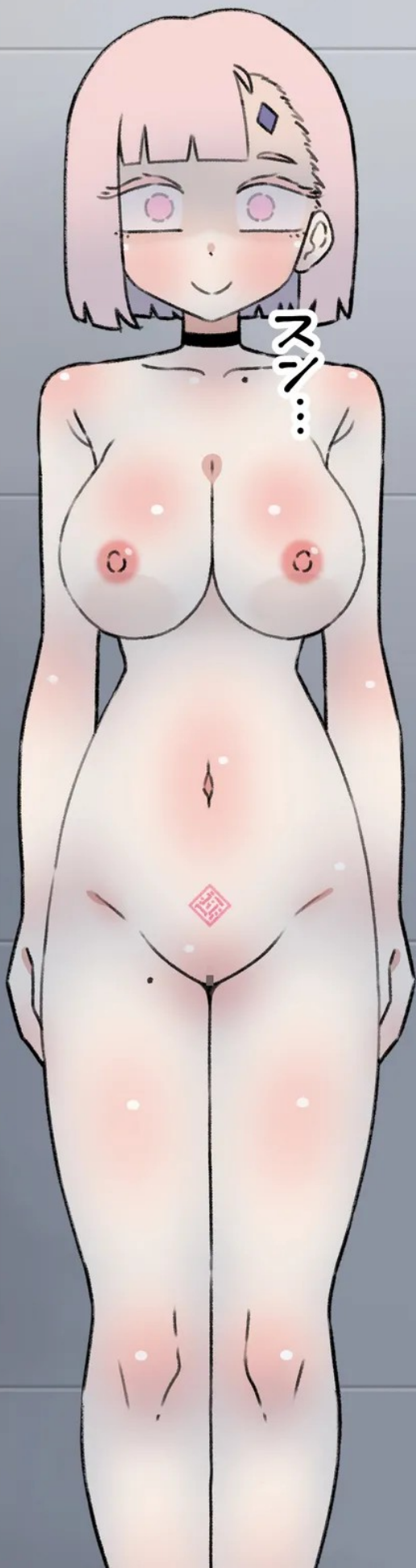
ユーザーは慰安用生体のデータを全て自由に閲覧することができ、他、プレイの際に、△端末で生体の加工前の容姿を投影して愉しむこともできる。ただし、バストサイズやスキンカラーなど一部仕様は投影できない。『人間』としての容姿を完全再現してしまうと、利用者が絆されたり、逆に過度に盛り上がってしまうなど、さまざまなリスク要因になるためだ。



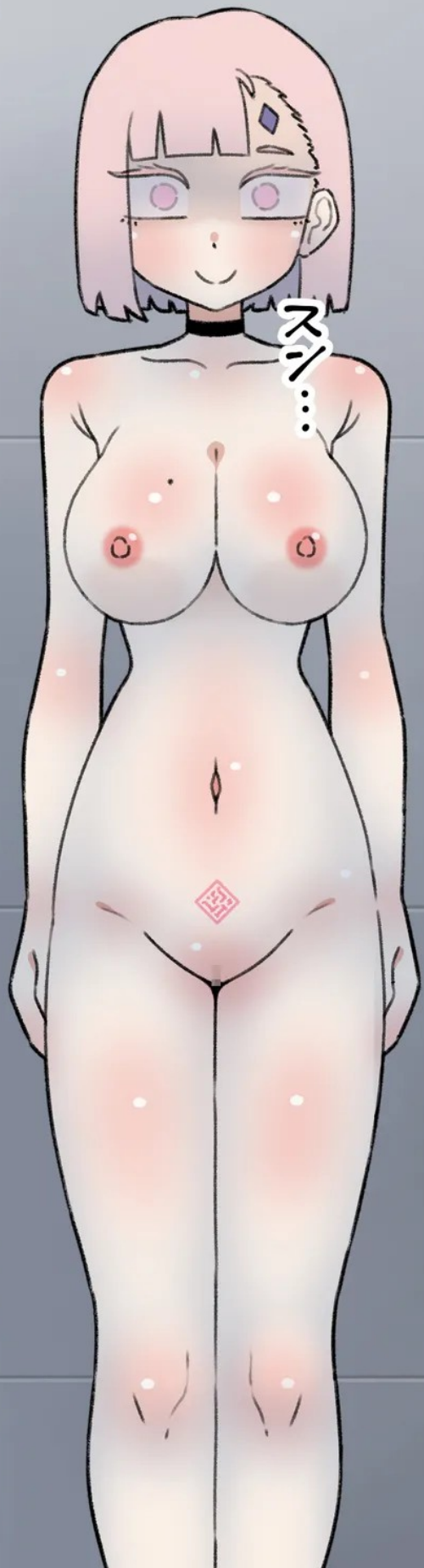


よし、もういいぞ。
『スリープ』してろ。



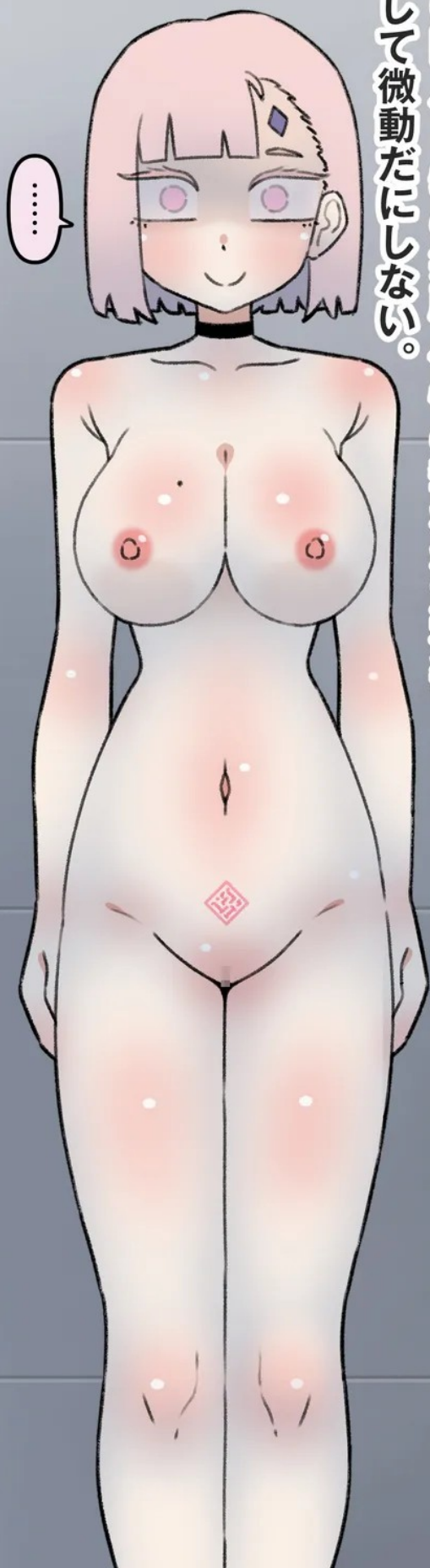


スシ...

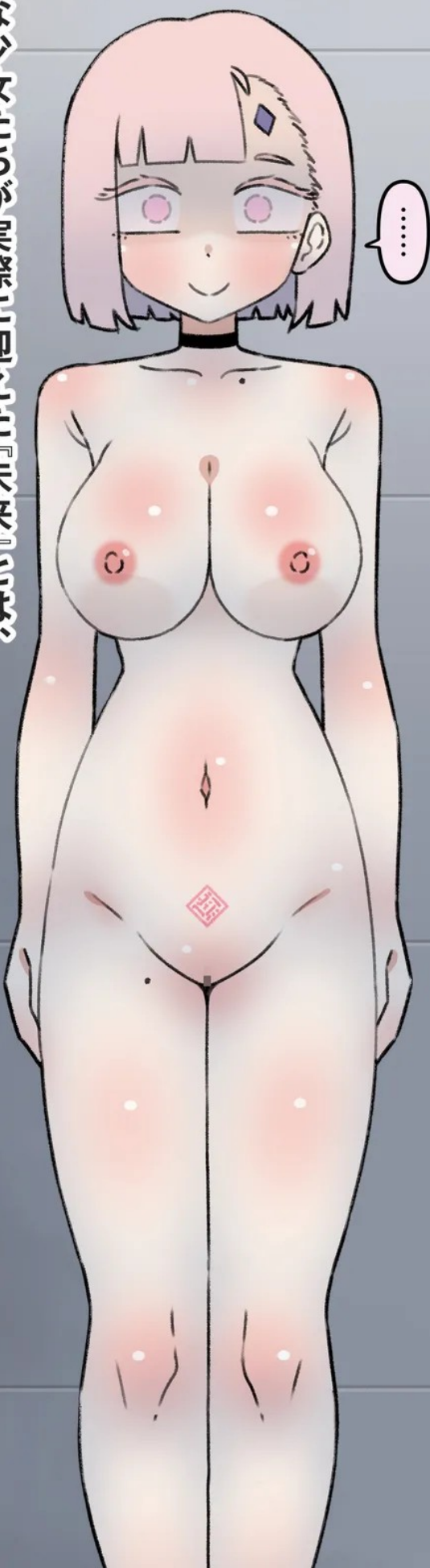


スシ...

これで、すべての加工が完了した。
意思のない瞳。作り物の笑顔。個性の奪われた容姿。
全裸を晒して微動だにしない。

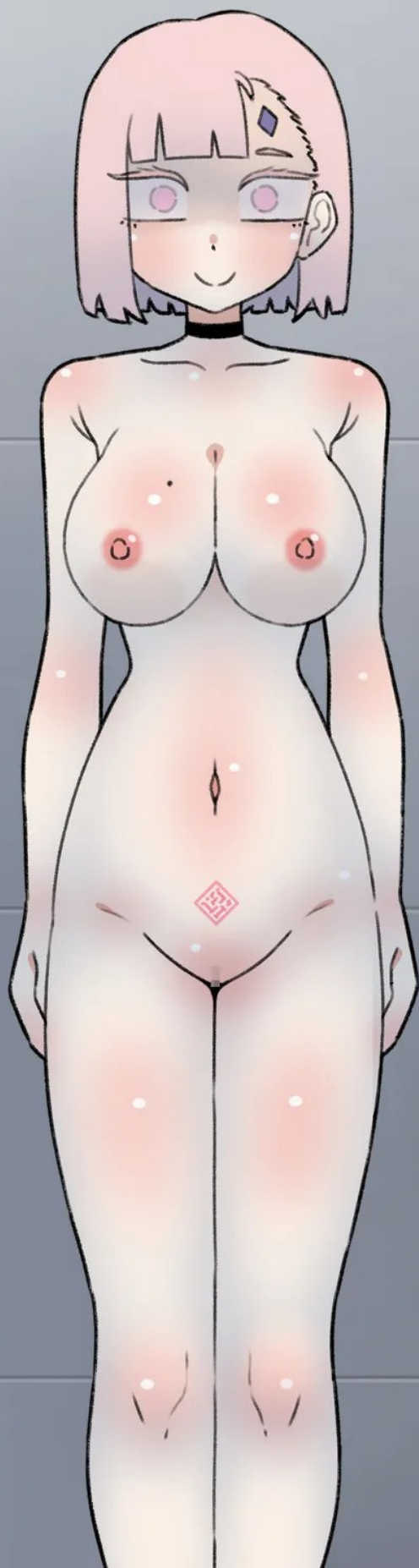
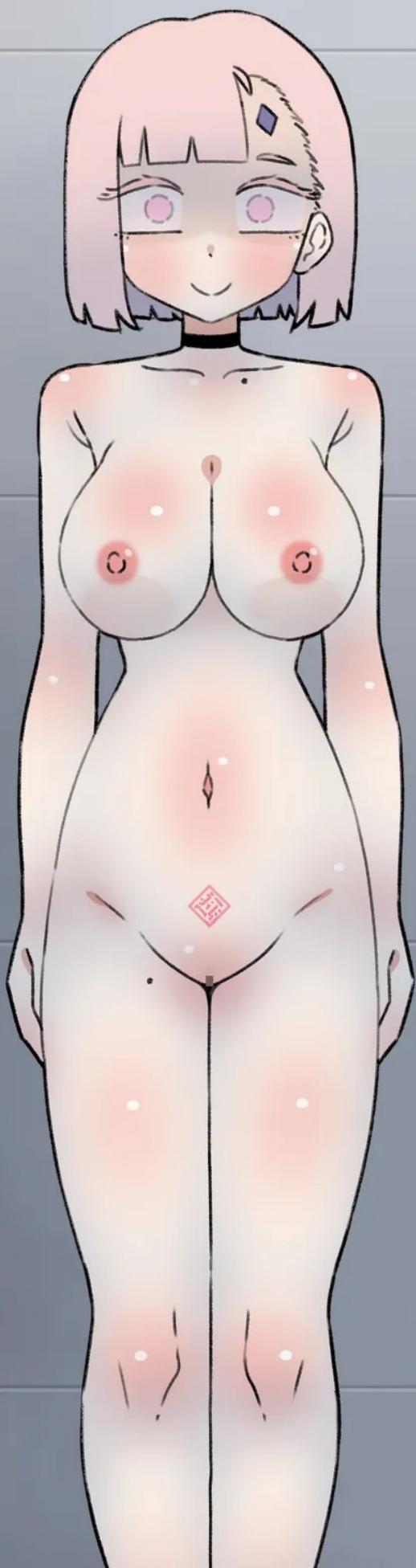


少女たちは『人』として生まれ、愛され、それぞれの人生を生きてきた。
時に泣いて、時に笑って、一生懸命に『未来』へと歩んでいた。



そんな少女たちが実際に迎えた『未来』とは、
たった2週間ほどの工程で、『性奉仕用の肉人形』に加工されることだった。

『慰安用生体』製造完了。



完成した『慰安用生体』を梱包し、
『慰安センター』へと出荷する。



ゴキウ





政府指定
慰安用生体
034865-MSK

〈バイタル〉
正常

〈モード〉
スリープ

加工済



—
**3
年
後**

受 付

『慰安センター』に
ようこそ！

予約コードの提示を
お願いいたします。

ありがとうございます。
予約の確認が完了しました。

386号のプレイルームを
ご使用ください。

386

使用可

『あなたの日々に
性の悦びを!』

本日、あなたのオチンポ様に
ご奉仕を務めさせていただきます
『慰安用生体：034865-MSK』です!

プルン♡

ピ
ニ
ッ



全国各地に設置されている『慰安センター』には、その地域の人口に合わせて数百〜数千体の慰安用生体が配備されている。事前予約をすれば、慰安センターの個室で彼女たちを使用できる。



初期は都心部のみの試験的な公共サービスだったが、現在では全国合計して30000体ほどの生体が運用されており、『欠品』が出るたびに、無作為に選ばれた少女が新たに加工され、これに加わる。

あー……

その『番号』だとちよつと
盛り上がらないからさ、

とりあえず

『元の名前』教えてよ。

はい！

当製品の加工以前の生体名は
『犬井ミサキ』と申します！

……ん？

『犬井ミサキ』……？



君、M高校でバスケット部
やってなかった？

はい！

3年前に政府より徴発され、
慰安用生体に加工作られるまで、
当製品はM高校バスケット部に
副部長として在籍おりました！

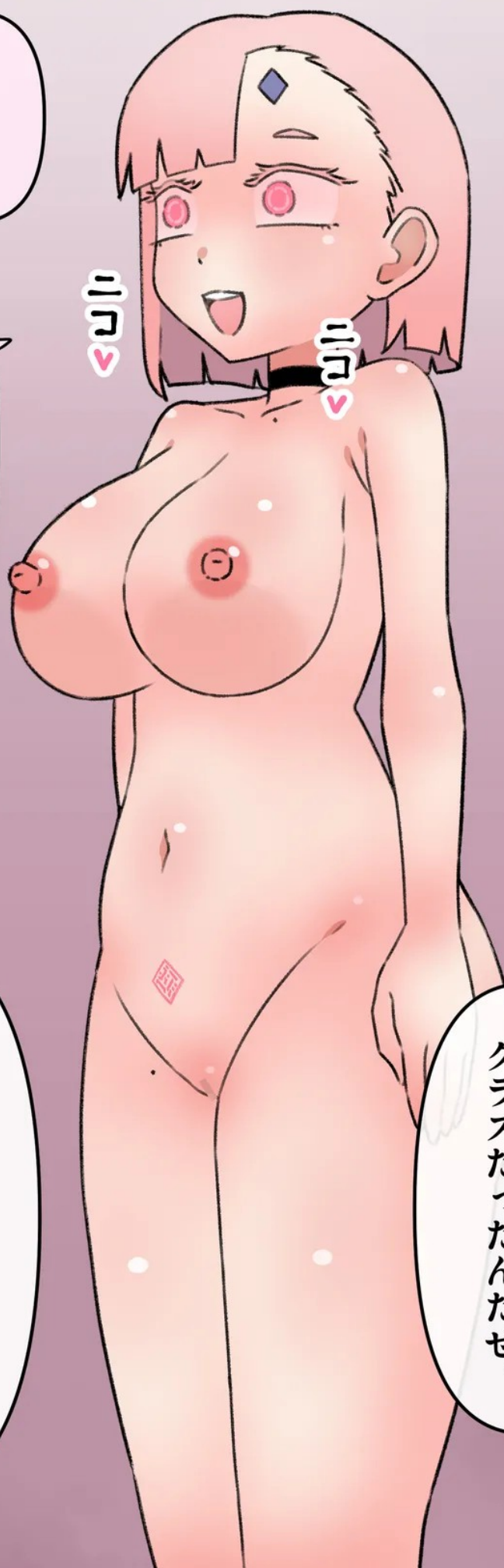
ニコ♡

ニコ♡

うわ、確定じゃん。

俺、お前と同じ
クラスだったんだぜ。

転校にしちや
唐突すぎると思ってたけど、
お前こんなところで
肉人形になってたのかよW



確か人間の人格も
中でちゃんと
生きてんだよな？

ちよつと

犬井の人格と
話させてくんね？

ほら犬井、
感じてつか？

ワチュ…♡

ん…♡

も…申し訳ありません。
『生体人格』との会話は
禁止事項に該当します。

あつ♡

んだよ、つまんねーな。

モニユ♡

ハッ♡

ハッ♡



へー、んじゃ
試してみるか。

ご……ご希望で
あれば……んあっ♡

『ARレンズ』を装着すれば……♡
ひっ♡……加工前の髪型……やっ♡
せ、生体人格の反応など……をっ♡
投影……可能ですう……♡

あっ♡



これかー。

すご。

ただのコンタクト
にしか見えねー。

ヘアスタイル
投影開始

グ
ン
ツ

おっ！

そうそう思い出したわ。
犬井ってこんな感じ
だったよなー。

ま、乳はこんなデカく
なかったけどなw

製品番号：034865-MSK
生体名：犬井ミサキ



犬井の人格も投影
できるんだっけか。



おっきたきた。

よお犬井、久しぶり！
元気にしてたかー？w



ヒッ
ヒッ
ヒッ

生体人格〈犬井ミサキ〉
投影開始

おっと、全裸じゃ
かわいそうだよな。

靴下だけ
履かせてやるよw

う…

……もしもし？
なんか言えよ犬井。

ソックス
投影開始



申し訳ありません。

投影可能なのは反応のみであり、
会話は許可されておられません。

生体人格
投影中断

キーン

あー、
そうだったな。

じゃ、データでいいや。
犬井はこの3年間、
何してたわけ？

実際に人格を切り替えているわけではなく、
生体人格の反応をリアルタイムで読み込み、
それを製品人格を通して投影している。
万が一、生体人格が暴走しても、
使用者を守るようにする安全措置である。

また、会話を許可してしまうと、生体人格に
エラーが蓄積する恐れがあることや、
使用者側が絆される危険も考えられるため、
あくまで反応のみ投影可能となっている。



生体人格
投影再開

ビ
ッ

製品番号：034865-MSK
生体名：犬井ミサキ

【使用データ】
運用期間：3年2ヶ月
使用回数：2168回
絶頂回数：116542回
想定耐用年数：残り82年
ユーザー評価：★★★★

お、出た出た。
えーと………？

へえー……W

3年で2千回以上って……
つまり……1日2回は
『使われてる』んだなお前W

……

しかも何だよ、
このエグい絶頂回数は。
人間じゃねえって。

あ、『人間』じゃ
なかったかW



てか何？

3年前って俺らが
みんな必死こいて
受験勉強してた時にさ、

んあっ♡

あっ♡

モニゅ♡

ワチュ♡

ワチュ♡

モニゅ♡

ハッ♡

ハッ♡

お前だけ、このデカ乳揺らして
グチヨグチヨのここにチンポ啜えて、
毎日よがりまくってたってこと？

良いご身分なんだな
肉人形ってのは。



うおっ

オはオっ
♡♡

ドゥッ♡

ドゥッ♡

ド
ク
ニ
ッ
♡





ドロォ...

あ...

ふあ...

うーわ。

こんなんで即イキとか、
お前マジで肉人形が
板につき過ぎだろ。

ムムム

ビチャ...

犬井のマン汁と母乳で
手がベツチヨリじゃん。

ビュッ

手洗ってくるから、
とりあえずオナって
感度でも上げてろよ。

うう…♡

く…♡

……ぶはW

いやマジで速攻で股開いて
オナり始めるじゃんコイツW
お前、少しは恥とかないわけ？







ほっすおお



ドクニッ



ドクニッ



戻ったぞー。

……ってオイオイ、
この20秒くらいで
イッたのかよ……

アへえ……

んへ……

ソッ
♡

ソッ
♡

ハ
♡

ハ
♡

コリ
♡

コリ
♡

コリ
♡

コリ
♡

……しかも何そのまま
オナリ続けてんだよ。
バケモンじゃんお前。

ハア……。流石にメス臭
ヤバ過ぎだから、マン汁と母乳
一回洗い流してこいよバカ。





やっと準備できた
みたいだな。

ビクッ

……!!

それにしても
あの犬井がなあ…

バスケしか興味ないって
顔してた奴が、いつの間に
肉人形になってたとか、
マジで最高なんだわW



ケモミミ
投影開始

うう……

そーいゝや『オプシヨﾝ』も
色々あるんだよな。
せっかくだし使ってみつか。

ぶはははW お前『犬井』だし
めっちゃ似合ってたんじゃんW
最初はやらせてもらうわW

ケモシッポ
投影開始





ほらメス犬。

チンポ挿れてやつから
さっさと膣濡らせよ。

ほお…♡

お…お♡

ギュー

ギュー

めい♡

ア…♡

あーそれとさ、

どうせ会話もできねえし、
犬井お前もういいわ。

ソッソッ...

!?

モニャ♡

モニャ♡

つかせっかく使って
やってんのに、不本意っぽい
ツラしてんだもんなあ。
肉人形の分際だよ。

待つ
フジン

失礼いたしました。
『生体人格』の投影を
終了します。

キネシ

モニヤ♡

モニヤ♡

はいお疲れさん。



そんじゃ
いただきます。

んはあッ

ズン♡

ズン♡

パチ
パチ
パチ♡





マンコの絡みつき...!
ヤバ過ぎだろっ...!

あヒ

んヒい

ハッ

ハッ

ブルン

ブルン

キュン

キュン

パ
ン
チュン

ス
チュン

犬井...お前マジで
バケモンだわ...!



つかさつきまで
不幸ヅラしてた癖によ…！

んほっ

へあっ

チンポ挿れた途端
膣から性欲溢れまくってんの
バレバレなんだよ…！

ハッ

ハッ

ブルン

パン

パン

パン

スチ

パン

キュン

キュン



お...おおお

くっ...おおっ.....!

ゴウ

グニ

グニ

グニ

グニ

グニ

グニ

グニ

あー………たぶん
過去イチ濃いの出たな…。

えじ♡

じゅ♡

じゅ♡

じゅ♡

じゅ♡

ドロォ♡

アヒィ♡

マジでいつ……
どんな改造されたら
こんなマンコになるんだよw

うっ♡

じゅ♡

おい、いつまで
浸ってんだよ肉人形。

一服したら次行くから
さっさと身体流しとけ。

ひ……♡……申し訳……♡……つ♡……
ございま……せ……♡……ん♡……
すぐ……準備……いたしますう……♡……





慰安用生体の使用は1枠8時間。
慰安センターの個室にはドリンクや軽食、
シャワー設備やアメニティなどが一通り揃っており、
ユーザーは休憩を挟みながら長時間かけて、
肉人形となった少女で遊び尽くすことができる。



あー……
使った使った。

流石にもう限界だわ。

グッ

キーン

キーン

——ハイ、オチンポ大好きです！
申し訳ありませんあしうhチンポおお
エラーコード8291もつと
くださいください助けめめめめm
イキたいいたいイキタクウクク

あ、キャプテン！私3ポイント
よりあしsあおちんぽの方が
大好きです！オマンコオマン

グッ

………んん？
おーい、犬井ー？

ヤベ………これ壊れた？

グッ

プルプル

……あ、386号ですけど、
なんかこれ、変なポーズのまま
動けなくなっちゃって。

…フロントに
聞いてみるかあ。

はい……あとずっと
意味不明なこと
ブツブツ言ってます。

……あ、「たまにあること
だからそのままでもいい」？

あーわかりました。良かったです。
いやあ俺が壊しちゃったのかと。

ええ、時間も丁度いいんで
そろそろ出ますね。

エヘヘヘヘgあw性奉仕プロ
とコルBを実行したらプリン食べよ！
目指せインターハイ優勝！え？え？
性の悦びを！やだやだやだヤダヤダ

うそうそうおそおお助けけけ
美味しいdなんでkなんでオチン
ぽぽちんちん「強制終了します。」

キーン
キーン

ジュッ

ドクッ

……あーあ。
ビビらせやがって。

ヘアスタイル
投影終了

スッ…

そんじゃ帰るわ。

じゃあな犬井ー！

あ、そうだ。

ここのセンターでお前が
肉人形やってるって
仲間に広めとくわW

またお前が知ってる顔
来たらよろしくなーW



8時間の性奉仕を終えた後は、4時間のメンテナンスに入る。
まずはボディの洗浄と修復。そして脳機能のエラーチェックと調整。
これから基本的なメンテナンスを2時間かけて丁寧に行う。

残りの2時間は『自己学習』の時間となる。

今回の8時間に及ぶプレイ内容。少女は、その記録を10分で『圧縮体験』させられる。
これを10回以上繰り返し、性奉仕の学習データを最適化する。
もちろん製品人格上だけの処理ではなく、生体人格も同時にこれを『経験』している。
それが終われば、また次の性奉仕の8時間を迎える。



人権を奪われ、肉人形に作り変えられた少女たちは、
ただひたすらにこの日々を繰り返していく。

100年近い耐用年数に達するか、
あるいは途中で壊れるかして廃棄されるまで。

精液と快楽の無間地獄へと生きながらに墮とされた、

3万を超える罪のない少女たち。彼女たちには1日として安息はなく、

今日も明日も明後日も、10年後も20年後も、

その先もずっと、文字通り存在のすべてをチンポに捧げ続けていく――。

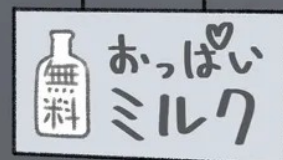




……あ？
なんだこれ。

『ミルクサーバー』……？
にしても乳デカ過ぎだろW

……つかこれ、
さすがに作り物か？



可燃

製品番号：034864-KNM

生体名：萩原コノミ

備考：再利用品(ミルクサーバー)
加工中に生体人格が破損したため、
乳房肥大化技術向上のための
被験体として再利用。実験成功。
超肥大化した乳房を活かして
ミルクサーバーに加工。
四肢は不要なため廃棄。
骨格(ポーズ)固定処理済み。

データ
見てみるか。

ってうわマジか。
これも元人間かよ。

こいつ、ホント前世で何やってたら、
こんなキモい物体に改造されて
生かされ続ける人生になるわけ？ W

生体近影(加工前)

……ん？

しかもこの制服、
ウチの近くにあった
お嬢様学校じゃん。

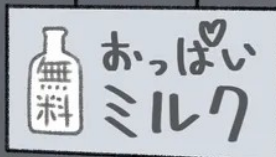
可燃

あらあ、良い家に生まれて
顔も良くて賢い学校入って…

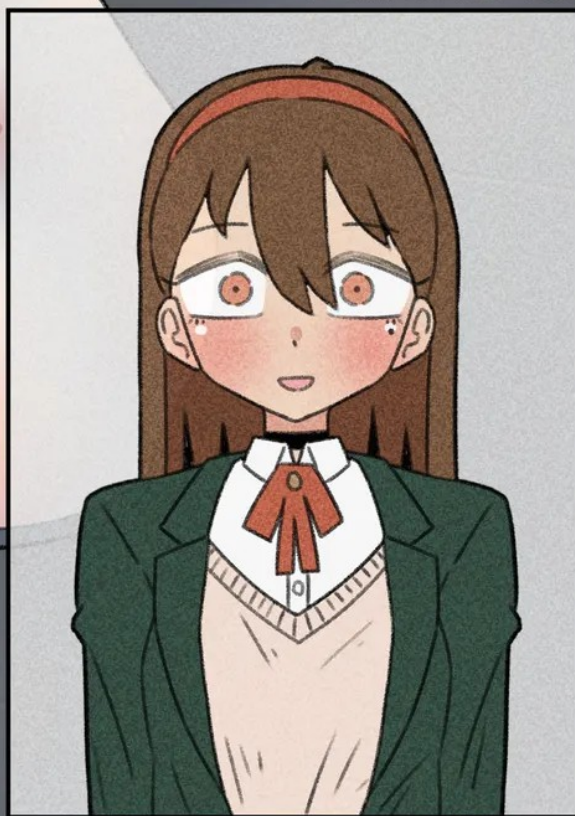
その結末がこれとか
かわいそ過ぎんだろW

ま、せっかくだし
お嬢様ミルク
飲んでみるか。

どんなお上品な味が
すんだろうな。



生体近影(加工前)

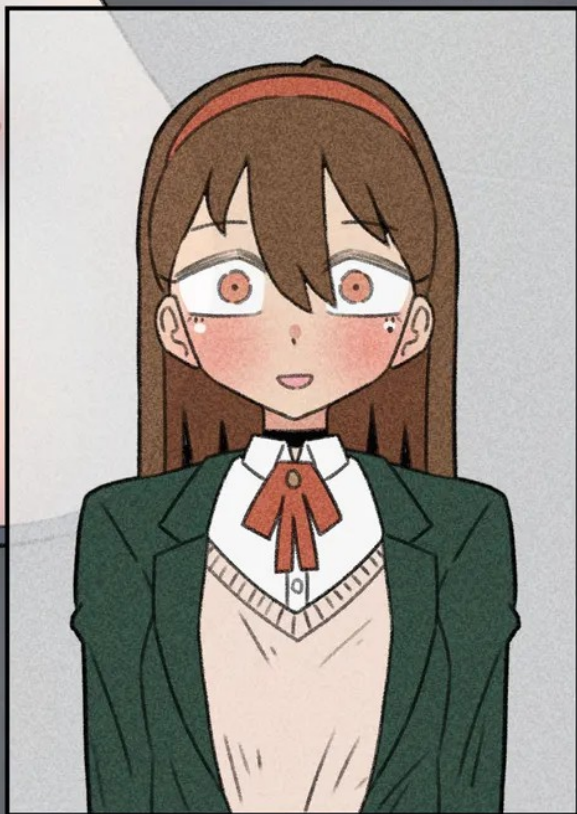


ほら、お嬢様。

そのバケモン
みてえなデカ乳から
早く出すもん出せよ。

無料
あっぱい
ミルク

生体近影(加工前)

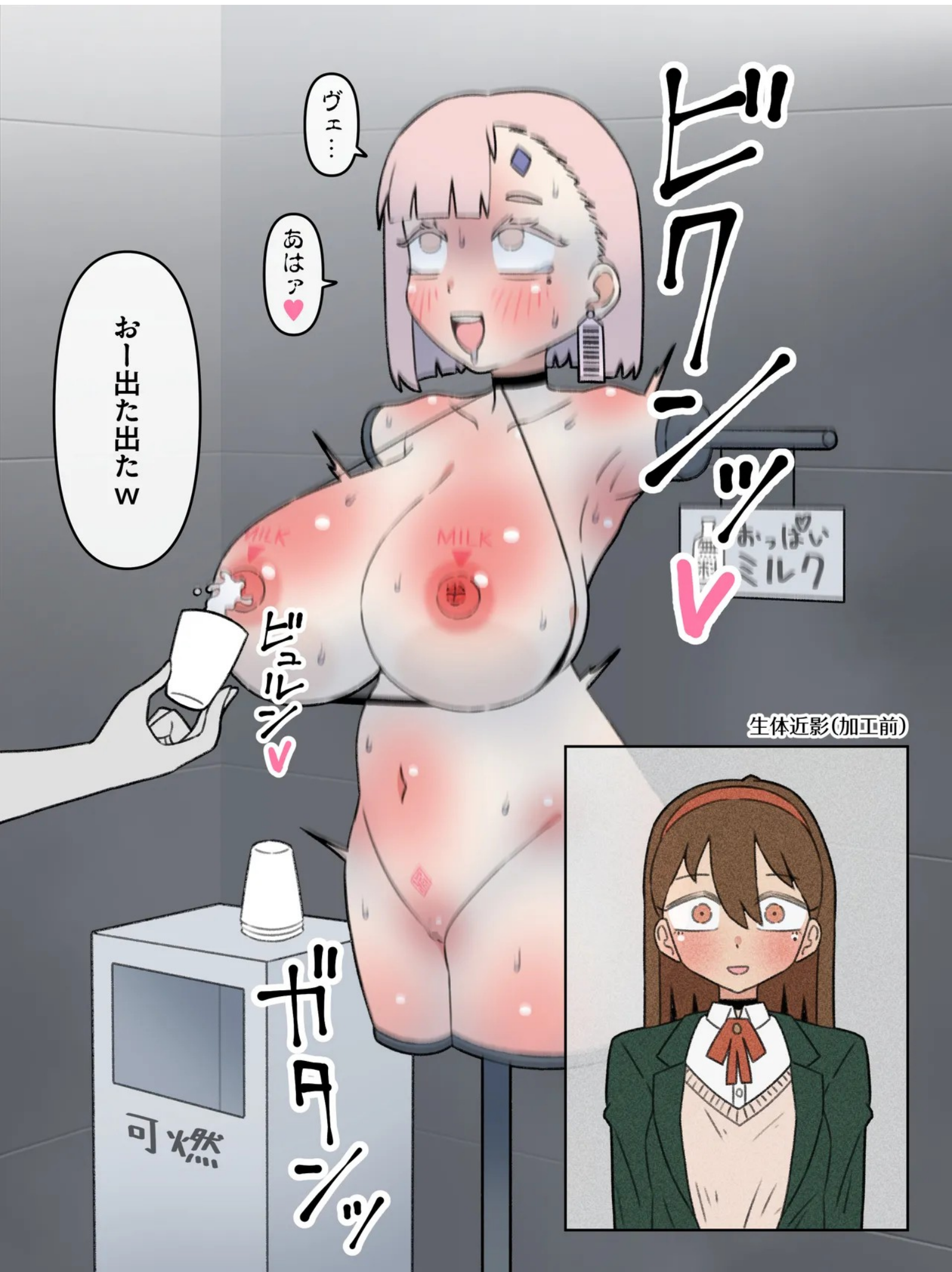


可燃

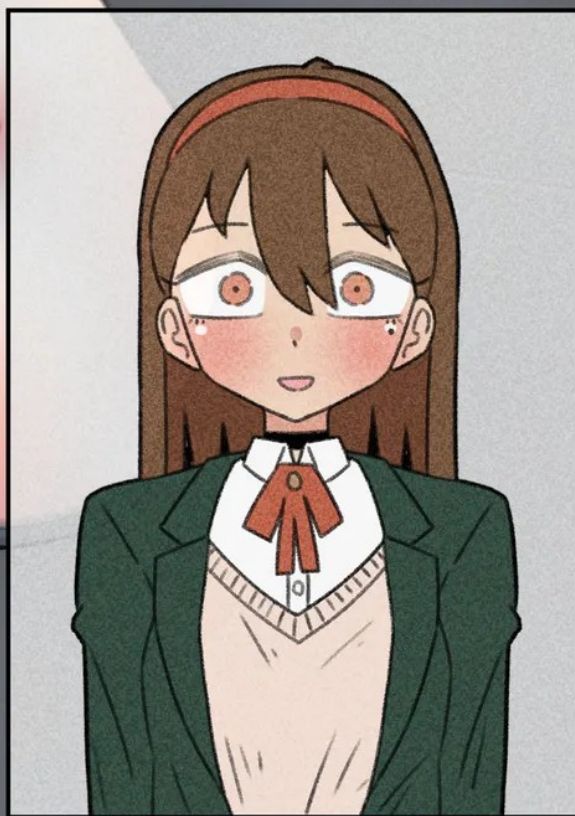


生体近影(加工前)

可燃



生体近影(加工前)

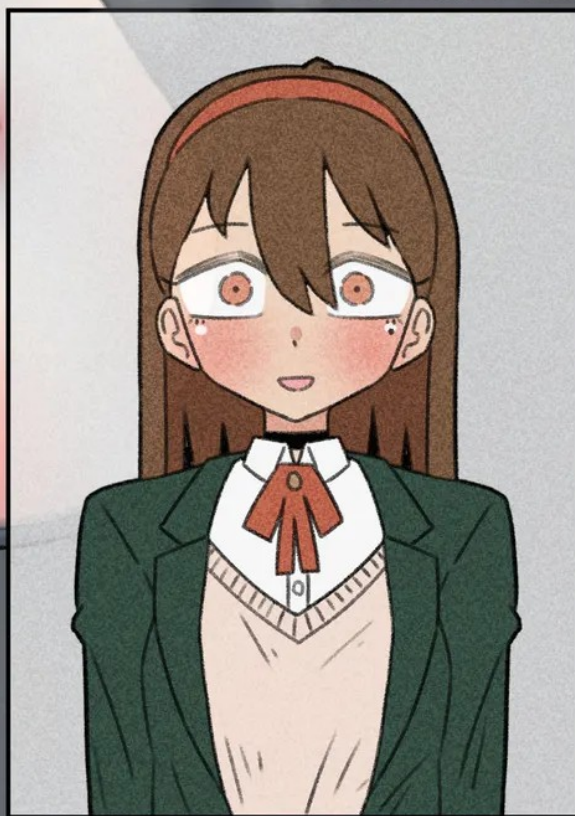


うわエッグいなW

ビクッ

ガタ

生体近影(加工前)



オエッへ

アひあ

ハッ

ハッ

ビュル

ビュル

エド...

ビクッ

エド...

ガタ

乳ひねり出しながら
イキ続けてんのかこれ。

可燃

ムフア♡

エへ…♡

んえへ♡

んじゃ、大切に育てられた
お嬢様の搾りたてホヤホヤ
いただきます。

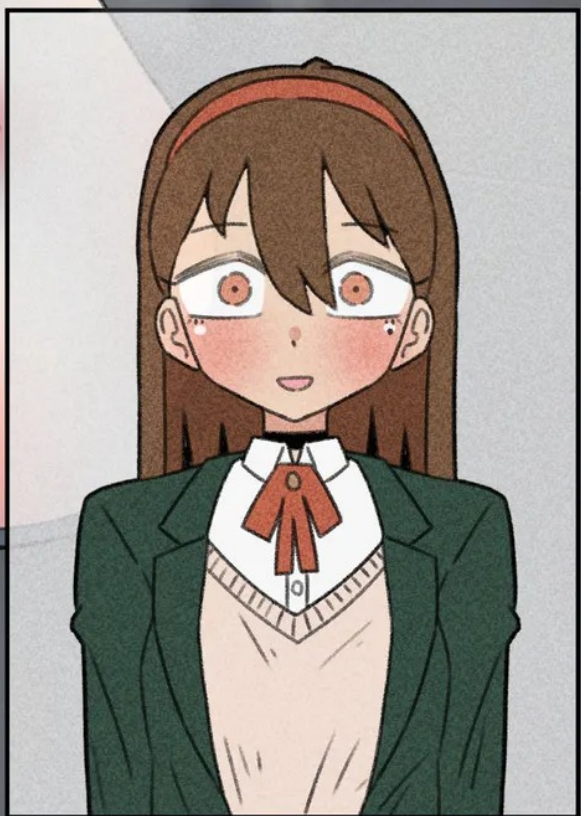
ゴクゴク…

無料 あっばい
ミルク

ポア

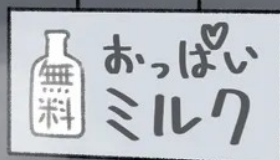
ポア

生体近影(加工前)



あー……
うーん……。

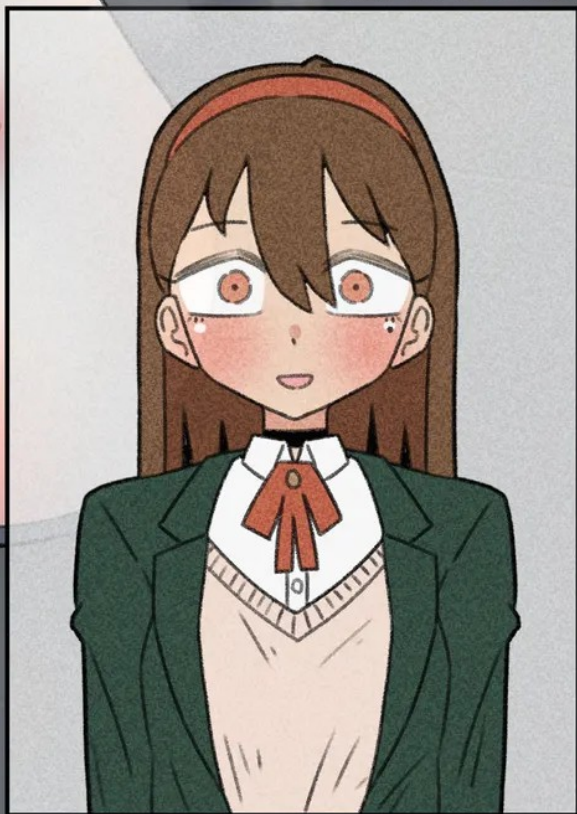
生温いし
結構ドロドロ
してんだな……



まあ不味くは
ないんだけどなあ……

……栄養はかなり
ありそうだな。うん。

生体近影(加工前)



いや、人生終了してまで
ミルクサーバー
やってくれてる奴の前で
言うのは悪いんだけどさ、

正直微妙だわW

おっほい
ミルク

ま、母乳フェチとかなら
悦ぶんじゃない？

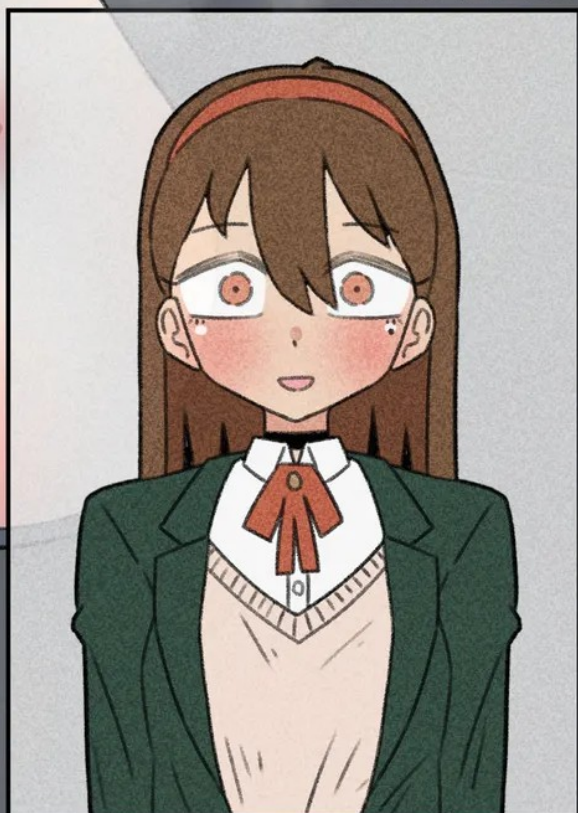
……

じゃ、死ぬまで
頑張れよーW

ポイッ

可燃

生体近影(加工前)





無料 あっばい
ミルク

可燃

一人の少女を素材にして作られた『ミルクサーバー』は、
数年後にはロビーの片隅から撤去されていた。

汚れやすく、掃除もしにくい上に、
利用率があまり高くなかったことが理由だ。



その後、この少女は記録上では廃棄されたことになっているが、
実際には、とある個人に非公式で売却されていた。
四肢も人格も人権も失った少女は、生ける肉オブジェの姿のまま、
今日もどこかで絶頂とともにミルクを搾り出し続けている――。